

2017 年度

沖縄子ども調査事業

沖縄県高校生調査

詳細分析報告書

2018 年 3 月 30 日

沖縄県子ども調査事業共同体

目 次

調査概要	2
第 1 章 保護者の就労	
1-1 母親の就労状況	6
1-2 父親の就労状況	8
第 2 章 生活保護制度の利用	
2-1 生活保護制度を利用していない理由	12
第 3 章 通学	
3-1 登下校時のバス利用	16
3-2 登下校時の家族による送迎	17
3-3 バス定期券の利用	18
3-4 通学費が高校進学に与える影響	19
第 4 章 将来（進学・進路の希望）	
4-1 進学に関する理想と現実	22
4-2 高校卒業後の進路や就職などの具体的な希望	24
4-3 高校卒業後の第一志望の進学先の希望	25
4-4 就職を希望する理由	26
第 5 章 部活動・就労（アルバイト）	
5-1 部活動の状況	32
5-2 就労（アルバイト）の状況とその使い道	36
第 6 章 自分	
6-1 思い・気持ち	42
6-2 学校生活	45
自由記述 保護者	50
生徒	70

調査概要

- ◆ **調査名** 沖縄県高校生調査
- ◆ **調査目的** 沖縄県高校生調査は、沖縄県教育委員会の協力のもと、沖縄県内の公立高校2年生とその保護者に対し、沖縄県に住む高校生を取り巻く社会や経済の状況がどのように今後の進路や将来の希望、日常生活などに影響しているかを調べ、今後の進路支援や子育て環境への対策を検討していくことを目的として2016年11月に調査が行われた。調査は沖縄県からの業務委託を受けて、一般社団法人沖縄県子ども総合研究所が実施した。本調査の継続分析に関しては、一般社団法人沖縄県子ども総合研究所、学校法人沖縄大学、NPO 法人沖縄県学童・保育支援センターの三者によるコンソーシアム、「沖縄県子ども調査事業共同体」が行った。
- ◆ **調査期間** 平成28年11月21日（月）～12月2日（金）
- ◆ **調査対象** 沖縄県立高校全60校（全日制・定時制含む）高校2年生生徒とその保護者
平成28年5月1日在籍生徒数14578人の50%を対象
各校対象学年生徒数に応じて、無作為抽出
- ◆ **調査方法** 保護者票、生徒票をそれぞれの封筒に入れ、それらをまとめて入れた世帯封筒を学校から生徒を通し、対象世帯に配布。
保護者、生徒が記入後、生徒を通し、学校にて回収。無記名・自記式。

◆ 回収状況

	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
両票あり	7289	4572	4311* ¹	59.1%
（うち生徒票）			(4471)	61.3%
（うち保護者票）			(4383)	60.1%

*¹すべての回収に対し、保護者票と生徒票の両票が封入されており、世帯として突合できたもの。

◆学識協力者

調査票にかかわる助言ならびに調査分析への協力を要請し、調査企画・分析を実施した。

●加藤 彰彦（沖縄大学 名誉教授）

●山野 良一（名寄市立大学 教授）

●湯澤 直美（立教大学 教授）

※敬称略、50音順

備 考

- ・調査票の作成は「沖縄県子ども調査(2015年沖縄県)」「札幌市子ども・若者生活実態調査(2016年札幌市)」「高校生の進路についての調査(東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター2005年)」を参考としている。
- ・世帯の経済的状況が子どもの育ちに関して影響を及ぼしていることを確認するため、回答を世帯ごとに「困窮世帯・非困窮世帯」の2区分に分けて分析を行った昨年度のデータを用いて再分析を実施した。
- ・経済的区分けは、本調査保護者への世帯の所得に関する設問項目から、あらかじめその世帯の収入額を推計し、世帯人数（生計が一である家族の人数）の平方根で割り等価可処分所得を算出し、基準*1に基づき困窮世帯・非困窮世帯に区分けを実施。なお、本来の貧困ラインとは異なる基準のため、昨年度と同様今年度も「困窮世帯・非困窮世帯」と呼称した。
- ・図で使用している百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、数値の合計が100.0にならない場合がある。
- ・自由記述欄の取り扱いについて、公開を前提としている旨を調査票に記載しており、本報告書においては、原則原文のまま掲載した。なお、一部特定のものに不当に不利益を及ぼす恐れがある部分や、個人の氏名及び個人が特定される可能性のある内容に関しては、部分的に削除を行った。
- ・本調査票ならびに本分析における「お子さん」「子ども」は、調査票が配布された子を指す。
- ・世帯構成の設問回答より、両親世帯、祖父母と同居の両親世帯を「ふたり親世帯」とし、母子世帯、父子世帯、祖父母と同居の母子世帯、祖父母と同居の父子世帯を「ひとり親世帯」とした。※「祖父母」とは、子どもから見た祖父母を指す。
- ・世帯収入とは、世帯全員の収入の合計。ボーナスを含む手取り額を指す。
- ・就労形態の設問回答より、「民間企業の正社員」「公務員などの正職員」「団体職員」「会社役員」を「正規」雇用、「契約社員・派遣社員・嘱託社員」「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」を「非正規」雇用とした。
- ・「定期券」とは、県内バス会社や沖縄都市モノレールが学生に対し行っている運賃の学生割引制度を指す*2。バスでは約40%の割引があり、1ヶ月と3ヶ月の二種類が販売されている。モノレールは約60%の割引をしているほか、県内の低所得者世帯の高校生らの通学費負担を軽減する制度を2017年度から導入している。
- ・「家族による送迎」は、保護者ら家族所有の車両等による送迎を指す。電車がない沖縄県では高校通学時などで家族による送迎がみられる。
- ・「帰宅時」とは、学校からの下校時のことを指す。下校途中の塾やアルバイト先からの帰宅も含んでいる。
- ・本分析報告書の著作権は沖縄県に帰属し、無断転載は禁じる。

*1 昨年度（平成28年度）の経済的区分け…経済的区分けを行う基準として、平成25年国民基礎調査から算出された貧困ライン（122万円）に消費者物価指数（CPI）の変動から算出された係数（103.95）を掛けた、127万円としている。

*2 通学定期券は、沖縄都市モノレール（2014年10月～）、県内主要バス会社（2015年4月～）が導入した「乗車ICカードOKICA（オキカ）」の記名式カード方式となっている。

第 1 章

—保護者の就労—

沖縄県高校生調査 保護者の就労

◆ 1-1 母親の就労状況

保護者の就労状況を見ると、回答者のうち、母親は78.6%が就労しています(図1-1-1)。就労形態別にみると(図1-1-2)、母親では、「民間企業の正社員」や「公務員などの正職員」など正規の割合は、回答者全体では31.4%、「契約社員・派遣社員・嘱託社員」や「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」などの非正規の割合は53.9%でした。

これを経済状況別にみると、非困窮世帯では正規が36.9%であるのに対し、困窮世帯では17.8%にとどまります。困窮世帯では、非正規が65.1%に及んでいます(図1-1-3)。

母親の最終学歴別を見ると、大学・大学院卒では、正規の割合が52.3%に対し、中学校卒では、12.5%となっています。非正規の割合は、大学・大学院卒では30.2%に対し、高校卒では、64.2%、中学校卒では、74.3%となっています。(図1-1-4)

図1-1-1 お子さんの母親は、現在働いていますか
(○はひとつ)

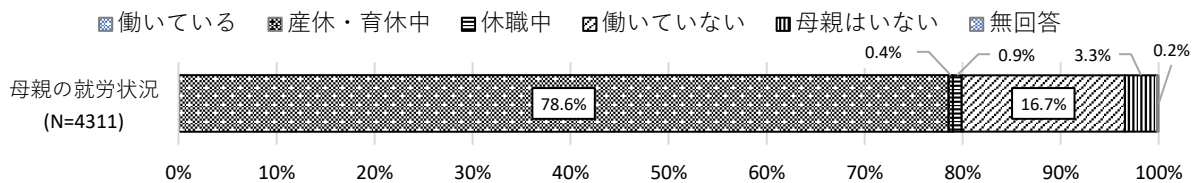


図1-1-2 母親の就労形態 経済状況別 (○はひとつ)

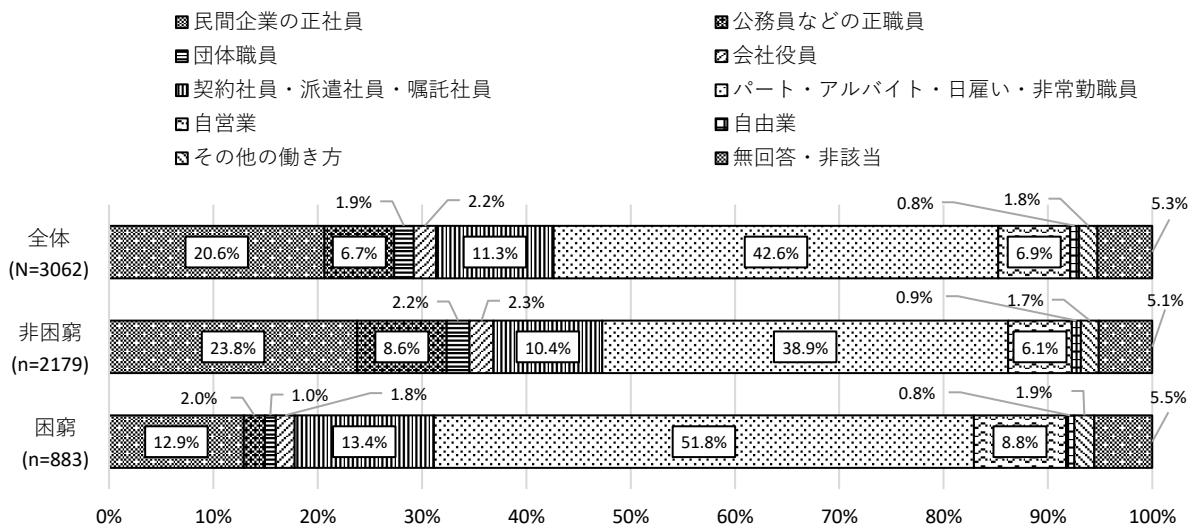


図 1-1-3 母親の雇用形態 経済状況別 (○はひとつ)

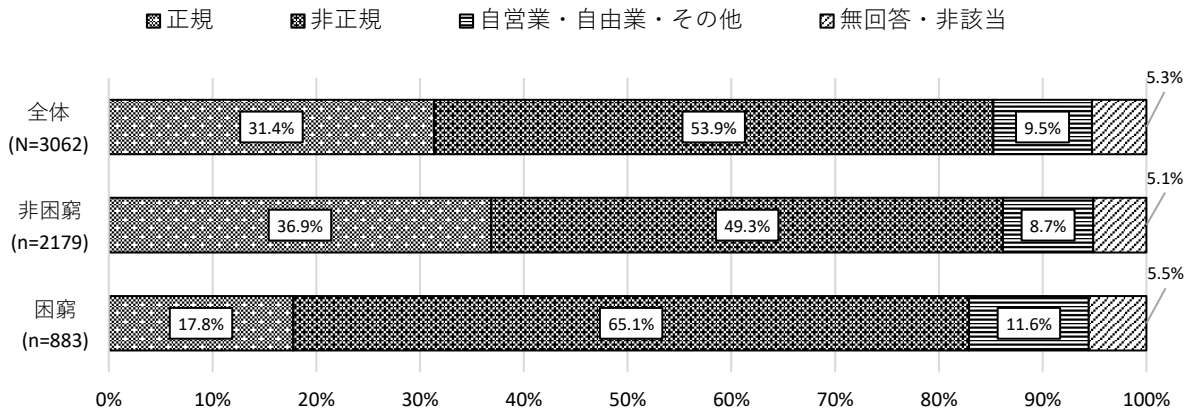
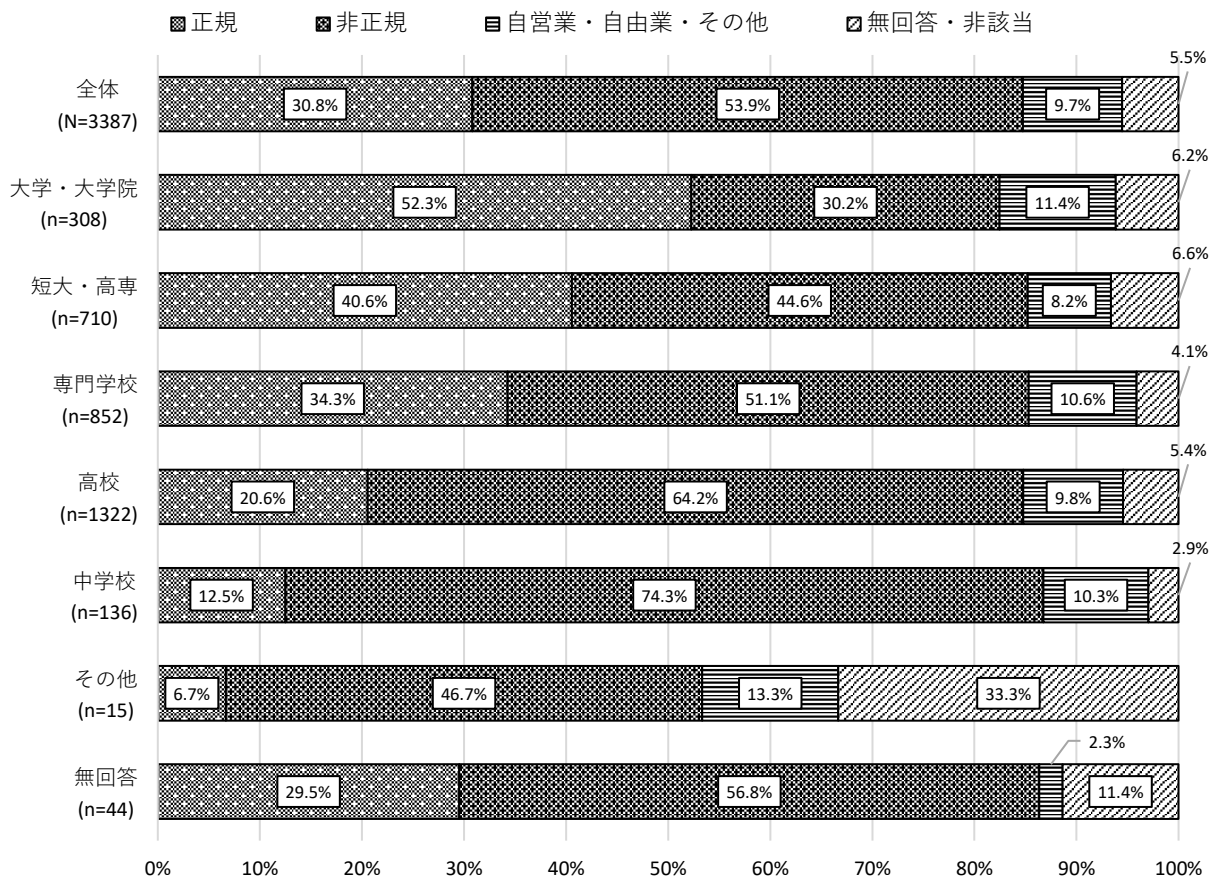


図 1-1-4 母親の雇用形態 学歴別 (○はひとつ)



◆ 1-2 父親の就労状況

父親の就労状況を見ると、80.3%の父親が就労しています（図 1-2-1）。

正規の割合は回答者全体では 65.9%、非正規が 10.1%でした（図 1-2-2）。

これを経済状況別にみると（図 1-2-3）、非困窮世帯では、正規が 72.0%であるのに対し、困窮世帯では正規は 5 割を切り 43.1%という現状です。困窮世帯では、非正規が 20.4%、「自営業・自由業・その他」が 30.8%となっています。

父親の最終学歴別に見ると、大学・大学院卒では、正規の割合が 75.1%に対し、中学校卒では、38.0%となっています（図 1-2-4）。

図1-2-1

お子さんの父親は、現在働いていますか

（○はひとつ）

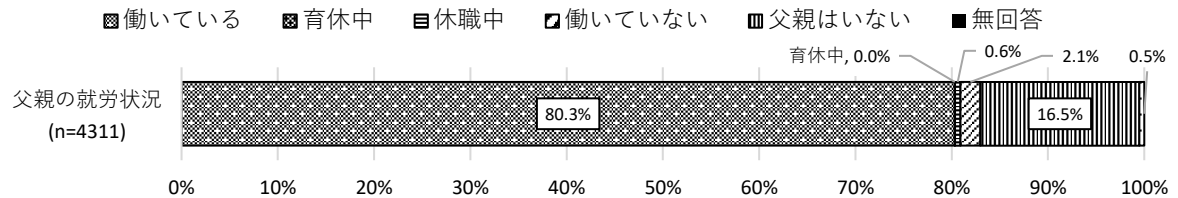


図1-2-2

父親の就労形態 経済状況別（○はひとつ）

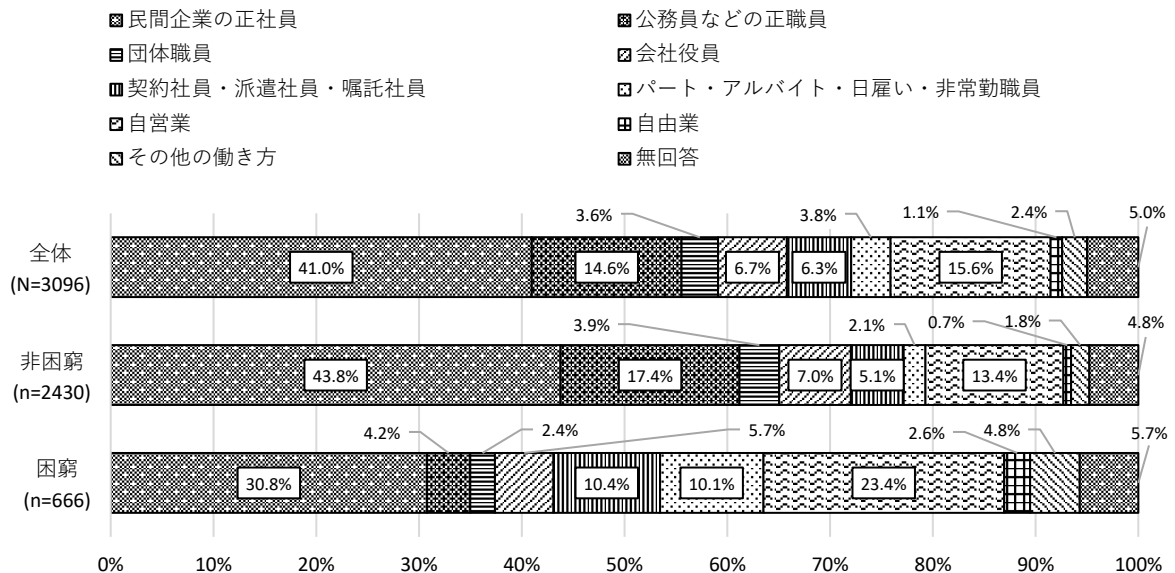


図1-2-3

父親の雇用形態 経済状況別 (〇はひとつ)

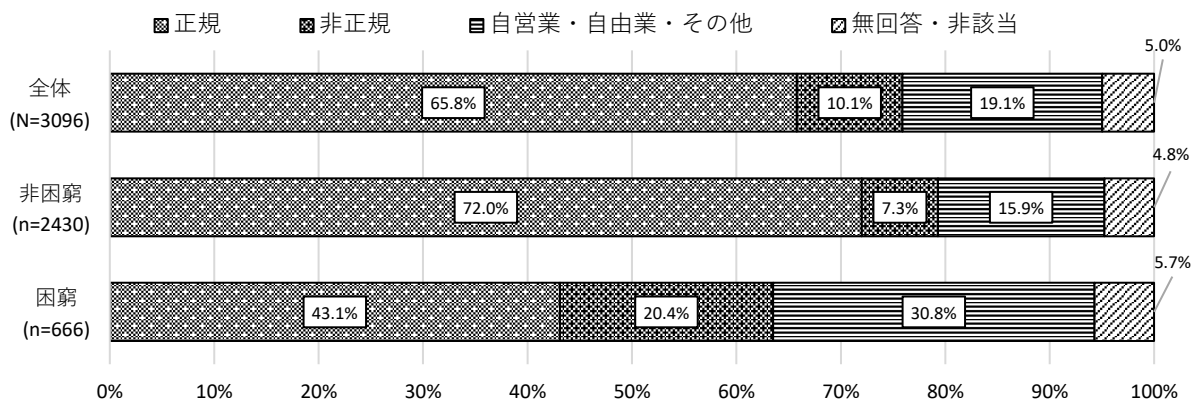


図1-2-4

父親の雇用状況 学歴別 (〇はひとつ)

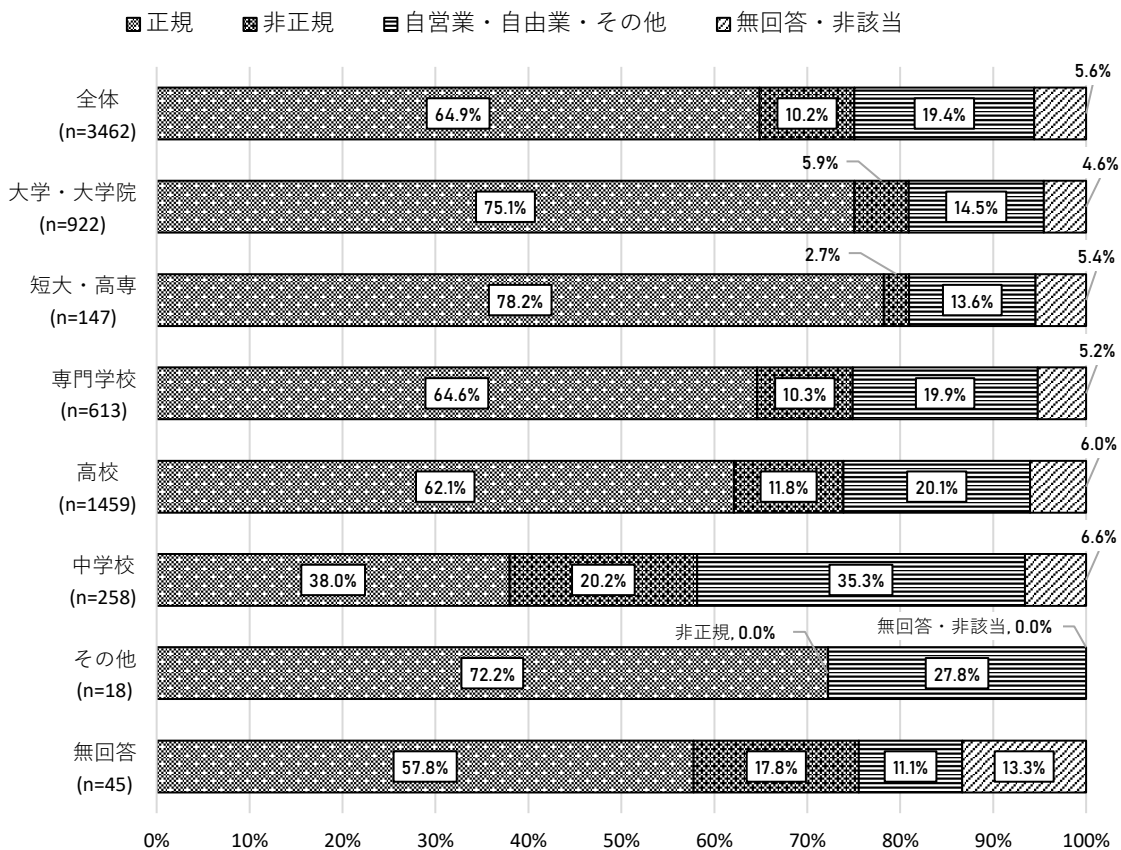
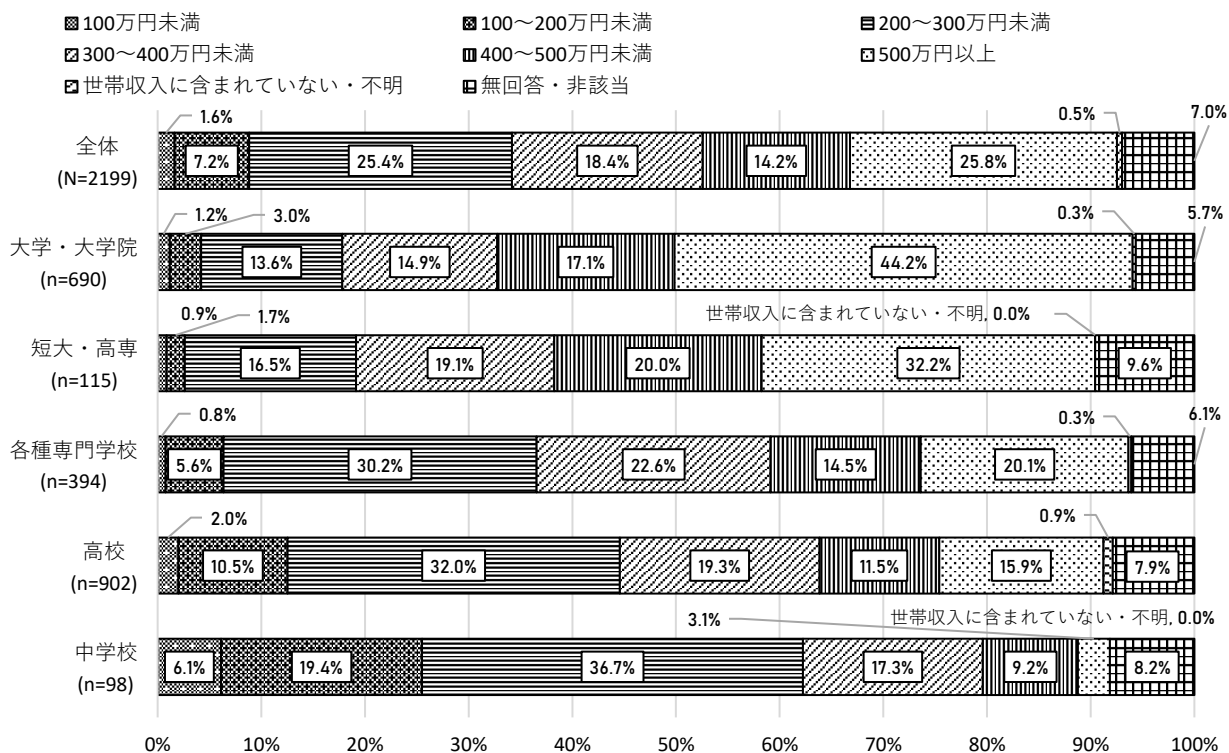


図1-2-5

父親の正規雇用所得 学歴別 (〇はひとつ)



考 察

調査結果からもわかるように、母親・父親とも非困窮世帯よりも困窮世帯の方が、正規雇用率が低い状況です。困窮世帯の父親では、2割強が非正規であるという数値は注目しなければならない点です。また、たとえ正規職であっても学歴階層による差異は大きく、年間所得が300万円未満である父親は、高校卒で44.5%、中学校卒では62.2%に及んでいます。また、大学・大学院卒の父親であっても、17.8%が300万円未満であり、学歴階層が高い場合でも経済問題に直面している層が一定数存在することが読み取れます（図1-2-5）。

次に、政府統計から女性の就業率（25～44歳）をみると、2015年の国勢調査データ（総務省）では全国平均が72.0%、沖縄県は74.9%とやや高くなっています。

これを年次推移でみると、沖縄県では2000年59.7%、2005年59.4%、2010年68.0%であり、15年間で約15ポイント増えています。年齢層も異なるため単純比較はできませんが、本調査では、母親の就業率は回答者の78.6%であり、政府統計よりもやや高い数値であると推察されます。

その背後には、本調査回答者は高校生の子どものもつ母親であるため、子育てに手がからなくなったことによって母親が就労しやすい年代であることに加え、学校教育をはじめとして子育てにより費用がかかる年代であることも一因といえるでしょう。

また、父親の所得が低い層ほど母親の就労率が高いという状況が想定されることから、女性の就労を規定する諸要因の分析が今後望まれます。

このような家計の実状は、とりわけ子どもの高校卒業後の進路選択に大きな影響を与えています。県外の大学等への進学を選択肢を広げるには、保護者の所得の向上が必須であり、雇用対策の検討が望まれます。

第 2 章

—生活保護制度の利用—

沖縄県高校生調査 生活保護制度の利用

◆ 2-1 生活保護制度を利用していない理由（現在、生活保護制度を利用していない世帯）

保護者調査では、生活保護制度の利用状況を質問しています。その結果、4311世帯中、利用している世帯が86世帯（2.0%）、利用していない世帯が4075世帯（94.5%）でした（図2-1-1）。

そこで、利用していない世帯に対し、「利用していない理由」を複数回答で尋ねた結果が、図2-1-2です。経済状況別にみると、「非困窮」世帯では、「必要ない」が70.9%と高く、「申請要件を満たしていないと思う」が27.7%と続きます。「困窮」世帯では、「必要ない」（40.7%）が「非困窮」世帯よりも約30%低い一方、「申請要件を満たしていないと思う」39.1%、「制度がよくわからないので」20.9%、「車両を手放したくないから」13.1%、「車両保持を認められないと思う」12.5%など、回答が分散しています。

また、「困窮世帯」では、1割にみたないものの、「申請手続きに手間がかかるため」7.8%、「周囲の目が気になる」6.8%などの回答もみられました。

図 2-1-1 あなたの世帯では現在生活保護制度を利用していますか（○はひとつ）

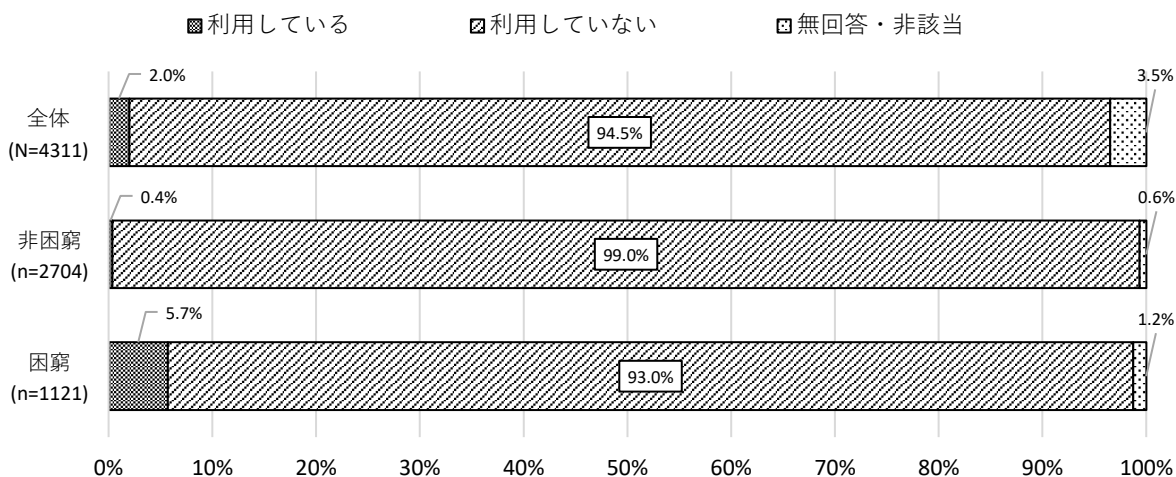


図 2-1-2 生活保護制度を利用していない理由 経済状況別（複数回答）（N=3720）

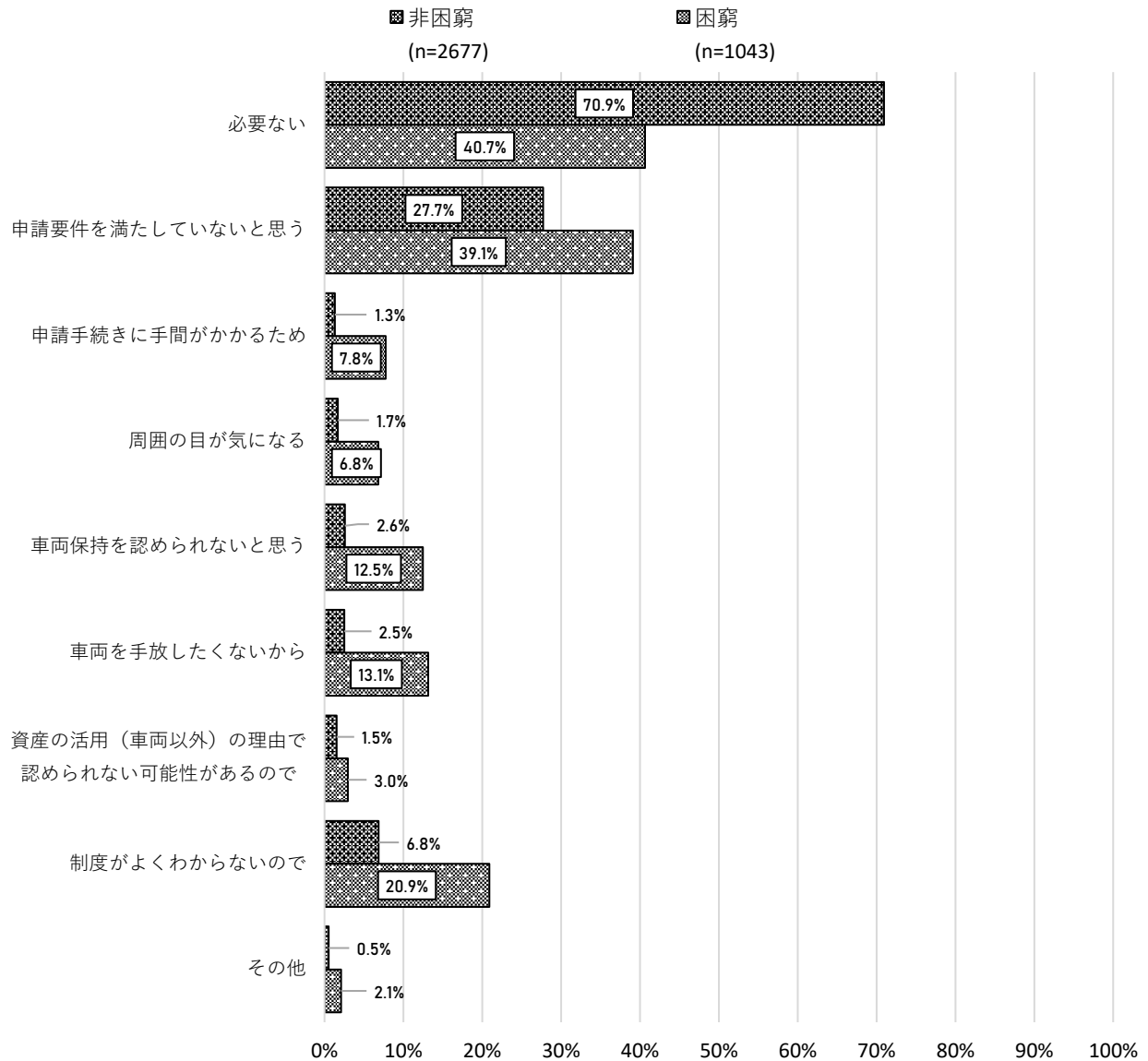
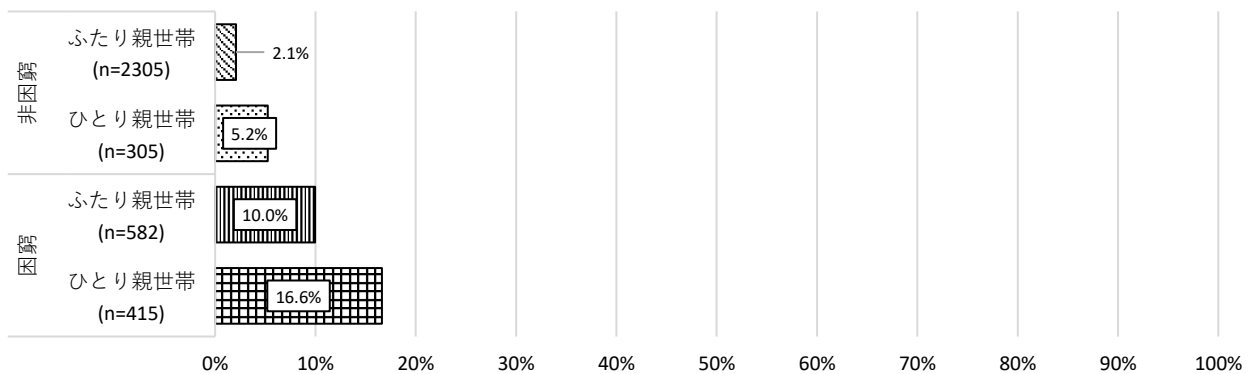
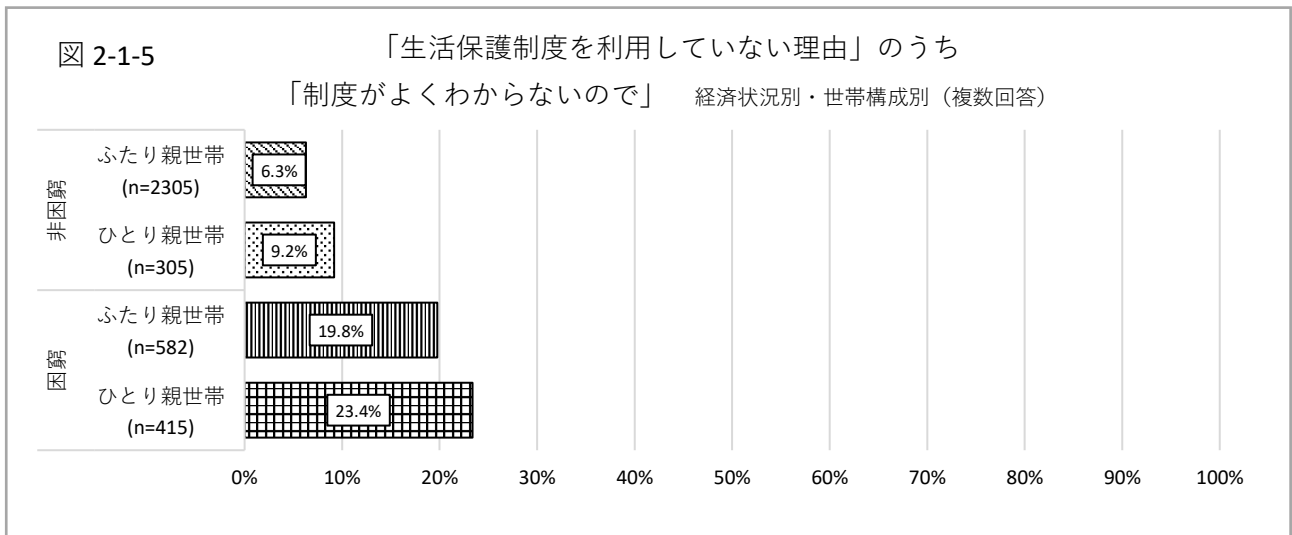
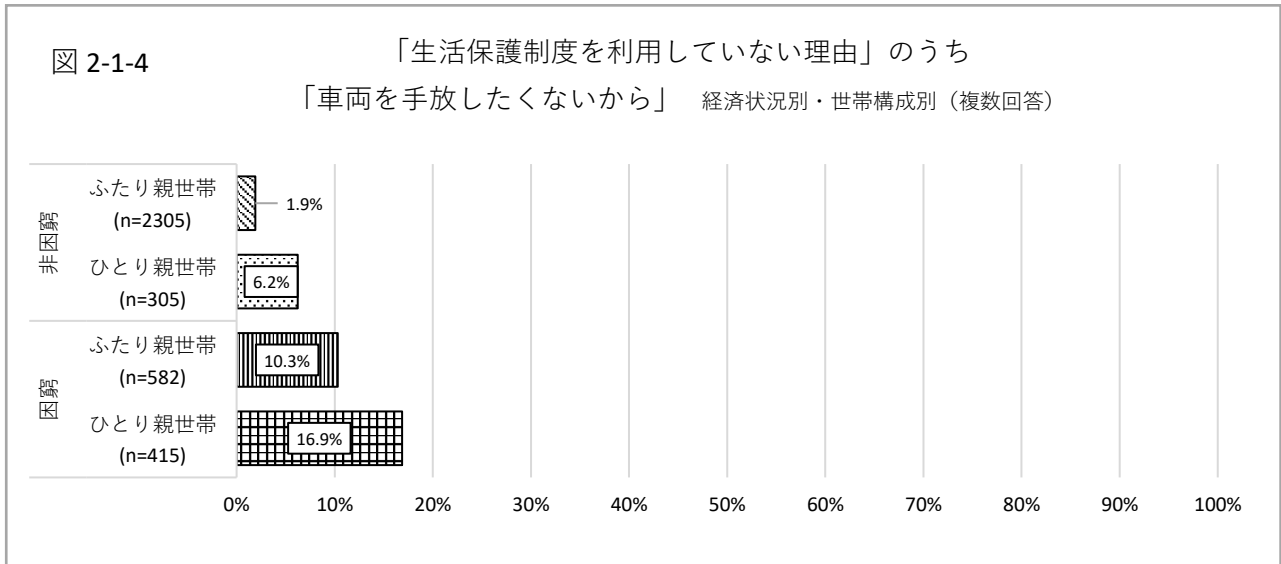


図 2-1-3 「生活保護制度を利用していない理由」のうち「車両保持を認められないと思う」 経済状況別・世帯構成別（複数回答）





考 察

生活保護制度については、「困窮」世帯でみても利用している層は 5.7%と限定的です（図 2-1-1）。困窮世帯の回答のうち、「制度がよくわからない」という回答が約 2 割あったことから（図 2-1-5）、制度の内容をわかりやすく説明する機会が必要であるといえるでしょう。

また、車両の保持が認められるかどうか、という点が生活保護を利用していない理由となっている層が一定数いることがわかりました。これを世帯類型別にみると、「困窮」世帯・「非困窮」世帯ともに、ふたり親世帯よりもひとり親世帯のほうが比率は高くなっています（図表 2-1-3、2-1-4）。このような回答の背景には、仕事と子育ての両立において、おもな担い手がひとりである状況のなか、時間に追われる日常生活を支える手段として、車両の保持を必要としている現実があると推察されます。

第 3 章

—通学—

沖縄県高校生調査 通学

◆ 3-1 登下校時のバス利用

登下校時のバス利用等について、保護者に尋ねています。すると、登校時、帰宅時ともに、経済的な差が見られ、「困窮」世帯に比べ、「非困窮」世帯の方がバス利用の割合が高いことが分かります(図 3-1-1、図 3-1-2)。また、帰宅時にはあまり見られない傾向ですが、登校時にはひとり親世帯のほうがふたり親世帯に比べ、バス利用が多いことが伺えます(図 3-1-1、図 3-1-2)。

図 3-1-1 登校時 お子さんは、高校にどのような交通手段で通学していますか
バス（乗り換えなし） 経済状況別・世帯構成別（複数回答）

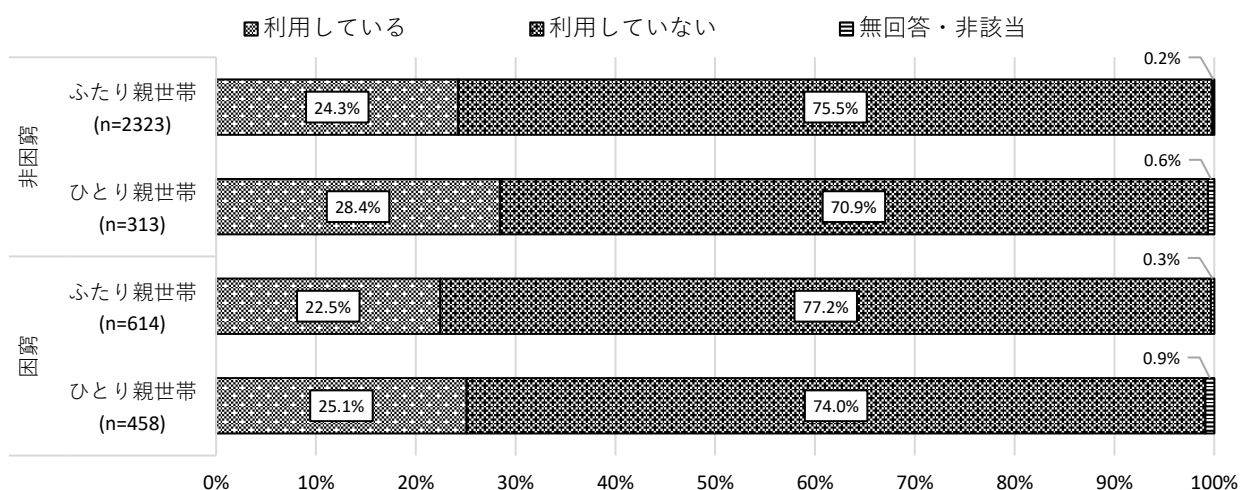
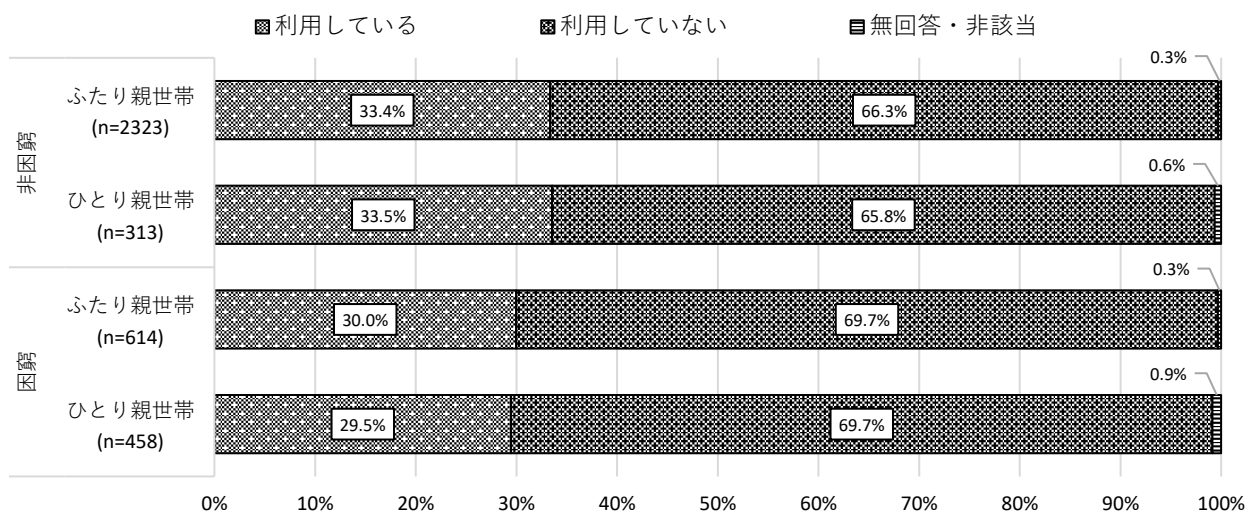


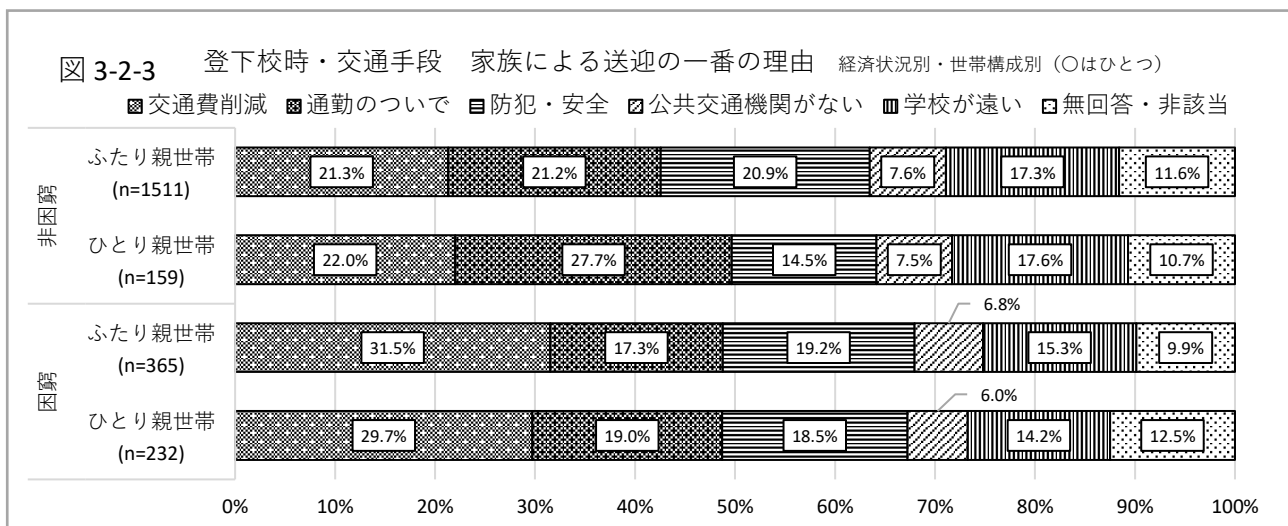
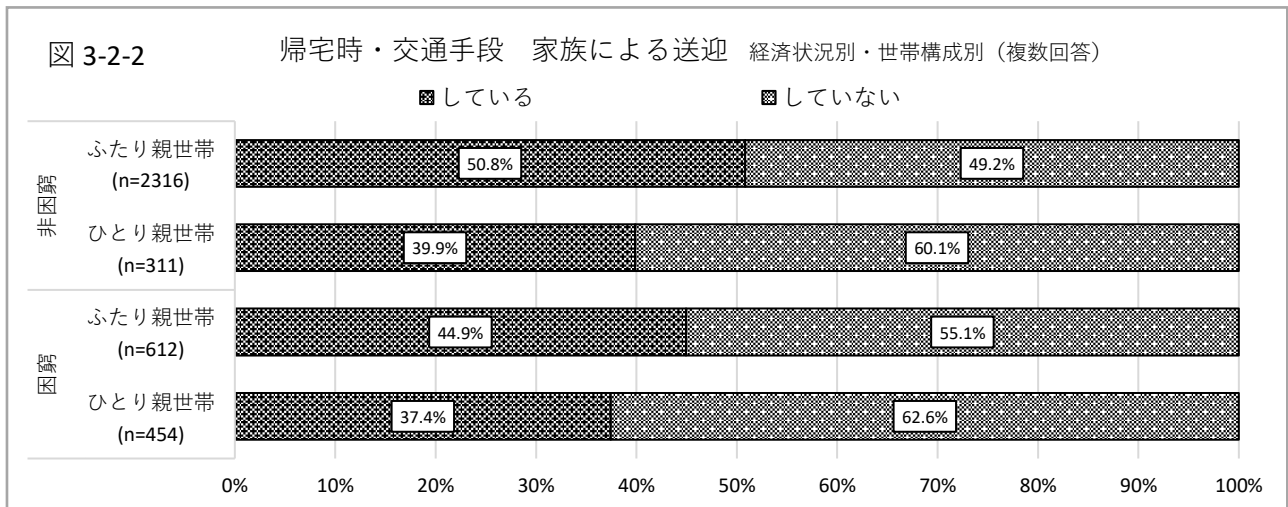
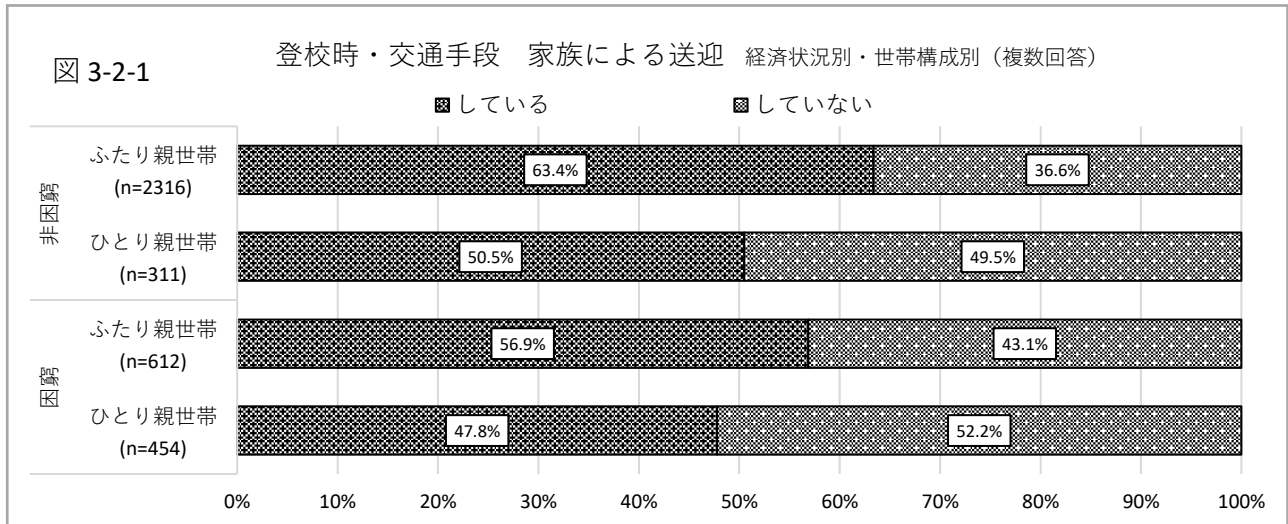
図 3-1-2 帰宅時 お子さんは、高校からどのような交通手段で帰宅していますか
バス（乗り換えなし） 経済状況別・世帯構成別（複数回答）



◆ 3-2 登下校時の家族による送迎

図 3-2-1 と図 3-2-2 からは、家族による送迎の有無について「困窮」世帯に比べ「非困窮」世帯のほうが、ひとり親世帯に比べふたり親世帯のほうが、家族による送迎がある傾向が見られます。

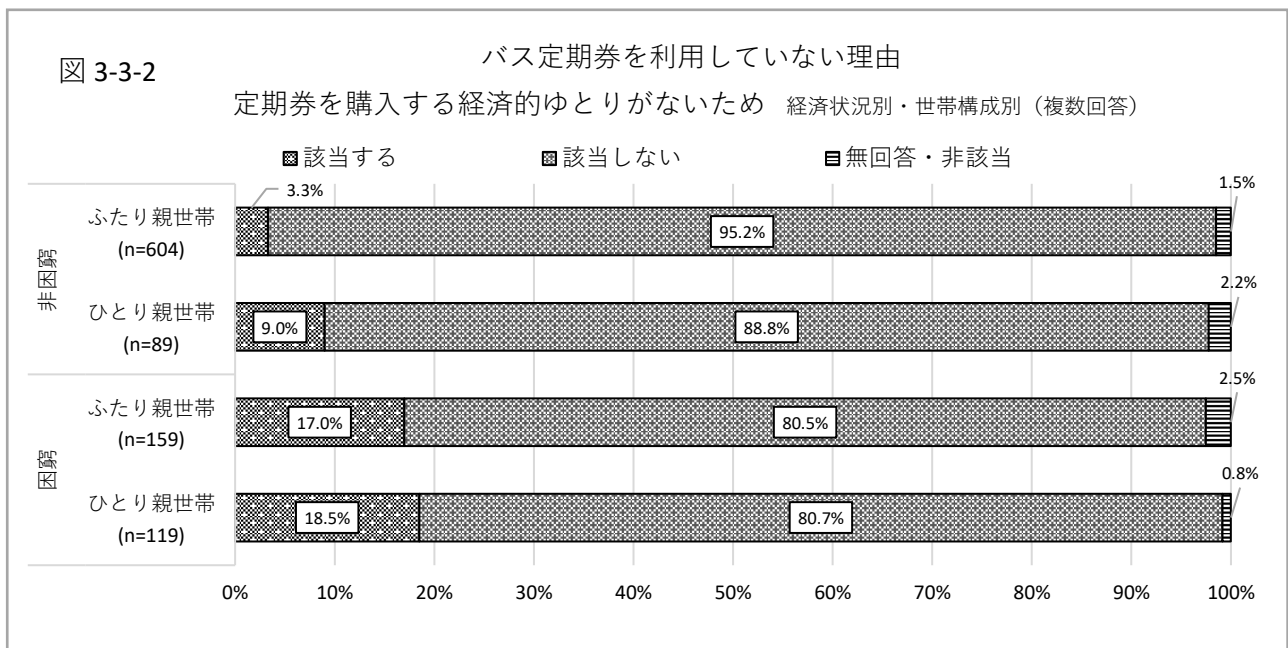
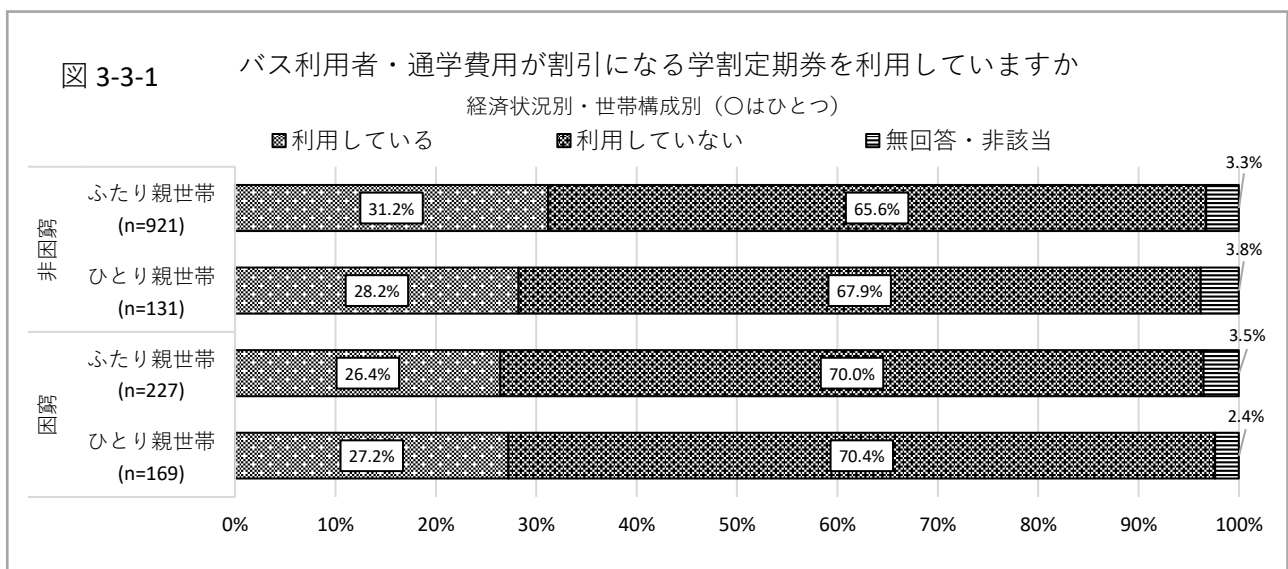
また、送迎の理由を表している図 3-2-3 からは「非困窮」世帯に比べ「困窮」世帯では交通費削減を主な理由とする傾向が高く、「非困窮」世帯では通勤のついでとする傾向が高いことが分かります。



◆ 3-3 バス定期券の利用

バス定期券の利用について、図 3-3-1 からは経済的な要因が影響を与えていることが少し伺えます。「困窮」世帯に比べ「非困窮」世帯の方がバス定期利用の割合が若干高いことが伺えます。

このことの原因を考える上で、バス定期券を利用していない理由のうち、「定期券を購入する経済的ゆとりがない」ことが該当するかどうか尋ねた質問の結果を表す図 3-3-2 は、示唆に富むものです。「定期券を購入する経済的ゆとりがない」ことに該当する割合は、「困窮」世帯のほうが顕著に高いことが分かります。また、世帯構成も影響を与えており、ひとり親世帯のほうが該当する割合が高いことが見て取れます。



◆ 3-4 通学費が高校進学に与える影響

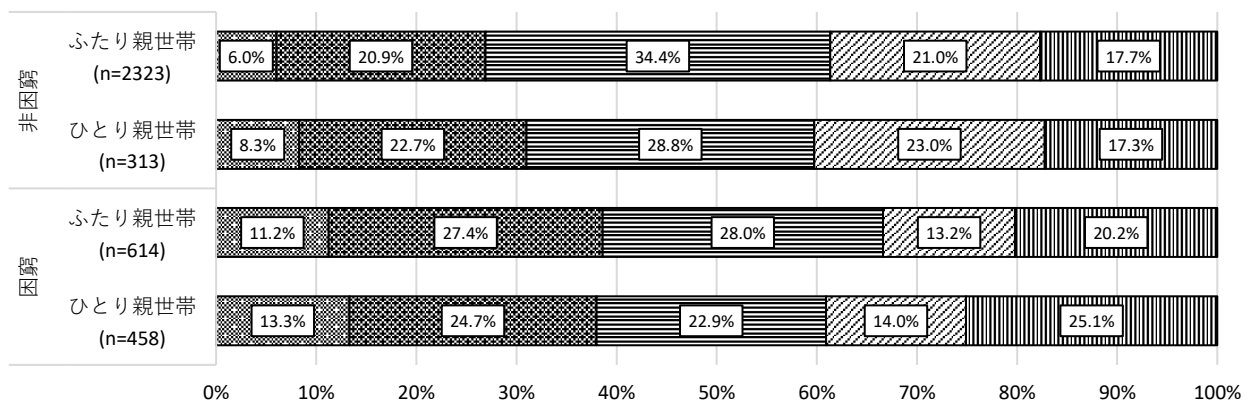
保護者に対して、「通学交通費の負担は、高校進学の際の選択材料になっていましたか」を「非常に重視した」「やや重視した」「あまり気にしなかった」「まったく気にしなかった」の4つの選択肢で尋ねています。

結果からは、経済状況の違いが影響を与えていることが分かりました。「非常に重視した」「やや重視した」割合は「困窮」世帯で高く、「あまり気にしなかった」「まったく気にしなかった」割合は、「非困窮」世帯で高いことが伺えます。また、「困窮」世帯ではあまり目立たないのですが、「非困窮」世帯では世帯構成の違いも影響しており、重視した割合がひとり親世帯で高いことが見えます。

図 3-4-1 通学交通費の負担は、高校進学の際の選択材料となっていましたか

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

■非常に重視した ■やや重視した ■あまり気にしなかった ■まったく気にしなかった ■無回答・非該当



考 察

通学について分析したところ、経済状況および世帯構成の違いが影響を与えていることが分かりました。

まず、バス利用を見ると経済的に安定している世帯のほうがバスを利用している割合が高いことが伺え、また登校時のみですが、ふたり親世帯に比べひとり親世帯のほうがバスを利用している割合が高いことが分かりました。

家族の送迎についても、全体として経済的に安定している世帯のほうが行っていることが分かりました。これは、車の所有などの要因も影響しているかもしれません（送迎の理由を尋ねると、経済的に安定した世帯で、通勤のついでとする割合が高く、このことを裏付けるもののように感じられます）。また、ふたり親世帯のほうが家族送迎の割合が高いことも伺えました。これは、送迎ができる大人の数の違いによるものと解釈できるかもしれません。

バス定期券の利用についても経済的な要因が影響を与えていることが少し伺えました。経済的に安定した世帯の方がバス定期利用の割合が若干高いことが見えました。この要因として、定期券を購入するゆとりがないためであるとする割合の高さを見ると、経済的に不安定な世帯の割合がそうでない世帯に比べ目立つことから、定期券代の高さが影響していることが推察できます。

上記のような点と関連して、高校の進学先を決めるにあたって、経済状況の違いが保護者に影響を及ぼしていることが分かりました。交通費を重視せざるを得ない保護者の割合が経済的に不安定な世帯で高いことが見えました。

第 4 章

—将来（進学・進路の希望）—

沖縄県高校生調査 将来（進学・進路の希望）

◆4-1 進学に関する理想と現実

すべての対象高校生に「高校卒業後、理想的には将来どの学校まで進学したいと思いますか」という質問と「現実的には、どの学校まで行くことになると思いますか」という質問をしています。回答は、ともに「この高校までで良い」「専門学校まで」「短期大学まで」「大学まで」「大学院まで」「その他」で選択してもらっています。

図 4-1-1、図 4-1-2 は、経済状況に加え、世帯構成で分けした 4 つのカテゴリーごとに違いを見たものです。すると、「理想的に」も、「現実的に」も、4 つのカテゴリーで差があることが分かります。特にはっきり差がでているのが、「この高校までで良い」と「大学まで」で、「理想的に」も、「現実的に」も、非困窮世帯よりも困窮世帯が、ふたり親世帯よりもひとり親世帯の方が、「この高校までで良い」を選ぶ割合が高く、「大学まで」を選ぶ割合が低いことが分かります。

また、「理想的に」と「現実的に」で、差が顕著に広がっているのも、「この高校までで良い」と「大学まで」の割合であることが分かります。4 つのカテゴリーすべてで差が広がっていることも伺えます。さらに、「現実的に」で「この高校までで良い」の割合が増えても「専門学校」「短期大学」の割合はあまり増加していないことも見えます。

進学を希望(理想)する時点でも、経済的な要因、世帯構成的な要因は、ともに影響を与えていること、および、さらに現実を直視すれば、その差は広がる傾向が見え、全体として高校までであきらめざるを得ない(大学の進学はあきらめる)生徒はより増加することが、判明したと言えます。

図 4-1-1 あなたは高校卒業後、理想的には将来どの学校まで進学したいと思いますか

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

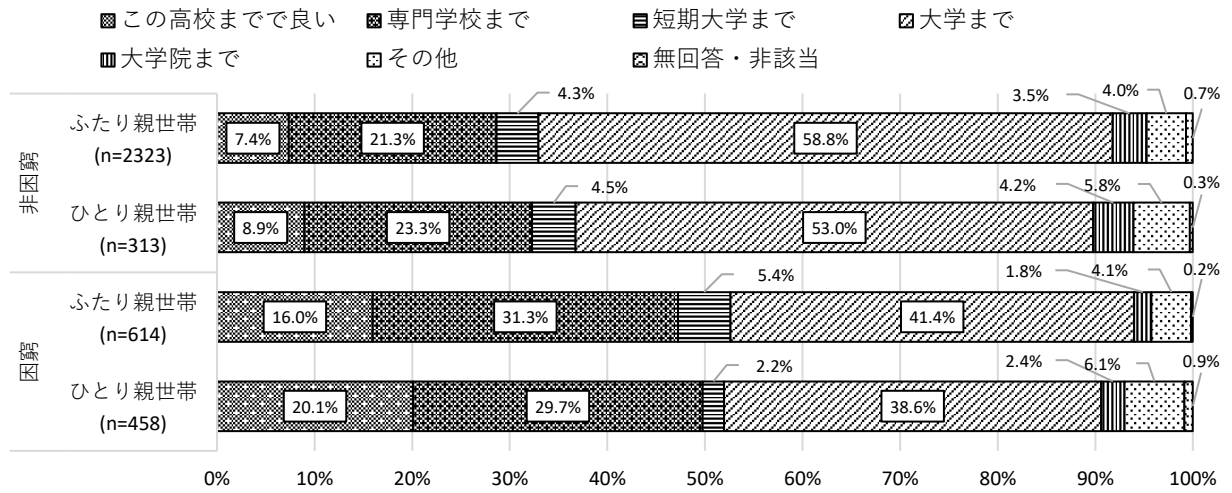
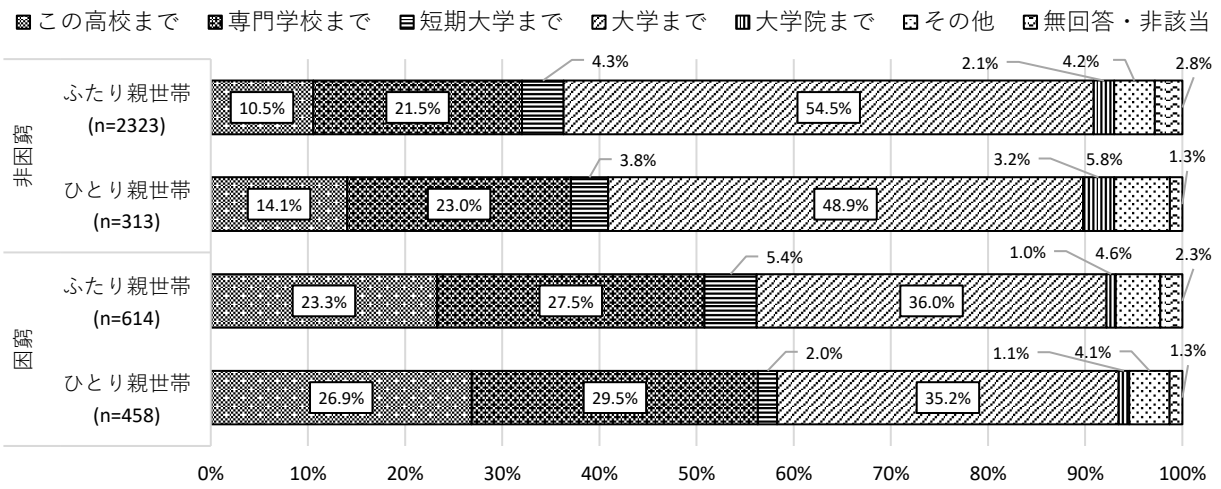


図 4-1-2 あなたは現実的には、どの学校まで行くことになると思いますか

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）



◆ 4-2 高校卒業後の進路や就職などの具体的な希望

本調査では、高校生本人に「あなたは、現時点で、高校卒業後の進路や就職などの具体的な希望がありますか」という質問をしています。回答は、「進学」、「就職」、「家業を継ぐ」、「自由業・起業など」、「まだ決めていない」から選択してもらっています。図 4-2-1 は、これを経済状況別(非困窮・困窮)に見たものです。また、図 4-2-2 は、経済状況ごとに、さらに世帯構成別(ふたり親・ひとり親)に見たものです。図 4-2-1 からは、経済的な格差が進路や就職などに影響があることが伺えます。経済的に「困窮」している世帯では、「進学」と回答した高校生は、そうでない世帯(「非困窮」と比べ、約 13%少なく、「就職」と回答する高校生は約 11%多いことが分かります。また、「まだ決めていない」高校生の割合にも差が少し見られます(1.6%)。

図 4-2-2 からは、経済状況に加え、世帯構成の違いも高校生の進路に影響していることが伺えます。「困窮」世帯でも「非困窮」世帯でも、「ふたり親」世帯に比べ「ひとり親」世帯では、「進学」を選択している高校生は少なく、「就職」を選択するものが多いことが分かります。また、「まだ、決めていない」については、「非困窮」世帯では、「ふたり親」「ひとり親」世帯間で差(2.3%)が見られますが、「困窮」世帯では差が見られません。また、「ひとり親」世帯では経済状況による差はないことが分かります。進路の未決定(「まだ、決めていない」)については、経済状況も若干の影響があり、経済的に安定している世帯においては世帯構成の違いによる影響も若干影響があると言えます。

図 4-2-1 あなたは現時点で、高校卒業後の進路や就職などの具体的な希望がありますか
経済状況別(○はひとつ)

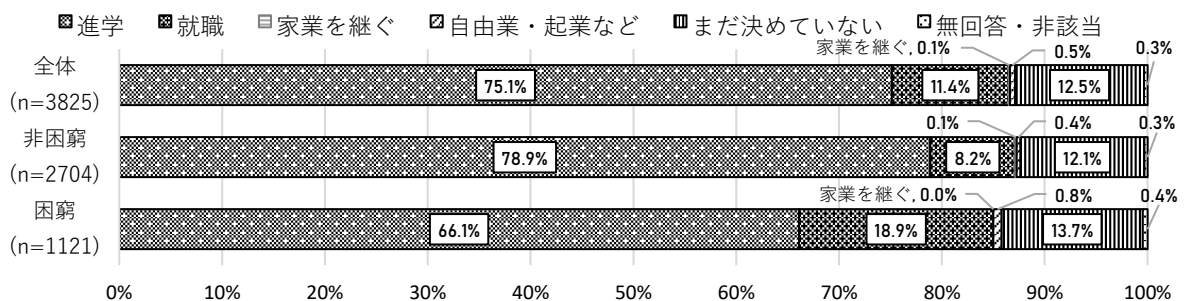
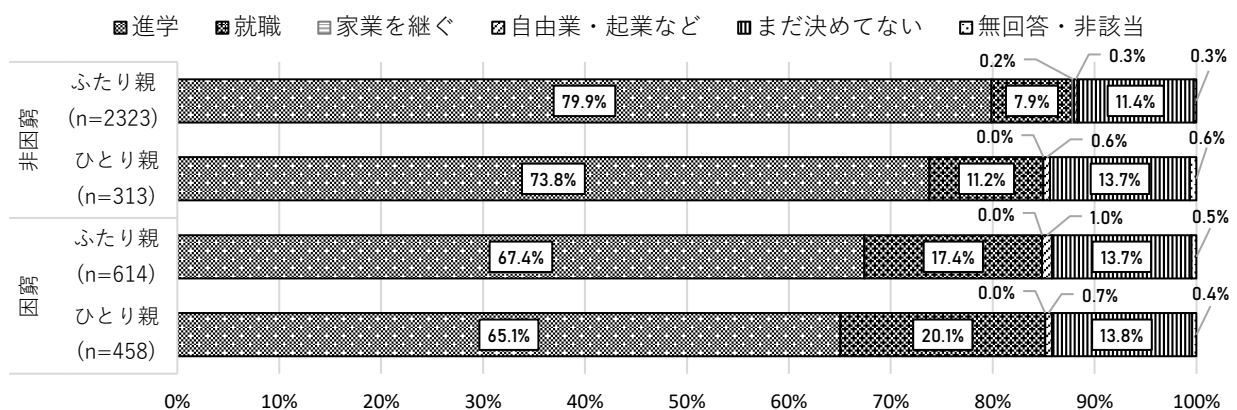


図 4-2-2 あなたは現時点で、高校卒業後の進路や就職などの具体的な希望がありますか
経済状況別・世帯構成別(○はひとつ)



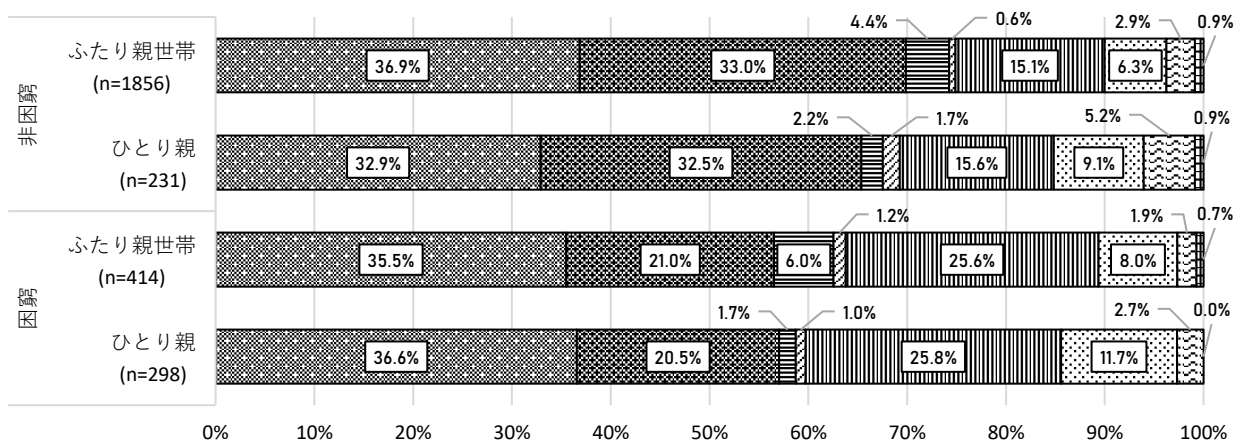
◆ 4-3 高校卒業後の第一志望の進学先の希望

進路として「進学」を選んだ高校生本人に、第1希望の進学先について、「県内大学」「県外大学」「県内短大」「県外短大」「県内専門学校」「県外専門学校」の6つの選択肢の中から選んでもらっています。

図4-3-1からは、「県外大学」と「県内専門学校」で差が顕著に見られることが分かります。「困窮」世帯に比べ、「非困窮」世帯で（ふたり親世帯・ひとり親世帯ともに）「県外大学」を選んでいる高校生の割合が高く、「県内専門学校」を選んでいる高校生の割合が低い状況になっています（それぞれ約10%の差）。また、「非困窮」世帯において、「ひとり親」世帯のほうが「県内大学」の割合が低く、「県外専門」の割合が高いことが分かりますが、違いはそれほど顕著ではなく、経済状況による違いのほうが大きいことも分かります。

図 4-3-1 進学を希望する生徒・第一志望の進学先を教えてください
経済状況別・世帯構成別（○はひとつ）

■ 県内大学 ■ 県外大学 ■ 県内短大 ■ 県外短大 ■ 県内専門学校 ■ 県外専門学校 ■ その他 ■ 無回答・非該当



◆ 4 - 4 就職を希望する理由

進路として「就職」を選んだ高校生本人に、就職を希望する理由について、「A. 仕事をするのが自分に向いていると思う」「B. 早くお金を稼ぎたい・経済的に自立したい」「C. やりたい仕事がある」「D. 高卒後すぐに就職した方がいい会社(官公庁)に入れると思う」「E. 進学しても得るものが少ないと思う」「F. 高卒後すぐに進学しなくても進学のチャンスはあると思う」「G. 家族や学校の先生にすすめられている」「H. 進学のための費用が高い」「I. 進学したい学校が近くにない」「J. 自分の成績では行きたい学校に行けそうにない」の10項目それぞれがどの程度あてはまるかを「とてもあてはまる」「あてはまる」「あてはまらない」「まったくあてはまらない」の4つの選択肢で選んでもらっています。

「非困窮」世帯と「困窮」世帯間で、「とてもあてはまる」+「あてはまる」のカテゴリーで、差が見られるのは、「A. 仕事をするのが自分に向いていると思う」「B. 早くお金を稼ぎたい・経済的に自立したい」「D. 高卒後すぐに就職した方がいい会社(官公庁)に入れると思う」「G. 家族や学校の先生にすすめられている」で「非困窮」世帯の割合が高く、「H. 進学のための費用が高い」「I. 進学したい学校が近くにない」で「困窮」世帯の割合が高いことが伺えます。

ここから、進学でなく就職を選ぶ理由として、就職することを早く自立したいなど前向きに考えたり、または周囲が本人の状況から早く自立することが良いと認めているという積極的な理由で就職を選ぶ傾向があるのが、「非困窮」世帯の高校生であり、進学の費用(交通費を含む)など経済的な理由からやむをえず、就職を選ぶ傾向があるのが、「困窮」世帯の高校生であるのが分かります。

図 4-4-1

A. 仕事をするのが自分に向いている

経済状況別 (○はひとつ)

■ とてもあてはまる ■ あてはまる ■ あてはまらない ■ まったくあてはまらない ■ 無回答

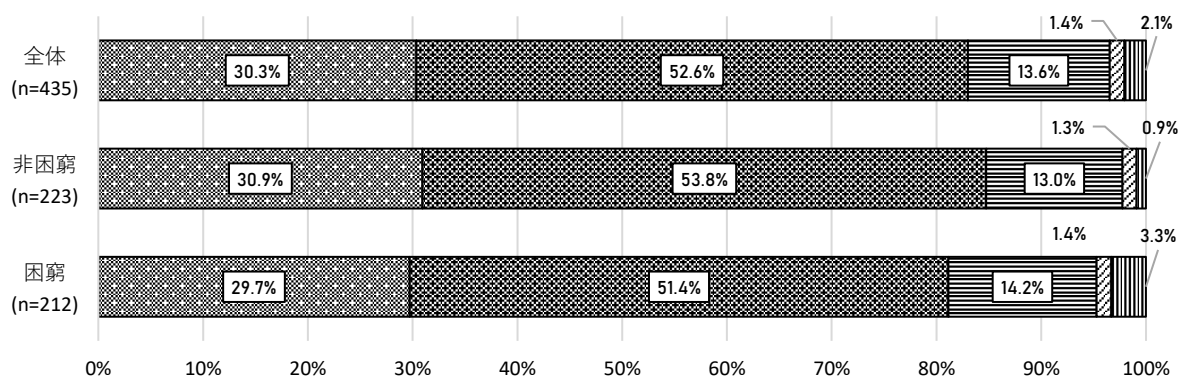


図 4-4-2

B.早くお金を稼ぎたい・経済的に自立したい

経済状況別 (〇はひとつ)

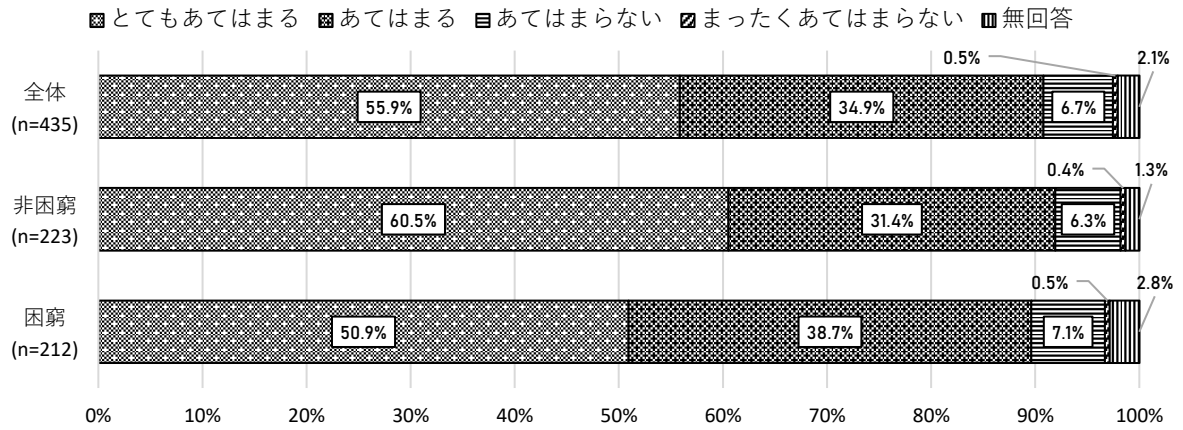


図 4-4-3

C.やりたい仕事がある

経済状況別 (〇はひとつ)

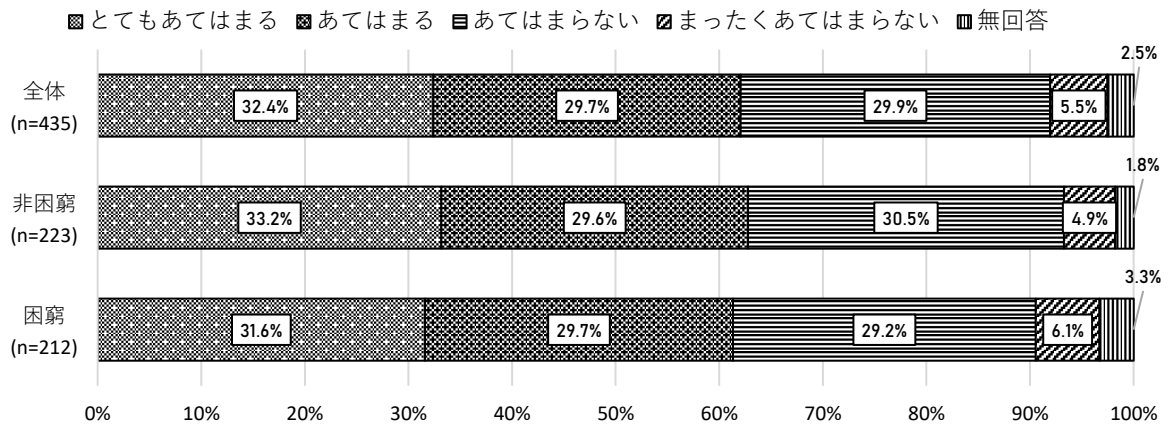


図 4-4-4

D.高卒後すぐに就職した方がいい会社(官公庁)に入れると思う

経済状況別 (〇はひとつ)

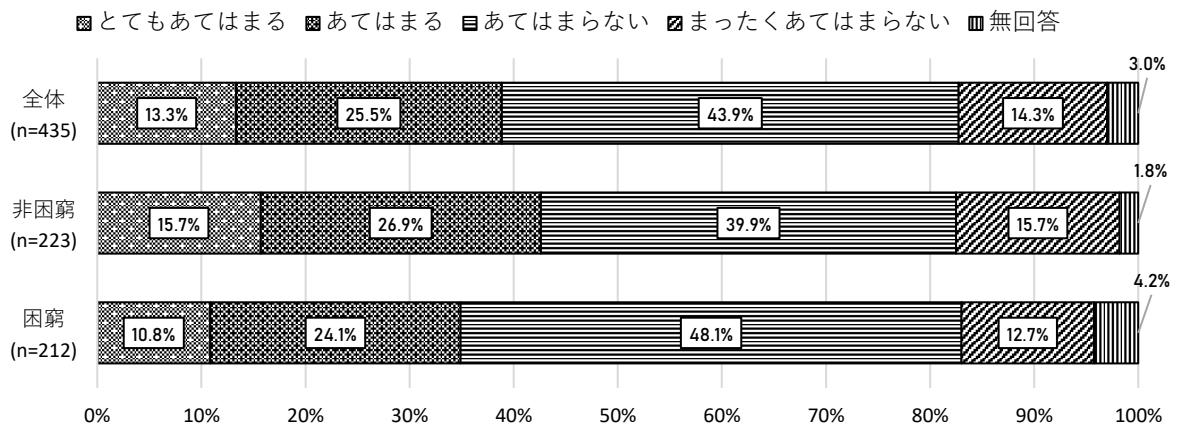


図 4-4-5

E.進学しても得るものが少ないと思う

経済状況別 (〇はひとつ)

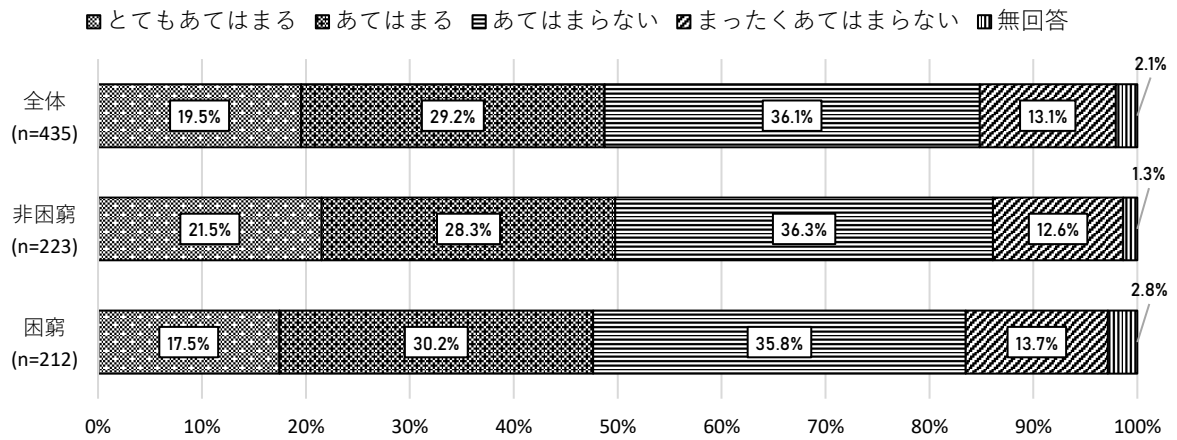


図 4-4-6

F.高卒後すぐに進学しなくても進学のチャンスはあると思う

経済状況別 (〇はひとつ)

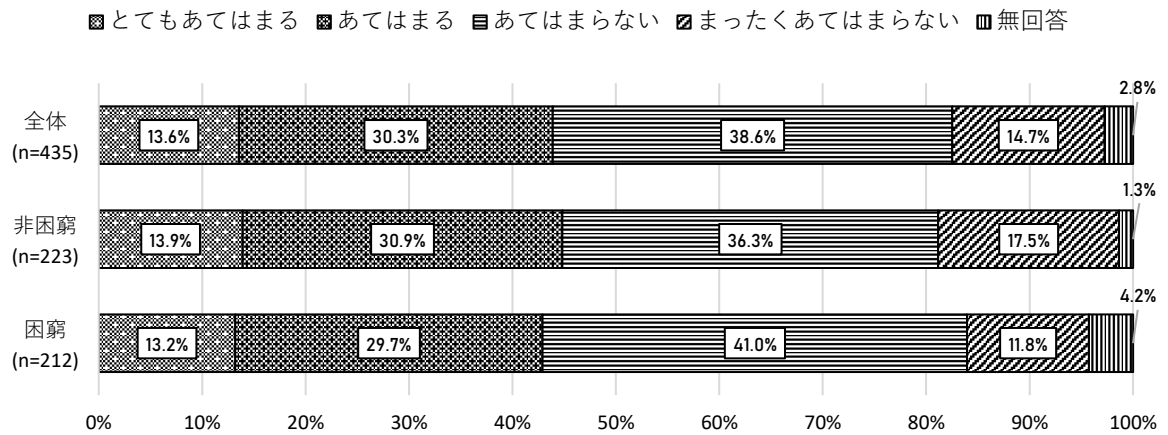


図 4-4-7

G.家族や学校の先生にすすめられている

経済状況別 (〇はひとつ)

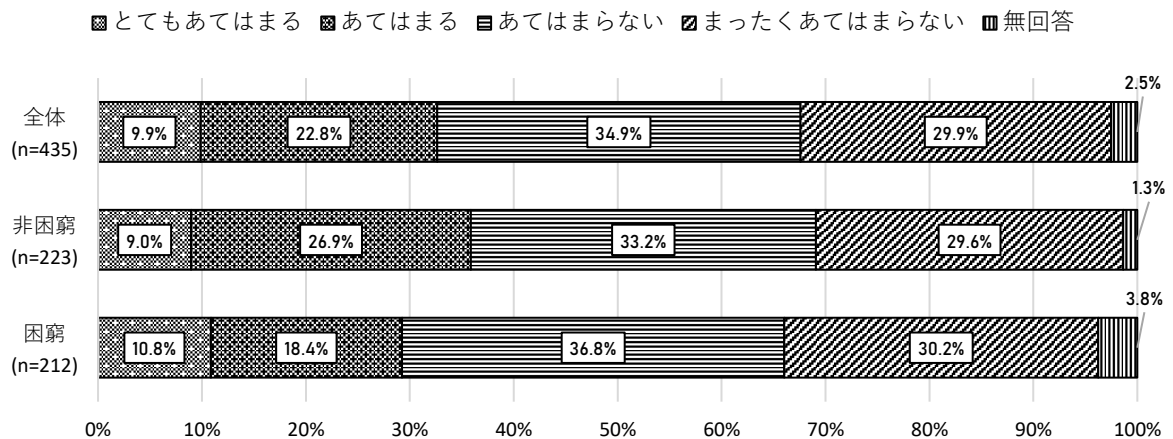


図 4-4-8

H.進学のための費用が高い

経済状況別 (○はひとつ)

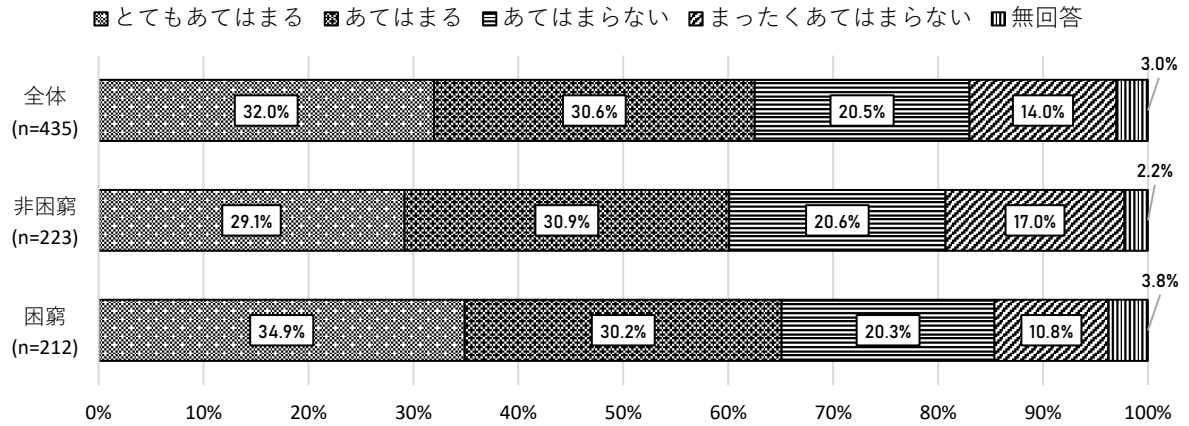


図 4-4-9

I.進学したい学校が近くにない

経済状況別 (○はひとつ)

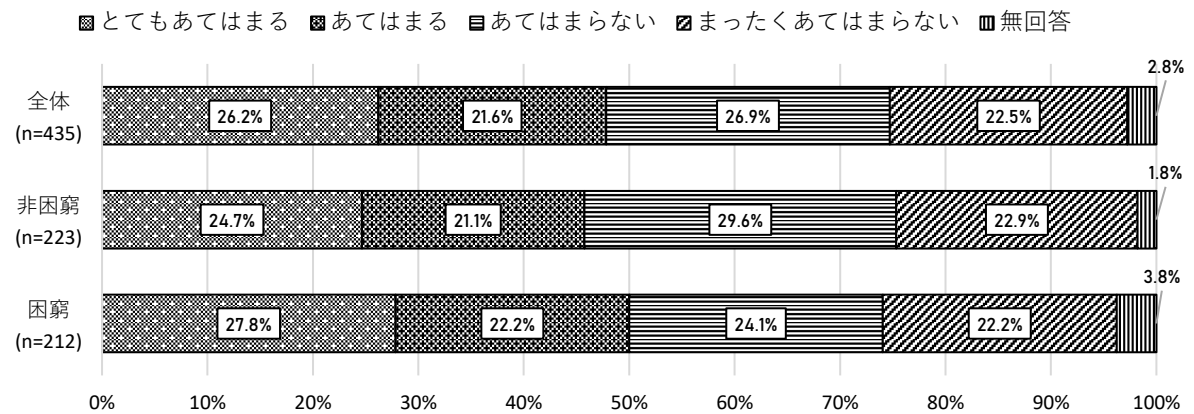
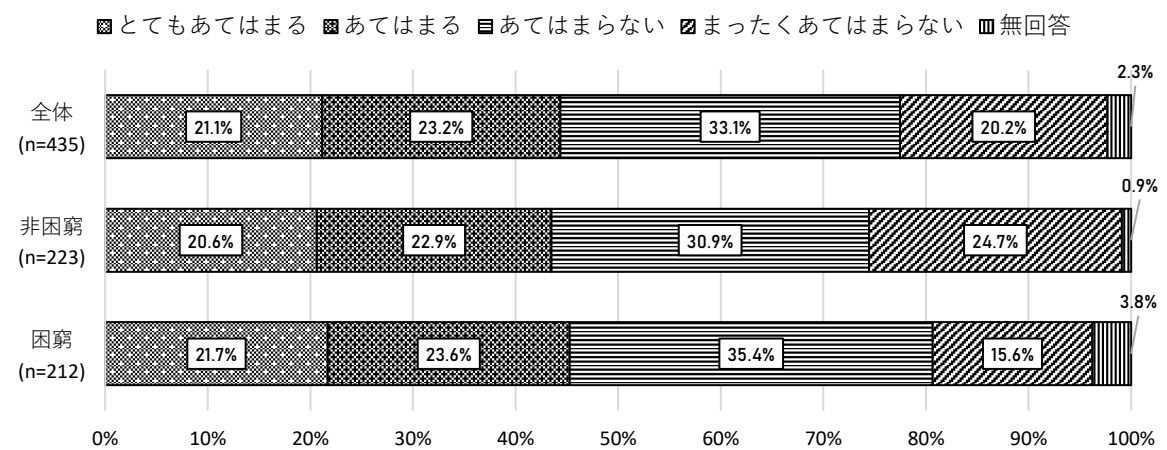


図 4-4-10

J.自分の成績では行きたい学校に行けそうにない

経済状況別 (○はひとつ)



考 察

進路選択について、この分析では高校生の家族背景が影響を与えていることが浮かび上がってきました。経済状況に加え、世帯構成の違い（ふたり親世帯かひとり親世帯か）にも影響がありました。

まず、将来どこまで進学をしたいかということを理想像として尋ねても、経済的要因・世帯構成的要因によって格差が目立つことが分かりました。さらに現実を直視すれば、その格差はより広がる傾向が見えました。ただし、理想と現実の差は家族背景に関わらずどの生徒にも見えるものであり、大学全体の学費の高さ等の影響があるのかもしれませんが。

また、就職も含め、進路について尋ねたところ、経済的要因・世帯構成的要因ともに影響を与えていることが見えました。経済的に困窮している世帯のほうが、またふたり親世帯に比べひとり親世帯のほうが、進学の割合が少なく就職の割合が増えることが見えました。

進学先希望にも特に経済状況で影響があることも見えました。県外大学への進学については、経済的に困窮している世帯でそうでない世帯に比べ顕著に割合が低く、それと比例して県内専門学校の割合が高くなっていました。県外大学への進学を希望することは、学費に加え生活費の面でも負担があり、経済的に不安定な世帯では困難になることを生徒自身が自覚していることを表していると言えます。

就職についても、その理由を尋ねると、経済状況によって相違点があることが分かりました。高校卒業で社会に出ることを前向き積極的に考え就職を選択しているのが、経済的に安定している世帯の高校生であり、進学の費用（交通費を含む）など経済的な理由からやむをえず、就職を選ぶ傾向があるのが、経済的に不安定な世帯の高校生であるのが分かります。

このように、進学や就職の割合だけでなく、進学先、就職の理由など進路選択の様々な側面で、経済的な状況および世帯構成の違いが影響を与えていることが見えました。しかし、進路に影響を与えるのは、経済状況・世帯構成の違いだけとは限らず、今後は他の要因も組み入れた分析が必要となります。また、世帯構成の違いについても、例えば同じ「困窮」世帯であっても、ひとり親世帯のほうがふたり親世帯に比べ経済状況が厳しい可能性があり、そうした要因を組み入れた分析も必要になると考えられます。

第 5 章

—一部活動・就労（アルバイト）—

沖縄県高校生調査 部活動・就労（アルバイト）

◆ 5-1 部活動の状況

本調査に回答した高校生 4,311 名のうち、部活動を「している」人は 63.0%、「したいと思わない」人は 27.5%、「したいけれどできない」人は 8.7%、無回答は 0.8%でした（図 5-1-1）。

経済状況別・世帯構成別にみると、部活をしている者の割合は、「非困窮世帯（ふたり親）」で最も高く 67.8%、「困窮世帯（ひとり親）」で最も低く 49.6%でした（図 5-1-2）。「したいけれどできない」という回答は、「非困窮世帯（ふたり親）」では 7.4%であるのに対し、「困窮世帯（ひとり親）」では 12.0%と 1 割を超えています。

そこで、「部活動をしたいと思わない／したいができない」と回答した高校生にその理由を尋ねたところ、経済状況によってやや異なる傾向が把握されました。非困窮世帯では、困窮世帯に比べて「勉強が忙しいので」「塾・習い事が忙しい」が若干高く、困窮世帯では非困窮世帯に比べて「アルバイトをしたい」「部費や部活動にかかる費用が高額」がやや高くなっています（図 5-1-4）。

部活動にかかる費用では、費用負担のない 0 円であると回答した困窮世帯の割合は 19.1%であるのに対し、非困窮世帯では 9.4%となっています。これに対し、5 万円以上の費用負担の場合、困窮世帯では 16.8%、非困窮世帯では 23.6%でした（図 5-1-3）。

「アルバイトをしたい」ゆえに「部活動をしたいと思わない／したいけれどできない」という高校生は、「非困窮世帯（ふたり親）」では 26.1%であるのに対し、「困窮世帯（ひとり親）」では 37.8%となっています（図 5-1-6）。

図 5-1-1

あなたは現在部活動をしていますか

(○はひとつ)

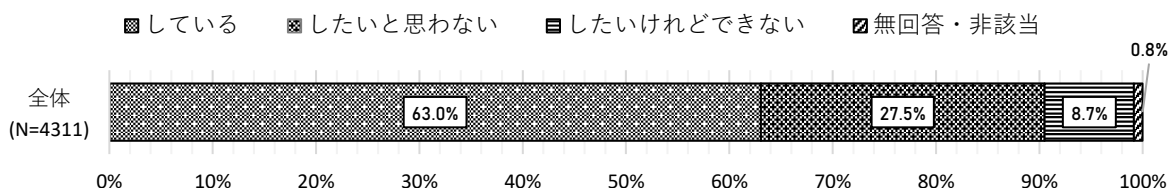


図 5-1-2

あなたは現在部活動をしていますか

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

■ している ■ したいと思わない ■ したいけれどできない ■ 無回答・非該当

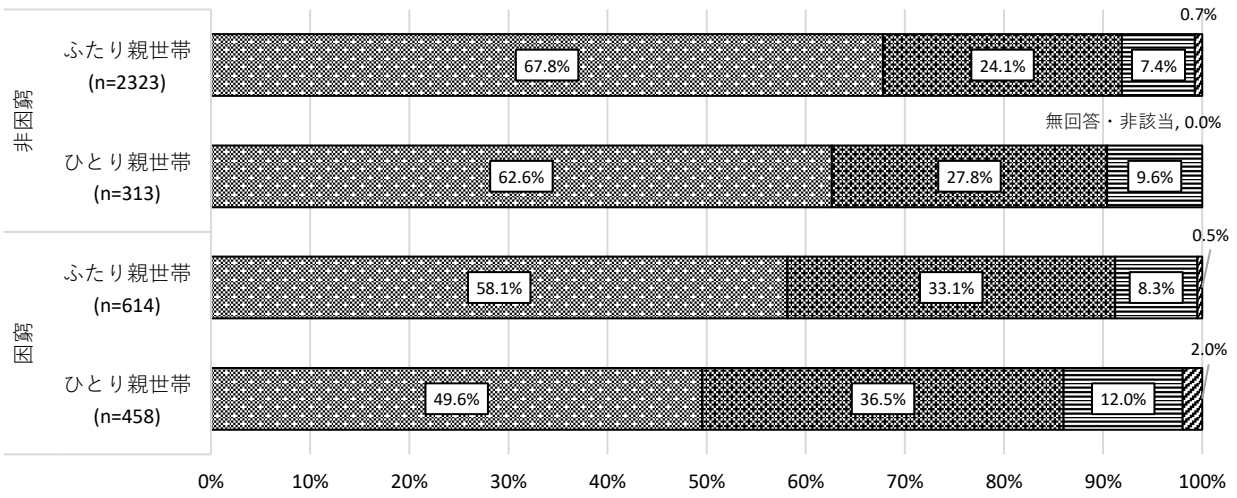


図 5-1-3

部活動にかかる費用は年間どれくらいかかりますか

経済状況別（〇はひとつ）

■ 0円 ■ 1万円～1万円未満 ■ 1万円～2万円未満 ■ 2万円～3万円未満
 ■ 3万円～4万円未満 ■ 4万円～5万円未満 ■ 5万円以上 ■ 無回答・非該当

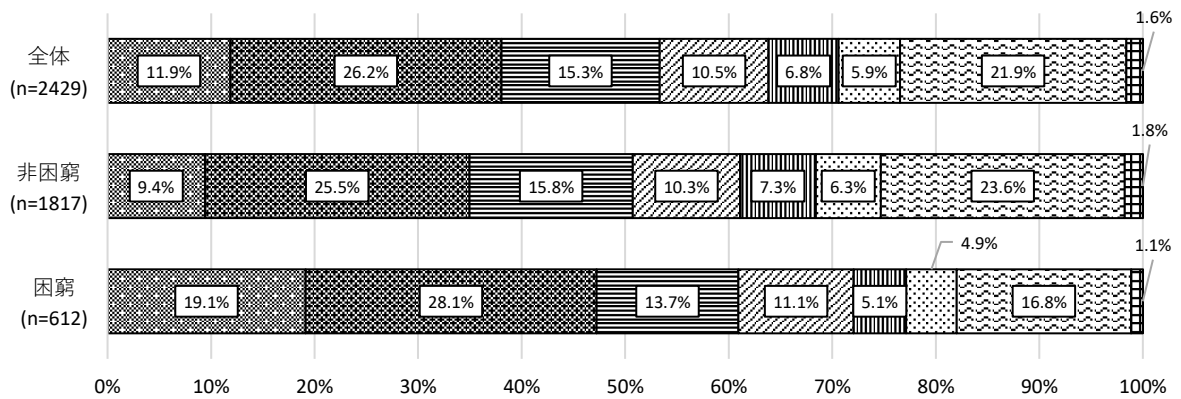


図 5-1-4 部活動を「したいと思わない」「したいけれどできない」と答えた生徒の理由
 経済状況別（複数回答）

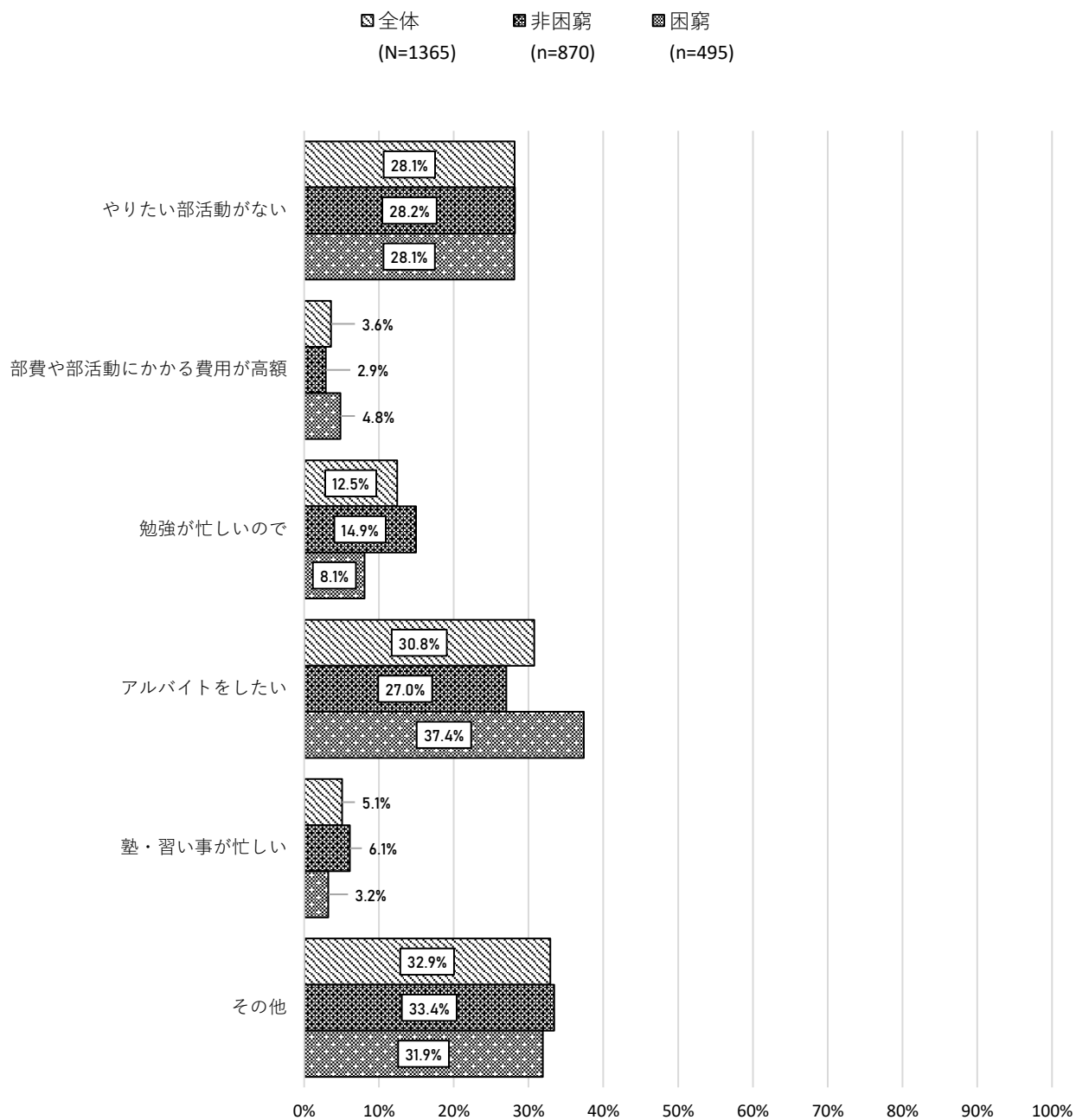


図 5-1-5 部活動を「したいと思わない」「したいけれどできない」の理由のうち「勉強が忙しいので」と回答した生徒 経済状況別・世帯構成別（複数回答）

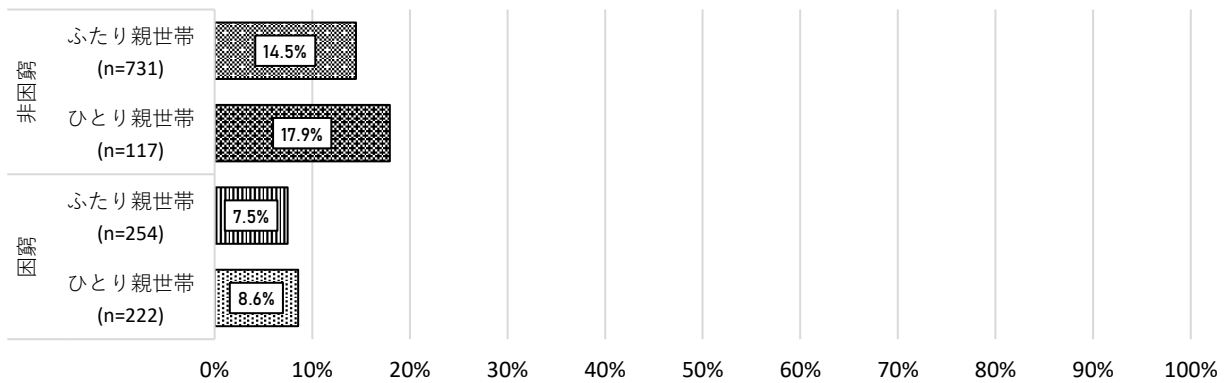
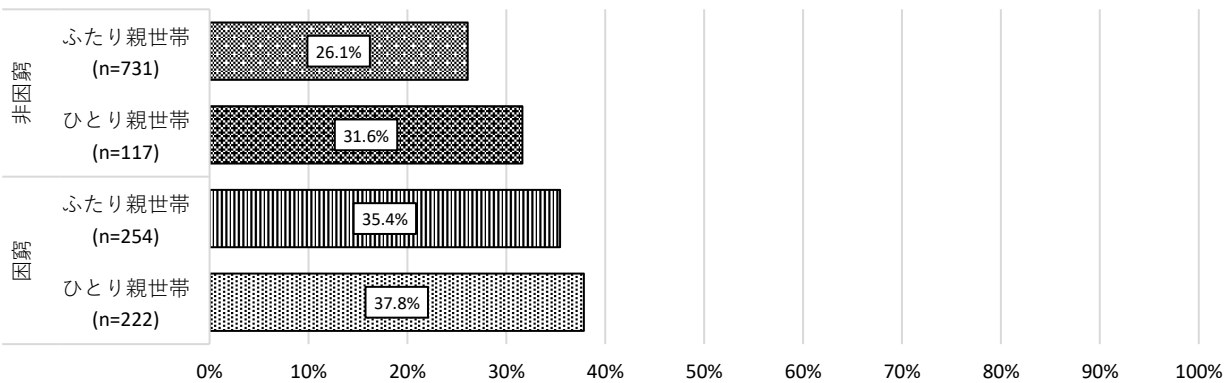


図 5-1-6 部活動を「したいと思わない」「したいけれどできない」の理由のうち「アルバイトをしたい」と回答した生徒 経済状況別・世帯構成別（複数回答）



◆5-2 就労（アルバイト）の状況とその使い道

本調査では、「高校に入ってから今までに就労（アルバイト）をしたことがありますか」という設問を設けました。その結果、高校生の有効回答 4311 名のうち、アルバイトを「現在している」人は 21.4%、「過去にしたことがある」人は 12.8%、「まったくしたことがない」人は 64.6%でした（無回答は 1.2%）（図 5-2-1）。「現在している」「現在はしていないが過去にしたことがある」を合せると、34.2%の高校生が高校に入学以降、何らかのアルバイトをした経験があることとなります（図 5-2-1）。

経済状況・世帯構成別にアルバイト経験をみると（図 5-2-2）、「まったくしたことがない」高校生は、「非困窮世帯（ふたり親）」では 71.7%であるのに対し、「困窮世帯（ひとり親）」では 46.3%と差が大きくなっています。一方、「現在している」高校生は、「非困窮世帯（ふたり親）」では 15.8%であるのに対し、「困窮世帯（ひとり親）」では 2 倍以上の 36.2%という高さです。

そこで、アルバイトで稼いだお金の使いみちを複数回答で尋ねた結果、もっとも多いのが「友だちと遊ぶ費用」（約 6～7 割）であるものの、家計や学校にかかる費用にあてている高校生が一定数いることが把握されました。たとえば、困窮世帯では、「家計の足し」「学校の昼食代」にあてている高校生が 3～4 割、「通学のための交通費」「学用品（文具など）」にあてている人が 2～3 割のほか、「修学旅行などの学校行事費」にあてている人が 1～2 割となっています。非困窮世帯でも、これらにあてている高校生が一定数います。（図 5-2-3）

また、非困窮世帯に比べて困窮世帯の高校生のほうが比率が高いものとして、このほかに「携帯代」があげられます。青少年のインターネット利用環境実態調査（内閣府・平成 29 年度速報値）によると、「高校生のスマートフォン・携帯電話の所有・利用率」は、97.1%となっており、今や高校生に必需品ともなっている携帯について、自分の稼ぎで費用をまかなっている高校生の姿が確認されました。

なお、部活動とアルバイトの関係では、「部活動をしたと思わない・したいけれどできない」と回答した高校生のうち、「困窮世帯」では、約半数が現在アルバイトをしています。（図 5-2-4）

図 5-2-1 高校に入ってから今までに就労（アルバイト）をしたことがありますか
（〇はひとつ）

■ 現在している ■ 過去にしたことがある ■ まったくしたことがない ■ 無回答・非該当

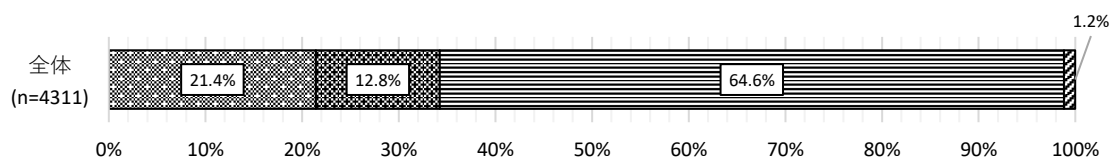


図 5-2-2 高校に入ってから今までに就労（アルバイト）をしたことがありますか
経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

■ 現在している ■ 過去にしたことがある ■ まったくしたことがない ■ 無回答・非該当

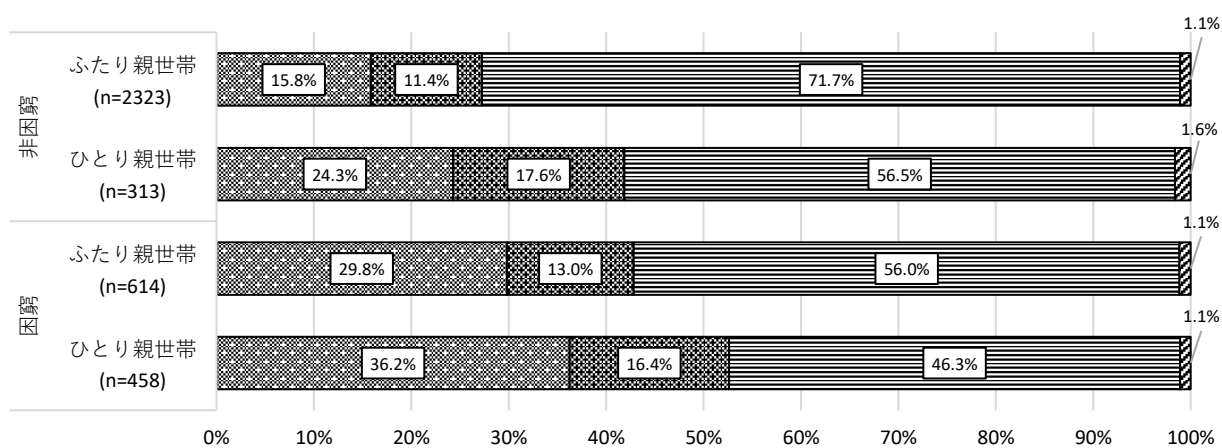


図 5-2-3

就労で稼いだお金は何に使っていますか

経済状況別・世帯構成別（複数回答）

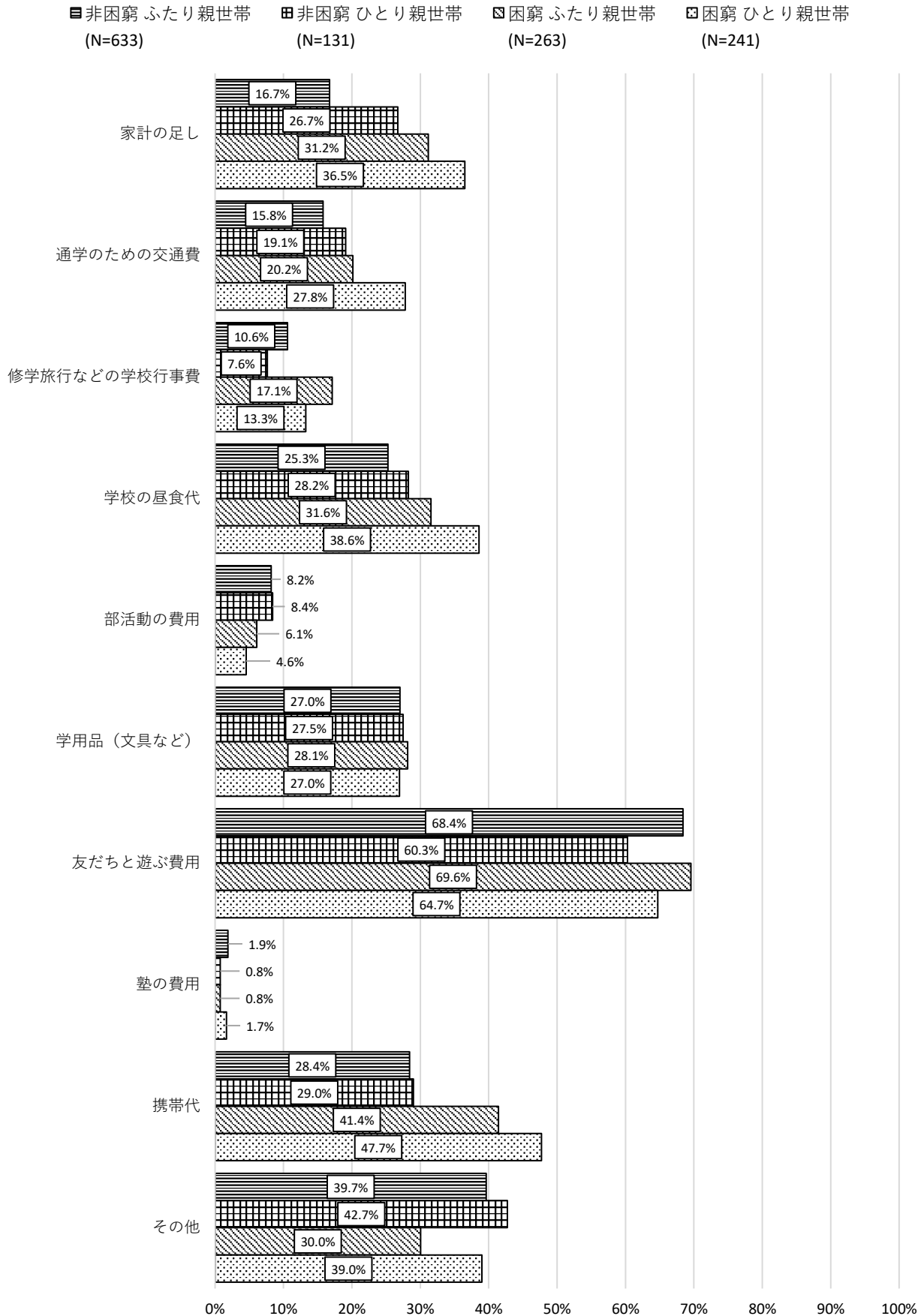


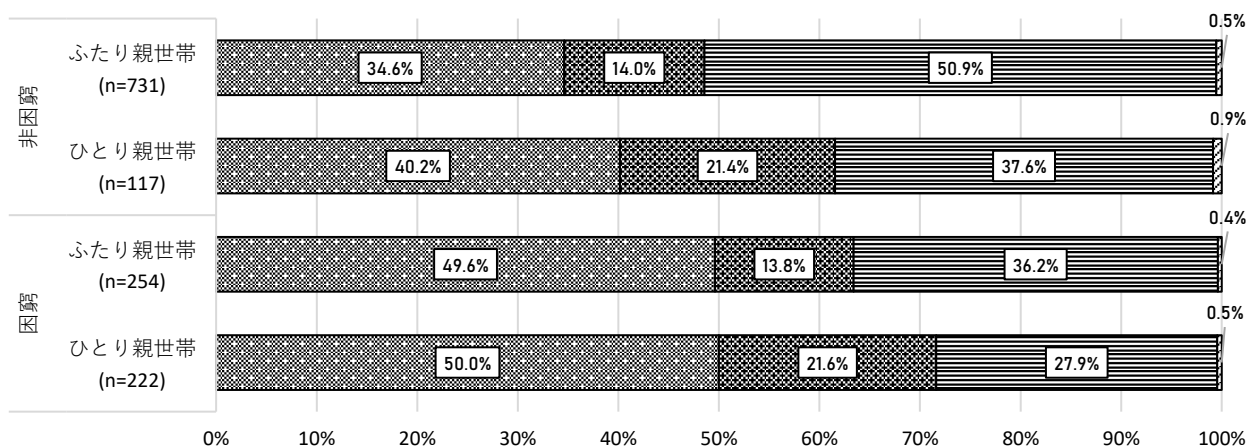
図 5-2-4

部活動を「したいと思わない」「したいけれどできない」

と回答した生徒の就労（アルバイト）経験

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

■ 現在している ■ 過去にしたことがある ■ まったくしたことがない ■ 無回答



考 察

本調査では、高校入学後に何らかのアルバイト経験がある高校生は 34.2% でした。しかしながら、学校の規則などとの関係を意識して回答した高校生がいることを想定すると、実際の数値は、これよりもやや高くなることも考えられます。

このような高校生がアルバイトで稼いだお金は、友達と遊ぶといった交際費にあてられている場合が多い一方、本調査では、家計や学校にかかる経費にあてている高校生が一定数おり、その割合は困窮世帯ほど高くなっていることが把握されました。

アルバイトをしたいということを理由に、部活動を控えている高校生が「困窮世帯（ひとり親）」では 4 割弱を占めていることからみても、経済状況ゆえに学校生活が制約される状況におかれている高校生が一定数存在していることに留意が必要です。

高校生自身の自由記述をみると、現在の暮らしのみならず、将来を心配して不安を抱えている状況も見えてきます。「進学に対して経済的な面でとても不安がある。現在も奨学金を借りているが、それも返せるかとても不安になる」「私の周りの高校生に経済的に苦しくて進学を諦める、自分のやりたいこととは違うことをする子も多いです。私も家計が苦しいため、最悪、夢は諦めて就職しないといけなかもかもしれません」「親に無理させてまで夢（大学進学）を叶えたいのかどうかも分からないです」など、多くの声が寄せられています。

高校生が家庭の経済状況や将来を心配することなく、高校生活が保障されるような環境の整備が求められています。

第 6 章

— 自 分 —

沖縄県高校生調査 自分

◆ 6-1 思い・気持ち

図 6-1-1 から図 6-1-6 までは、高校生本人のいわゆる自己肯定感を見たものです。質問では、「がんばれば、むくわれる」「自分は価値のある人間だと思う」「自分は家族に大切にされている」「不安に感じることはない」「孤独を感じることはない」「自分の将来が楽しみだ」という 6 項目について、それぞれ「とてもそう思う」「どちらかと言えばそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の 4 つの選択肢から一つを選んでもらう形で聞いています。ここでは、経済的状況と世帯構成の違いで 4 つにカテゴリー化しています。また、「とてもそう思う」と「どちらかと言えばそう思う」というポジティブな答えをしたグループを一括りとし、「あまりそう思わない」「そう思わない」というネガティブな答えをしたグループを一括りとし見えています。

すると、経済的状況が明確に影響していると思われる項目は、「自分は家族に大切にされている」（非困窮世帯のほうがポジティブな答えの割合が高い）を除くとありませんでしたが、世帯構成が影響している項目がいくつか見られることが分かりました。それらの項目では、ひとり親世帯と比較してふたり親世帯のほうがポジティブな答えの割合が高いことが伺えます。

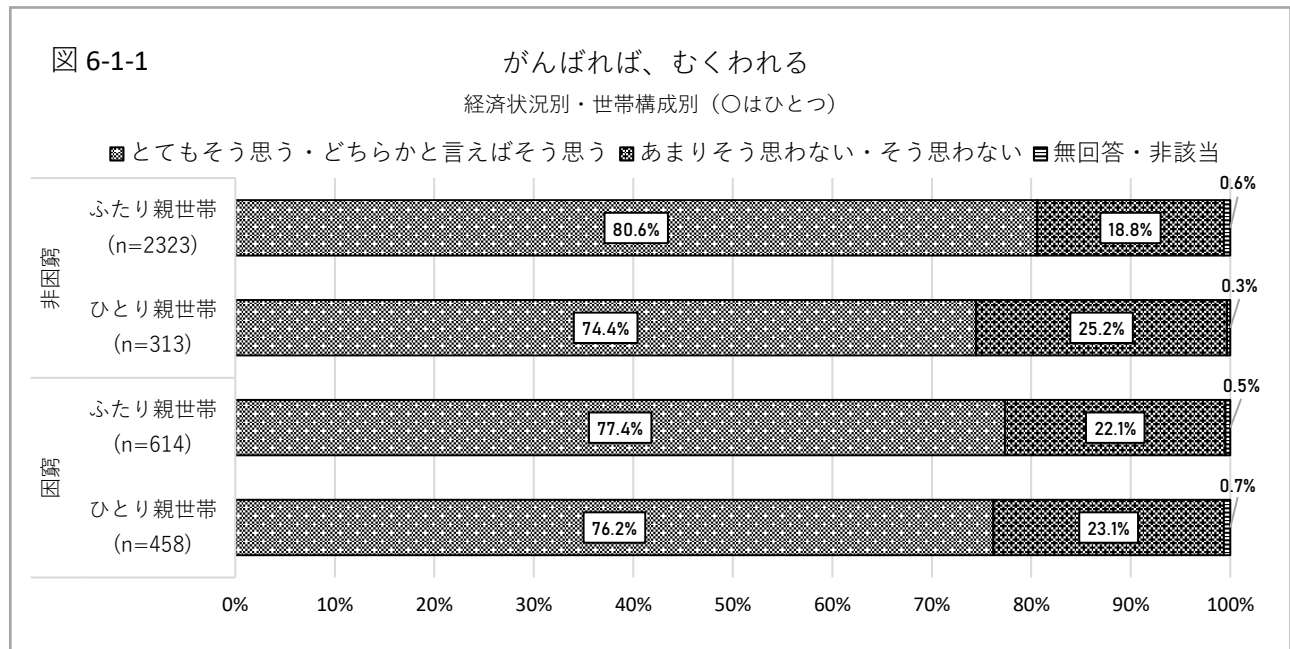


図 6-1-2

自分は価値のある人間だと思う

経済状況別・世帯構成別 (○はひとつ)

■とてもそう思う・どちらかと言えばそう思う ■あまりそう思わない・そう思わない ■無回答・非該当

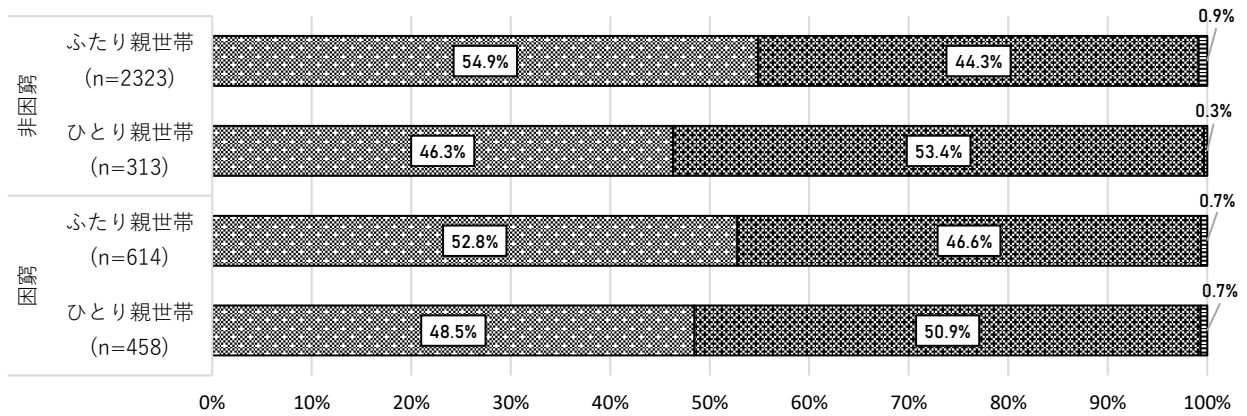


図 6-1-3

自分は家族に大事にされている

経済状況別・世帯構成別 (○はひとつ)

■とてもそう思う・どちらかと言えばそう思う ■あまりそう思わない・そう思わない ■無回答・非該当

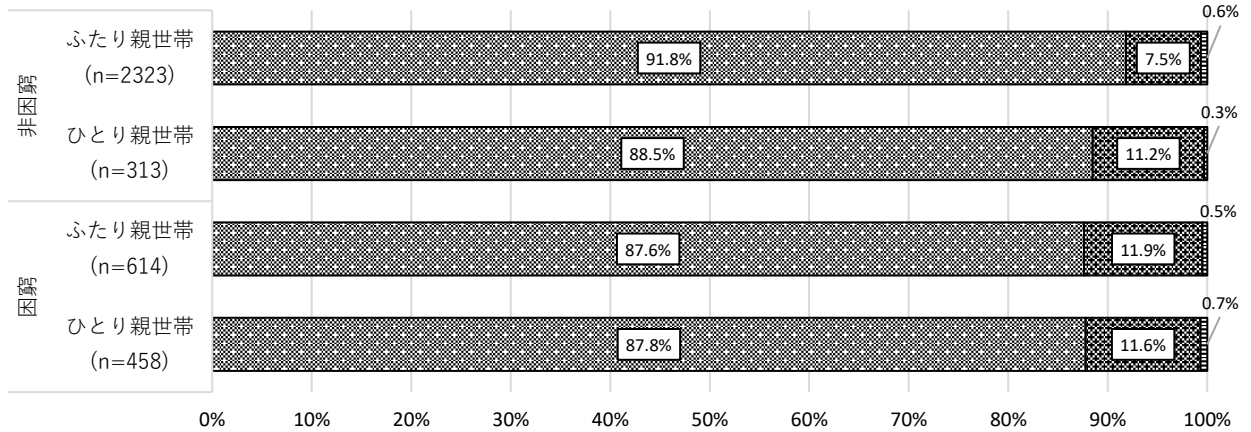


図 6-1-4

不安に感じることはない

経済状況別・世帯構成別 (○はひとつ)

■とてもそう思う・どちらかと言えばそう思う ■あまりそう思わない・そう思わない ■無回答・非該当

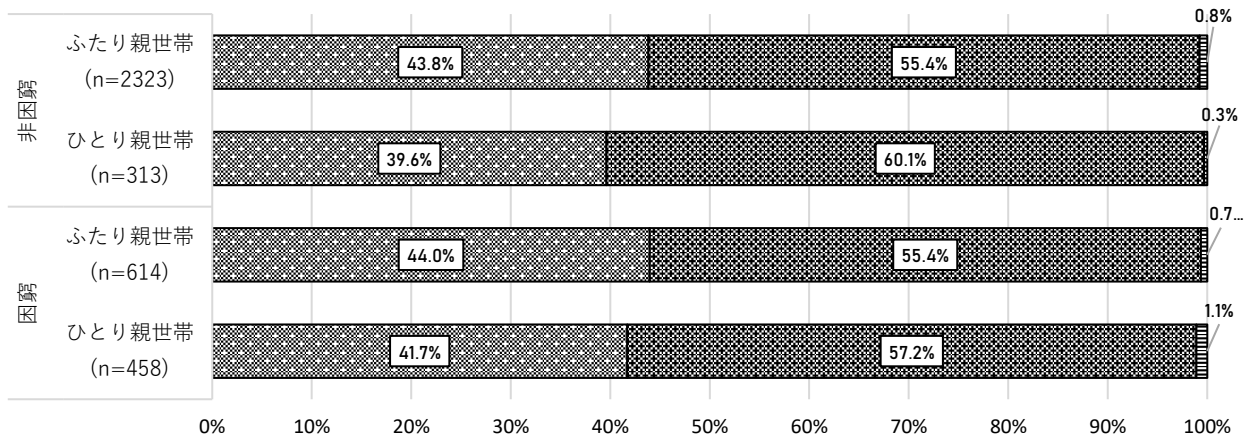


図 6-1-5

孤独を感じることはない

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

■ とてもそう思う・どちらかと言えばそう思う ■ あまりそう思わない・そう思わない ■ 無回答・非該当

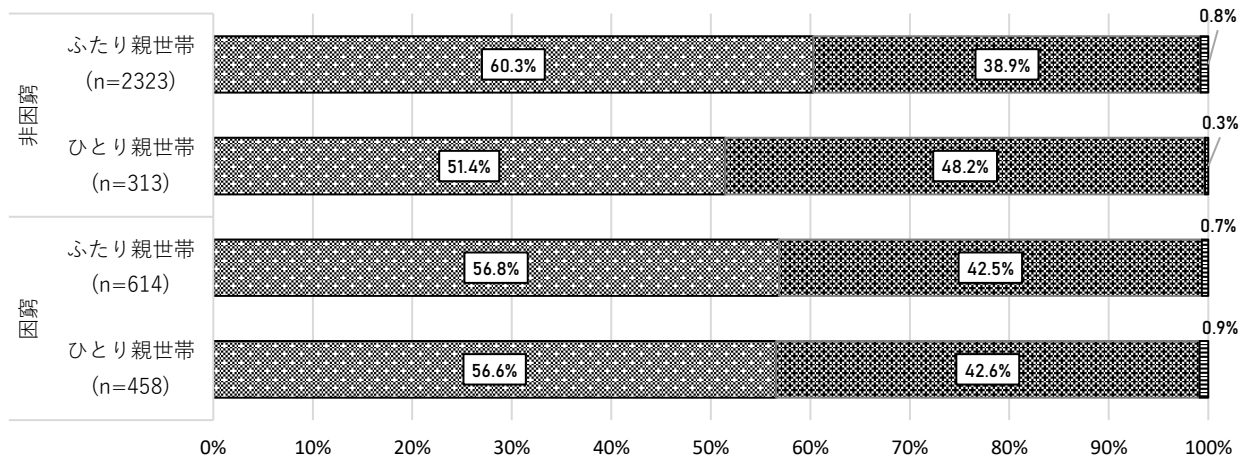
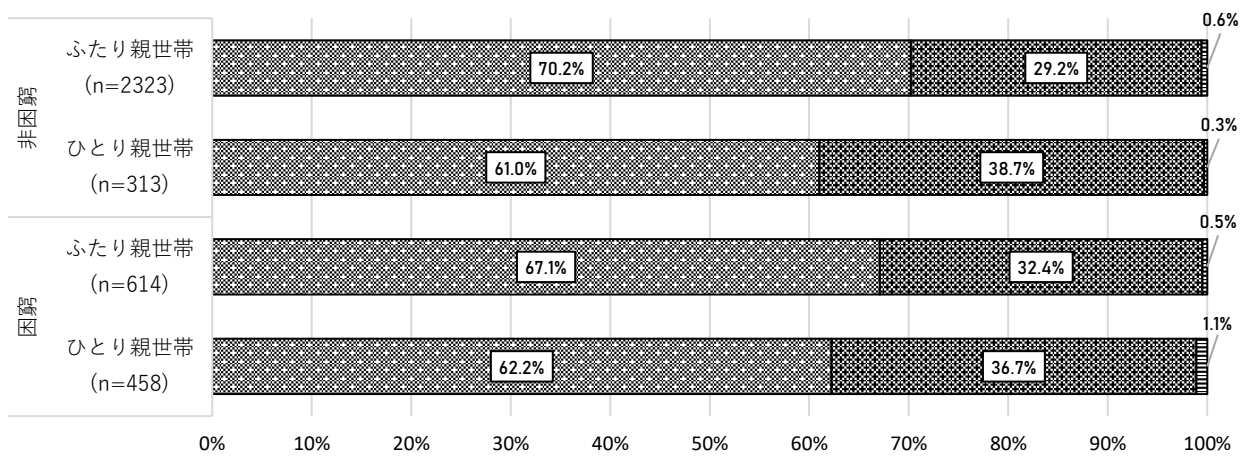


図 6-1-6

自分の将来が楽しみだ

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

■ とてもそう思う・どちらかと言えばそう思う ■ あまりそう思わない・そう思わない ■ 無回答・非該当



◆ 6-2 学校生活

高校生本人に、「学校に行きたくないと思った」「1ヶ月以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）」「いじめられた」「学校をやめようと思った」の4項目について、その有無や程度を「よくあった」「時々あった」「あまりなかった」「なかった」「わからない・答えたくない」の中から一つ選択してもらう形で尋ねています。

図 6-2-1 から図 6-2-4 では、経済的状況と世帯構成の違いで4つにカテゴリー化して結果を示しています。また、「よくあった」と「時々あった」という当該事象があったと回答しているグループを一括りとし、「あまりなかった」「なかった」という当該事象がなかったという回答をしたグループを一括りとし見えています。すると、程度はさまざまですが、経済的状況は影響があることがあり、「困窮」世帯のほうが「非困窮」世帯に比べ、あったと答える割合が高いことが伺えました。また、「いじめられた」（非困窮世帯でふたり親世帯のほうがあったが高い）を除くと、ひとり親世帯の方があったと答える割合が高いことが見えます。

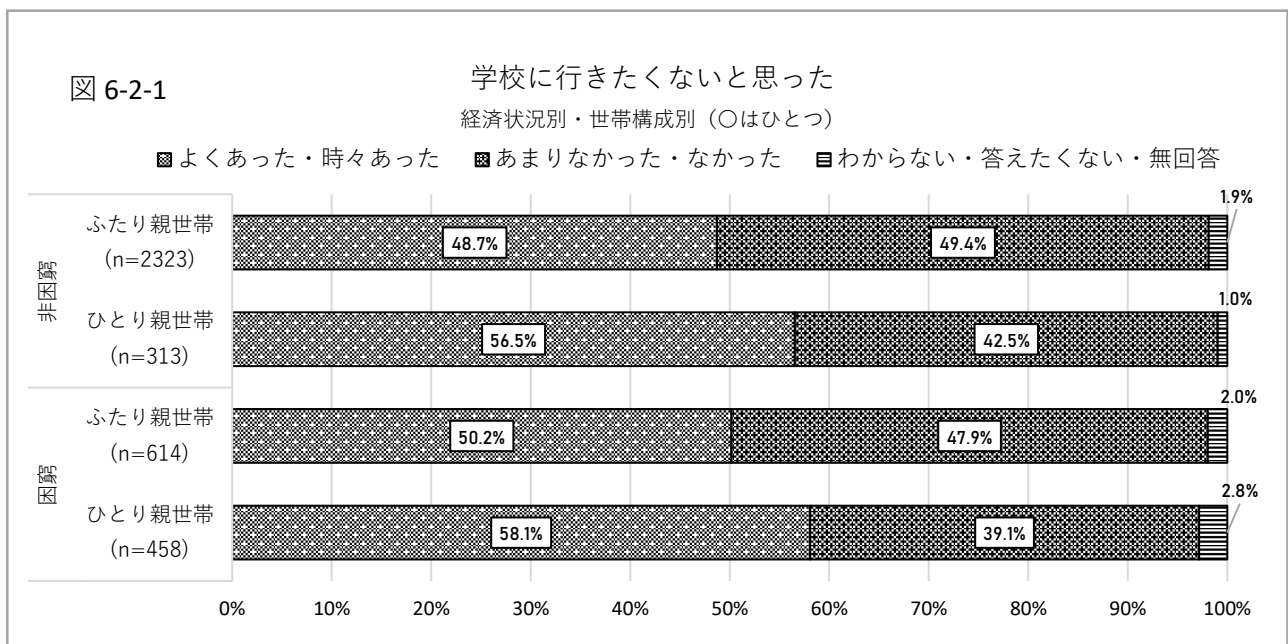


図 6-2-2

1ヶ月以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

よくあった・時々あった あまりなかった・なかった わからない・答えたくない・無回答

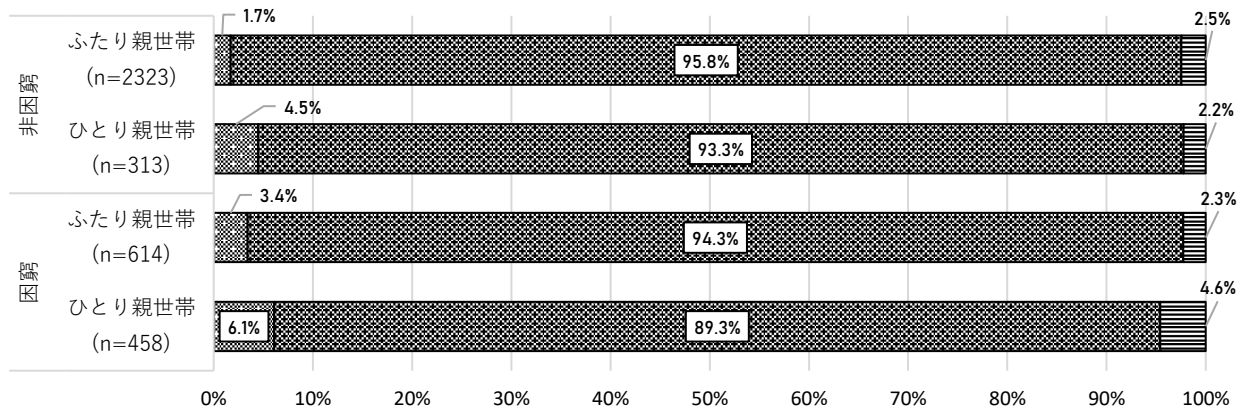


図 6-2-3

いじめられた

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

よくあった・時々あった あまりなかった・なかった わからない・答えたくない・無回答

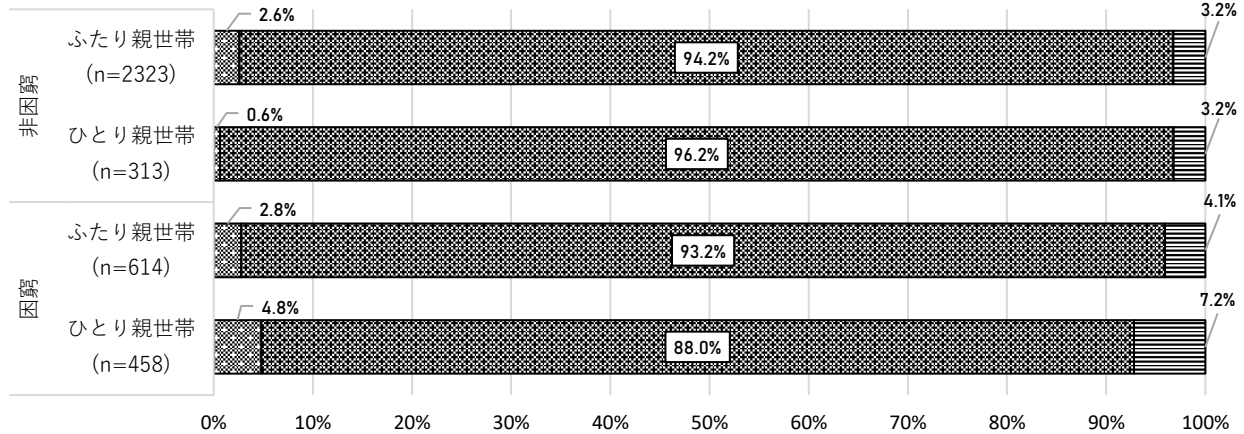
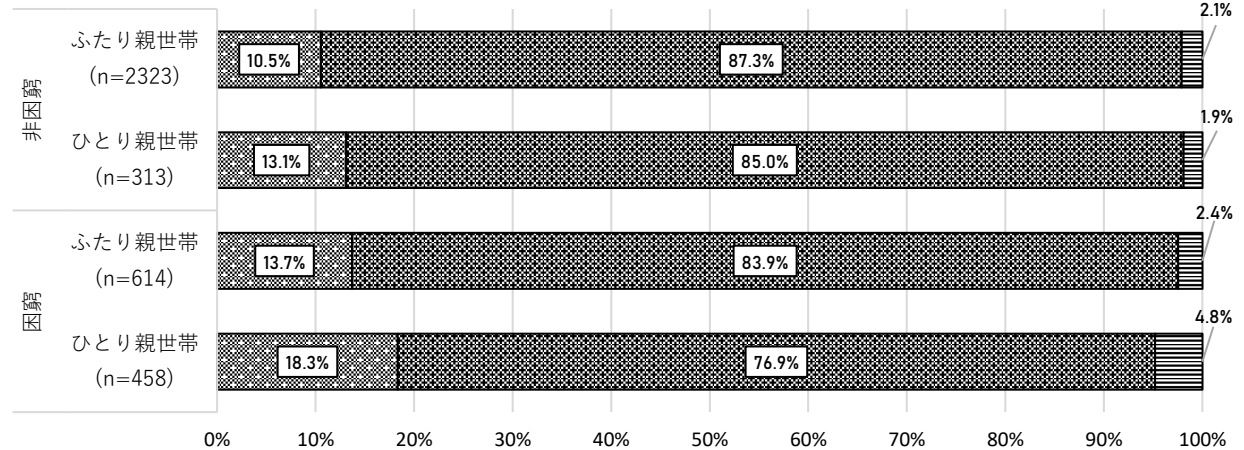


図 6-2-4

学校をやめようと思った

経済状況別・世帯構成別（〇はひとつ）

よくあった・時々あった あまりなかった・なかった わからない・答えたくない・無回答



考 察

自己肯定感については、高校生については経済的なものによる影響が見えなくなっていました。2015年に県で実施された小学5年生や中学2年生を対象とした調査結果と異なる結果でした。

2015年調査では、特に小学5年生で経済状況による差が顕著に見られ、中学2年生ではその差が減る傾向が見えました。自己肯定感に対する経済的な影響力が中学生や高校生になると小さくなるのは、他の調査でも見られる傾向です。

これがなぜ生じるかを解釈するのは、やや難しいですが、苅谷剛彦という教育学の研究者は、低所得の世帯の子どもに自己肯定感を高める独自のメカニズムが働き始めるからではないかとしています。

例えば、学校での勉強の競争から降りてしまい、今を楽しみたいと思うような現在志向の子どもが増えると、自分に対する認識としては「自分は人よりすぐれたところがある」と思うような子どもが増えるのではないかということです。

また、世帯構成による違いが残るのは、ひとり親世帯に対する社会的な偏見などを感じる経験をひとり親世帯の高校生たちがしていることの表れかもしれません。

ただし、上記の2点は解釈によるものであり、それを実証するには今後のさらなる調査や分析が必要になるものです。

学校でのネガティブな経験には、経済状況による差、世帯構成による差が見られました(程度はさまざまですが)。特に、「学校に行きたくないと思った」「1ヶ月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」「学校をやめようと思った」という不登校や中退などにつながる経験が困窮世帯やひとり親世帯で多いことには注目すべきでしょう。

高校での不登校・中退経験は将来高校生が親世代になったときの貧困状況につながりやすいからです。

「いじめられた」も数としては少数ですが、経済状況による差が見られました。また、困窮世帯ではひとり親世帯のほうがいじめを受ける経験が多いことも伺えました。これらも学校で配慮すべき点であることが調査結果として言えるでしょう。

自由記述
保護者

◆保護者◆ 就労・所得に関すること

<p>沖縄県の賃金が安い事に、本当に困っています。夫は勤務15年にもかかわらず、賃金は月々20万円弱。私は家事育児に手いっぱいなので、5時間程度の仕事ぐらいしかできません。子ども手当も滞納している税金に充てたりして、将来の為に貯金もできません。子どもたちにはひもじい思いをさせたくないで、毎月のやりくりで頭を悩ませながら、顔で笑って心で泣いて・・・状態です。離島に住んでいる祖父母や親せきに会いたいし、インフルエンザの予防接種も家族全員接種したい。真面目に家族の為に毎日頑張ってる主人が本当に気の毒です。更なる教育支援、県全体の賃金アップを切に期待します。</p>
<p>子どもの貧困対策に、ぜひ労働基準監督署など労働に関係する方々も入れて練って欲しいです。賃金が低過ぎたり、正社員と非正規の給与と、それ以外の”手当”の格差も是正して欲しいです。非正規は給与は同じくらいでも、皆勤手当、家族手当、通勤手当、賞与など全く無いです。</p>
<p>保護者の収入について私も、決して、低い収入ではありませんが、本土との収入格差を考えると、同じ時間を費やして、子育てをするとすると、やはり格差があります。家賃、学費を、同じ時間を費やして、得られる給与を図ると、沖縄での子育ては、レベルに限りがあります。給与収入を上げないと、子の能力は上がりません!!公務員だけではなく、一般的な収入向上を求めます。</p>
<p>嘱託の仕事長い間していますが、仕事にやりがいを感じ、必要な資格等も持っているにも関わらず、給料も上がらず、ボーナス等もなく、職員との差はすごく大きい。5年も経つと、やりがいが、悔しさに変わってしまい、一度辞めた経緯があります。しかし、働かなければ生活できず、職場の上司からの、戻ってほしいとの連絡もあり、続ける事にしましたが、未だに給料は同じです。給料が変わらないと生活も変わらず・・・。団地も毎年落ちて、子どもたちから必要な学校経費などを催促されるたびに「ごめん。もう少し待って・・・」と伝えイライラする事もあります。職業柄、生活保護を受けている方とも接する事がありますが、その人の方が月の収入は多く、なぜ?と思います。不正受給も多いし・・・。でも、子どもたちががんばってるし、母もがんばらねば!!と毎日過ごしてます。</p>
<p>沖縄の賃金は他県にくらべずごく低いと思う。家・教育に掛かる支出は同じくらいだと思うが。もっと住みやすく出来ないのでしょうか。共働き世帯ですが、休まず働き続けても賃金が安い為生活が苦しいです。家賃や物価が高い(食料、日用品、その他)こともあり、その日その日の生活をするので精一杯。贅沢な暮らしはできませんが、笑顔の子ども達に救われています。高校生にもなれば、手当は、全くなく、これから進学したいという本人の気持ちに答えてあげたいですが、今の生活からは無理です。本人も気づき、半ば諦めているのか・・・。親としては情けないです。</p>
<p>低所得者の子供が進学できないのが悔しい。学力があっても県外進学させられない。支援・奨学金等でも両親が働いているだけで、受けられない。借りても返済できるかもわからない不安。大学に行ったからといっても、ブラック企業やフリーターしかなかった場合の不安。もっと所得を重視してほしい。子供達に家庭の事情で学業をあきらめさせる様な社会を変えてほしい。高額所得者から公的役員の所得をもっと考えてほしい。政治家は当選したらそれまで。何もしていない。これでは子供は産みなさいと教えられない。子供は金がかかるとしか教えられません。学校教育を海外に学んでほしい。</p>
<p>労働(仕事)は長い時間費やしたからといって給料が多く支給されるわけではなく、だからといって働かないといけないわけで、家にいる時間、家族と過ごす時間は少なく疲労やストレスが溜まる一方。何をしてもあげられるわけでもないで、せめて食事は好きなものを食べさせてあげたい。はたらくほどはたらくほど楽になるわけでもなく税金を支払うために働くようなものだ。</p>
<p>昼と夜仕事をしているが収入が少なく生活が苦しい。毎月借金して暮らしています。自転車操業しながら自分の母親も見ています。母親の年金だけでは病院代も足りなくクレジットカードで通院しています。本当に毎日毎日お金が心配です。</p>
<p>公務員の中で仕事をしているため、臨時職員の私の給料を見ると惨めな気持ちになる。虚しくなる。やる気もなくなる。だからといって、土日祝祭日休みなしで定時で帰れる仕事も他にはない。毎日、葛藤している。臨時職員は公務員でもないため、給料が安いので副業を認めて欲しい。そして、夫婦の合計年収をもっと増やしたい。</p>
<p>収入と支出がまったく噛み合わず毎月赤字である。子供の大学進学費用を考えると、どう払っていかうかと頭が痛い。</p>
<p>沖縄の給料賃金(男女共に)を、もっと上げてほしい。(本土と比べて低すぎる!) 上げることによって、生活の質が上がると思う! よって、ゆとりが生まれてくる。</p>
<p>県外に比べると沖縄の給与・賃金はかなり低いと思う。親はなるべく子供には充分にやってあげたいと思う気持ちが強い。その分、親自身かなり我慢している部分も多い。子供が希望する教育機関へ充分に進めることができるよう、県・国の援助をもっと増やしてほしい。切なる願いです。</p>
<p>民間企業で正社員での勤務だが、ほぼ給与は変わらず、生活は節約をし、子供にも協力をお願いし、欲しいものは年に1~2回程度の買い物をするのみ。我慢している部分が多いと思う。子供には申し訳ない気持ちでいっぱいである。部活も費用がかかるが、やはり優先して、教育にかける費用等を支出している。かかる交通費や部活動費は全額までとはいかなくても、半分は支援があると助かります。</p>
<p>3年前に仕事を変え、朝4:00頃に起きています。子供が3人いますが、朝は電話で子供達を起こしています。小学生には、もうしわけないので、生活の為にしかたなかった。以前はギリギリか赤字でした。高校進学もあり経済的にしかたなく、でも私みたいに仕事をする子供の様子があまり良く見えません。それが心配で本当に良いのか、悩みます。</p>
<p>子どもが幼少の頃より母子世帯となり、父を亡くした子どもの精神面で不安にならないように、仕事も勤務時間の短いパートで生活し、公的援助と合わせやりくりし、周囲の方々に助けられたりの日々を過ごしてきて、自身の年齢から体力、健康面での心配事は少しずつ増えてきてます。子どもの将来に向けて、現在は高校卒業後の進学か就職かで、母子共に経済的な事での悩みが多くなり、子ども自身(進学)も悩み、又、親に対して遠慮してないか、不安、心配と考える時間が多くなりました。親としては子どものやりたい夢は叶えさせてあげたいですが、経済的な理由で諦める事はして欲しくなく、可能に向けてのいろいろな情報が得られればと思います。</p>
<p>仕事で、休日出勤でも手当てがつかないので、どんな職業でも、休日手当がついてほしい。又、年間休日でも民間の中小企業でも公的な職場と同じにしてほしい。</p>

◆保護者◆ 高校の通学・交通費に関すること

<p>バスの本数が少なく、バス賃も高い。送迎した方が通学費を抑えられる為送迎しているが、出勤時間と合わなかったり、体調が悪い時はとても困る。これではバスに乗る人も減る一方では？と思ったりする。</p>
<p>学生の公共交通利用による運賃の割引きは必要だと感じます。普通科と違い専門科は、家から遠い場合、運賃の部分で、親として、非常に苦しさを感ずります。</p>
<p>バス運賃が高くて困っています。以前の回数券の方が格段に割引率が高いです。貧困のことが問題となり県内でもいろいろな取りくみがされていますが、学生は所得に関係なくバス賃を払わなければならない、結局値上げされたというかんじです。糸満からナハへ行くのに1日1040円かかります。糸満から東風平の向陽高校(車で15分)のところさえ、バスの時間が1日1往復しかないため、帰りは時間があわず、遠まわりで帰るため500円以上します。世帯の収入により進学が左右されるウソと問題になっている今、バス会社の対応、県の対応は疑問でなりません。どうして、こういうカード式に変更になってしまったのか、さっぱりわかりません。モノレールとの利便性??モノレール使わないので全く問題ありません。もともとどしてほしい。新聞で時に、意見の出ることもあります、県民から不満の声は多いと思います。新聞などで回答おねがいしたいです。</p>
<p>バスの回数券がなくなり、かなり困っています。オキカは学生に対して大分、使い勝手が悪く、交通費をうかすため、天気の良い日には、自転車(片道1時間)かけて行ってもらっています。夏の暑い日には、とうていきびしく、バスや送迎をしています、家計がひびくしています。糸満で町から離れた地域の子供たちがやりたいスポーツや習いごとなどができるよう、無料のシャトルバスなど検討してほしい。親が働いていることで送迎が難しく、何もすることができないう、非行にはしる子もいる。小型のバスで月2000円で乗り放題などあれば、低所得者の助けになると思う。無料が難しければ、せめて義務教育の間でも。</p>
<p>スクールバス等、渋滞緩和、利便性のある施策は必要だと思う。高校選択は交通の便をかなり考慮した。</p>
<p>バスを利用して、登校しているのですが、以前のようにバス券(学割)があると、とても助かります。定期券は1か月なので、休みが多い月は少し考えます。</p>
<p>学費よりも交通費の負担が多く家計にとってもひびいています。以前はバス券利用で割引が多く助かっていたが、現在のオキカカードは割引がなくポイント制のため負担が大きくなると思う。学生だけでも、回数券の復活させてはどうか!!</p>
<p>交通費について、回数券より、オキカに変更となり、学生に対する割引率が下がり残念です。経済的にもかなり負担がかかっています。※高校生、大学生まで、学生に対する割引をしてほしい。</p>
<p>バス賃の負担が大きい。もう少し学割がきく制度やバス賃が安くなるような方法があってほしい。</p>
<p>バスの利便性が悪すぎ、希望する高校への進学をあきらめました。多少遠方でも通学に対応できるような公共の移動手段があったら良かったと思う(循環バスなど含めて)</p>
<p>登下校の送迎を家族がしていますが、通勤のついでではありますが、できればバスを利用してほしいと思います。しかし、バスの本数が少なく難しいのが現状でもあります。地域のコミュニティーバス等、朝・夕の時間帯だけでも、充実させてくれたらと思います。</p>
<p>バスの定期券代が徐々に高くなって、負担が増えています。高校生のバス代は、もう少し割引してほしいと思います。</p>
<p>交通費について回数券の方が割引額が大きくて良かった。オキカは、利用額による割引率が低すぎる。回数券並の割引があればバスの利用回数が増えると思う。オキカになってから、バス通学から車での送迎をする親が増えたように思う。</p>
<p>交通(通学)に関して、ゼロ校時がある場合、利用が出来ない。過疎地域のため、支援がほしい。</p>
<p>子供の学校へのアクセスがとても不便で、夜はとても危険です。安全を考え、送り迎えを行っています。特に学校の通学路、街灯などの安全対策を行って欲しいです。</p>
<p>入学と同時に、自宅近くの最寄りのバス停から学校までの路線バスの運行が廃止になり、送迎を余儀なくしている状況。(町内はバスの便が少なく、乗り換えて通学も可能だが、時間的、経済的に厳しい。)学割等あれば助かる。</p>
<p>部活の際、最終バスの時間が早すぎて、全く利用できないので迎えに行かざるをえない。せめて午後8時ごろまで延ばしていただけないかと思う。</p>
<p>通学時間に合わせた交通機関がない。(バスの本数が少なく始発が遅く、終バスが早い、バスが利用しにくい)そのため、通学のバスが必要である。高校の理数科は、7時35分から始まるがバスの始発は8時位となっている。終バスは17時位だが、部活動等は19時を過ぎることも多い。</p>
<p>授業時間(朝7時30分)の部活動帰りが遅くなる等で公共のバスの使用ができず、毎日送迎するためガソリン代がかかりすぎる。かかった交通費(ガソリン費)の返礼等の制度があればいいのに…</p>
<p>学生のモノレール・バスの運賃を安くしてほしい。</p>
<p>バス代が高いです。息子が中3までは学割で25%引きで購入でき助かりました。高校生までは学割の充実をお願いしたいです。</p>
<p>沖縄県はバス代が高くて、生活に負担が大きいです。県外に住んだことがあります、他県では学生バス券と言うものがあり、一日何回使用しても500円とか、定期券などもすごく安いです。バス代が高いため、学校から習い事に行く日はなるべく乗り換えをしないようにバス停まで30分くらい歩いたりとか、2時間くらい待たば親が学校の近くを通るから(どこかで時間をつぶして待たせたい)と待たせておいて一緒に帰ることでバス代を浮かしたりしています。これから進学をして大学まで、バスを利用するにもとても負担になるのでバス料金の値下げを検討していただきたいです。</p>
<p>小中学校は学校が自宅近くでバス利用はあまりないが、高校進学では必要となるバス通学を考えて、バス運賃を学割で安くしてほしい。高校生2人以上となると倍になり、車送迎になってしまう。車渋滞、体力にも影響がありバス賃が安ければバスの利用率も高まると思う。親の送迎都合で学校を遅刻する時もあり学割、勉強のため低価格で利用したい。</p>
<p>バス通学と考えていましたが、バスの台数が少なく交通費もかなりかかるのがわかり自転車へ。自転車のメンテナンスが…。下の子の進学や、下の子の制服などなどのため、上の子は就職してくれないと困る状況ではあります。</p>
<p>バス通学をしています、回数券の時は、すごく安かったのに、オキカに変わってメリットが全然感じられません!学生はもっと割引きにするべきだと思います。少しでも時間が合えば車で迎えに行った方がいいなと今は感じます。どうかしてほしいです!!</p>

◆自由記述 保護者◆

子供が通学にバスを利用しているが区間が短い。土日は利用することがないので定期を購入していない。時々現金で乗車することもあるが、学割のお得さがない。オキカのポイントに有効期限もあり、窓口に行くために途中下車しなくてはならない。など非常に不便。何とかならないのか。オキカのメリットがない。
バスがバス券・定期券からOKICAに変わりポイント制になっている。学割のお得を感じにくい。公共《交通》機関をもっと便利してほしい。バス停を整備して、屋根をつけてほしい。
交通機関等の割引きの充実、定期券の購入場所を増やして欲しい（土日の販売）
交通費等だけでも経済的な負担も多いので、子供は、お金を気にしてバス代をけずってまで徒歩で時間をかけて歩くため、部活終了後は21時頃の帰宅な為、危険を感じる。
高校進学時にも、0校時があるため、公共交通機関の朝一番の乗り物の動く時間から、学校へ着くまでの時間などから、0校時にまにあうか、まにあわないか、で高校の選択範囲をせばめざるをえなかった。
通学費の補助・バス回数券の復活
バス代も高校生は無料にしてほしい。できなければ、半額とか？定期を買ってもバス会社がちがうと料金の支払いをしないといけなかったりするのをおかしいと思います。区間内なのに。

◆保護者◆ 教育関連費用に関すること

学校の制服や体育着などをもっと安くして、学校の授業料も無料になってほしいです。
給食代金(中学、小学)を無料にしてほしい。制服代が高額のため、私服可にするべきだと思う。ランドセルも3万~5万もするのでカバンも自由可とするべきだと思う。
子供達には平等に食べてほしいです。高校まで給食を取り入れては？子供手当など廃止にして、給食の無料化してもらいたい。給食費の未払いはなくなり、資金難にはならないと思います。子供手当を給食手当に！！子供手当を子供に使ってほしいです。
給食、もしくはケータリングサービスがあると、非常に助かるし、栄養バランスがとれると思う。
授業料の無料化は大変助かっている。高校までの給食費の負担もお願いしたい。少子化対策の一策としての取り組みにつながると考える。
兄弟もいて、私立中に通っている子、高校に通っている本人、県外大学予定の兄がいるため、収入以上の学費がでていく現状があり、学費の負担がとて大きい。もう少し、県外大学の負担や私立中学の学費負担への補助などがあっても良いと思う。税金面などの負担も大きく、子どもたちが自立するまでの親の負担はとて大きく、大変だと感じている。
高校も学校給食があれば良いと思う。高校も殆んどの子供も通っているので、義務教育同様、教科書代も公費負担してくれると助かる。
父親が公務員ということで下の子の保育料は高い上に、兄弟の部活などの出費も多く、生活はギリギリです。授業料等の無料化を強く望みます。もっと子供を育てやすいようにしてほしい。
高校の授業料を無料にしてほしい。高校生が2人いて、人数に関係なく収入で決まるとの事で、我が家は月に2万円払っています。高校は義務教育ではありませんが、ほとんどの子供が高校に進学しています。全ての子供が進学しやすいように、無料、又は一世帯月5千円などして、平等にしてほしいです。
制服や副教材代、給食・弁当代、部活動費、修学旅行費など、学校内での支出が多く、厳しいご家庭は多いと思う。せめて中学まではほぼ支出のないように、高校はある程度の支援(生活、学費)、大学は学費負担の軽減を公的資金でまかなってほしい。教育の部分での格差をできるだけなくしてほしい。那覇市などがしている困っている家庭への無料塾は大変よい取り組みだと思う。
高校の無償は続けて欲しかった。今のやり方は、いらぬ手間がかかってからの減額、無償で手続きがめんどろ。高校の奨学金制度は考えたが、子供が大学や専門学校への進学希望を考えると、その後の返済が厳しくなるのでできなかった。
児童手当や医療費等、子供が小さい時の支援はあるが、本当にお金がかかるのは、中学生になってからです。そこからの支援を増やして欲しい。中学・高校生になってからの教育費の支援が大切です。
学校用品、制服、学校教材、教科書、卒業後にリサイクルできる、受け入れする、機関があるといいと思う。新品も多くあるようです。
高校授業料は全員無料にして欲しい！！
義務教育だというのに制服、体育着、副教材等、ものすごく費用がかかりすぎていると感じます。生活困窮者に対する制度が充実してきつつありますが、両親共働きでも余裕がなく、ギリギリの生活をしている人はたくさんいます。親の収入に関係なく子供は全て平等であるべきであるし、教育費がかからない制度を作ってほしいです。私は生活保護の仕事に長年携わっていますが、給食費、副教材代、制服代、等、ちゃんと支給されているのに保護を受けてないギリギリの生活をしている世帯の子ども達はその費用さえも払えず苦しんでいることを理不尽に感じました。子どもは全て平等に教育を受ける権利があります。
働いても、税金や、子供達の必要な学費や経費で、出ていく一方です。母子家庭や保護世帯がより、裕福にもみえます。時代のせいかなのか、スマホがないと、仕事にも支障がでるし、車がないと就職もむづかしい沖繩なので、子供が減ってゆくのも、仕方のない事なのかと思います。学費が、とくに、日本は高すぎる。子供の可能性をのばせない。お金のあるところだけが、できる事で、大学に行っても、支払いできなくなるだけで、中退になる人が多いです。どうにかしてほしいですね。親は働きすぎて、早死しますね。
大学へ進学した場合の授業料等が高すぎる。(私立)家庭での負担が大きすぎる。
大学や専門学校などの学費が高いと感じる。もっと安くしてほしい。借金をして進学してもその後の返済は子どもにとって大変負担が大きい。もっとみんなが進学しやすいようになるといい世の中になるのでは…。高学歴、資格取得は安定した生活につながると思う。
中・高校の制服・体育着・シューズ等全員に支給になれば、いいなと思います。高校も給食があれば大変助かります。(給食費→公費になってほしい)
学食があったらありがたい。
昼食は毎日弁当を待たせていて、食費がかなりかかりすぎているので、高校まで給食があれば非常に助かるし、食費がだいぶ軽減できると思う。

高校までは全面的に授業料等無償化してほしい。
給食費の未納問題を時々、耳にしますが、どうにか無償にできないのでしょうか？献立の内容にも影響するというのは、深刻な問題だと思います。
授業料については、無料にしてほしいです。県内・外進学への援助を充実してほしいです。
学校にかかる経費がもう少し安いと助かります。又、進学に向けて学費や生活費を負担出来るか不安があります。
先進の諸外国の様に、大学等まで学費が無料になると、とても助かります。
制度、支援策への要望は、高校も小中学校同様、無料化して欲しい。子供の教育をもっとちゃんと考えれば超高齢化社会ももう少しましになるのではないと思う。まともに教育を受けていない、受けられない子供達にももっと目を向けるべきではないかと考えさせられる。
・教育にかかるお金を0にしてほしい。（児童手当や、就学援助などの支給を無くしすべての子供が平等に教育を受けられる制度に変えてほしいです。）
1、教育は、高校まで無料であってほしい。上の子の時、2年間くらい授業料無料があったが、とても助かった。2、高校の制服がデザイン重視になってきて、高くなってきていると思う。もう少し安くしてほしい。
経済的理由で子供が心細い思いをしたり、進路を変更、断念することがないよう、教育、医療のほとんどを無料化できると良い。学用品、制服、部活動費についても。夕方から就寝まで、子供のみで寂しい思いをしている子のための居場所づくりが大切。また、親がいても虐待や様々な理由で家にいたくない子供のための居場所やケアは必要。親が長時間労働しなくても良いような援助がもっと必要。
高等学校の全生徒に対する授業料の無料化が必要だと思う。
高校生まで給食があってほしい
子供手当よりも、給食費にあて、食を豊かにしてほしいです。高校生まで給食があり、小学、中学校の給食も見直してほしいです。
高校では、就学支援制度で授業料が無償であるとはいえ、副教材費、試験などの名目で半年以内で数万円の金額を支出する。また、部活動も遠征や活動などで、かなりの金額出費する。我が家はまだ何とか捻出できるが、収入が少ない家庭だと高校への進学そのものが難しいし、入学しても皆と同じように楽しめないのはかわいそうな気がする。せめて勉強の面に関しては無料化して学力の向上、それによって就職の自由な選択ができるよう、公的機関が支えてほしい。
高等学校授業料無料化。高等学校、大学在学時の充実（奨学資金）。がんばる学生の支援強化。
高校生で授業料が出るのはあり得ません。私たち子供は5人います。ただでさえ給食費も月謝も出しています。高校生で最初に1年分会費（コピー代）支払いします。1年間で5万も出る授業料はありえません。収入たくさんある方なら良いのですが。
授業料、医療費を無料にして欲しい。
学校に通う際に必要な支払いは全て無料にしてほしい。校納金、教科書代等。大学に関しても給付型奨学金を拡充してほしい。
高校の校納金、部着、制服、昼食代、交際費と高校に入学してからの出費は多いので、是非、校納金等の免除等、制度を作って欲しい。
子どもが成長し、高校生になればお金がかかるが、高校入学と同時に手当がなくなるのが厳しいし、きつと感じる。
バスの利便性が悪過ぎて頼ることができない。車社会の脱却のためにも、バス環境を向上させて欲しい。
子供の学校へのアクセスがとても不便で、夜はとても危険です。安全を考え、送り迎えを行っています。特に学校の通学路、街灯などの安全対策を行って欲しいです。

❖保護者❖ 学校関連・部活・塾に関すること

塾に通わせていて、家庭の負担が大きいです。お金がない家庭でも平等に教育できる方法が知りたい。
経済的に、厳しい家庭では、いい教育ができない現状を改善して頂きたい。（成績が優秀な場合、個人的に通っている塾の負担額を補助する制度を作って欲しい）（案）将来、地元に戻ってきて就職した場合、返金しなくても良い、など。（市が負担するとか・・・）
学校での部活動で、県外派遣等があった際の負担が（学校負担）部活動によって優遇される所があったり、部員が多い為、学校側からは、こんなに負担できない・・・という声が出ていると聞いた事がある。部員数によって、学校の負担率が変わるのは、非常におかしい話だと思う。学校に通う、全ての生徒に平等であるべき。
1年に何回かある学校へ納める校納金に四苦八苦させられている有り様です・・・教科書の購入等にも指定期日がありその日に購入出来なかった場合は余計に交通費等がかかってもっとマイナスになってしまいます・・・学校への滞納金を持って何うと、回りは何の日隠しフェンスもなく心配がなっていないそんな光景を子供達には見せたくないものである・・・そこからでも些細ないじめは発生しうる事だと思うのです・・・何はともあれ払わない本人が一番良くないのですが、払わないではなくて払えないんです・・・だから少しづつでも支払って完済するつもりです・・・一つの希望は子供が優秀であると言う事が生きる糧になっているという事です。どうぞご了承下さいませね。
授業で分からない部分について、質問できない先生がいるとの事です。※質問をとり合ってくれない
全国的に収入の低い沖縄では、子供に県外に出ていい教育を受けさせたくても、受けさせられないのが現状です。県内の教育のレベルが上がる事や、経済的な面（収入）で上がる事を期待しつつ、子育てをしています。
学校側が定期的に進路の情報等を、伝えて欲しいです。
現在は、教科書のお下がりがないのはどうしてだろう？と思います。同じ教科書なら、上の子を使用すると負担が軽くなるのですが、毎年購入なので新学期がすごく大変です。資源を大切にすることにも繋がると思うのですが・・・
高校卒業→進学の場合、塾へ通う子どもたちがいます。年間、50～100万ほどかかるって聞いたときに、何の為に高校で学んでいるのか？と思います。（うちはお金がないのでムリですが）塾へ行かなければ、進学が困難だとすると、収入のない家庭は、厳しいと感じています。（本人が、高校で、しっかり学べば塾なんて行かなくても良いと思うのですが・・・）学ぶこと・・・って何なのでしょう？生きる力を身につけることが大事だと思っています。
支払いなどがある場合、分かっしてほしい。この子1人だけではないのでたくさん子供がいたら同時期に支出がかさなるので、大変です。

◆自由記述 保護者◆

学習塾が当たり前になっている感じですが、自主学习できる子は良いが出来ない子に個別学習塾に通わせたいのに高すぎて、1人子なら良いが2～3人だとおさら出来なくて親としてなさない！！「こんな貧乏うな家に生まれなければ良かった。」と1番下の子供に言われました。小学校から1クラス15人で小人数制か放課後学習(塾の様なもの)があれば低所得の私たちも助かる！！
ブカツノカエリジカン、キッチリ、マモッテホシイ
小学生の頃宿題が連帯責任で全体居残りさせる担任がいた。やらない子は周りを巻き込んでもやらないのはやらないし、努力している子供のやる気まで奪わないで欲しい。1人の担任の教育方法が努力しても、協力しない人が1人でもいたら連帯責任となるため努力しても無駄。だから、全力で取り組む方が損すると解釈してしまった子供たちもいます。そうなると宿題は書き上げることが目的となってしまう学力はまず上がる事はないと思います。学校より塾の先生の方が分かりやすいし授業が面白いと思いました。サラリーマンの先生が増えたように思います。先生1人に対しての子供の人数が多い、20人程度が望ましいのでは？義務教育に手をかけて欲しい。未来に目を向けて欲しい。圧力をかける教育委員会で何も変わらない。上司の顔色を伺う教師は要らないと思います。委員会も学校側に寄り沿った対応望みます。
部活動に関する費用負担が親世代の頃より大きくなっている。県外の大学進学への送り負担が大きい。学校外(塾)学習が当たり前になっている。
学校を良くしてほしい。
家庭の経済環境で進学する高校も決めないといけなんでしょうか。本校に通学している娘の修学旅行は海外研修となっておりましたが、他校と違い、参加の有無のアンケートもなく、海外研修費も高額で、ほとんど強制的参加でした。親としては子供の人生の経験としては素晴らしい事とは理解しながらも、人並みに準備ができるか、支払いも滞ることなく子供に恥ずかしい思いをさせることなく、支払っていただけるかなど、最後の最後まで心労が絶えませんでした。毎日の生活に追われてる日々を経験したこともない先生方には想像もつかない親の心だと思います。何か、それなりの支援があるのでしたら、先生方への感謝の気持ちも持てますが。ホームステイ的な海外研修、研修中の子供達への様子伺いもない先生方の心中を疑います。
部活動にとってもお金がかかる。親の都合(仕事、経済面)で、子供のやりたい部活を諦めている子もいて気になる。大学進学給付金を平成28年か平成29年より内申4.0以上なら…とニュースで見ましたが、4.0以下であっても、利息なしなど支援して頂きたいです。
学校以外の教育には部活動が入っていないと思い、問41-3は1に○をつけましたが部活動はお金がない子はやらなくて良いものと位置づけられているのであれば、それは違うと思います。勉強以外のやりがい、自分の居場所、自己肯定の場であり、大切な位置にある子もたくさんいて、お金もかかります。貧困の問題として、お金がない家庭の子、お金のある家庭の子は部活にも大きな影響があり、子供心は親の考え方で歪められている子もあります。
塾に通う必要がないぐらいに教員のレベルを上げるべき。
近くの普通高はレベルが高く遠くの高校へ…なんだか不思議です。同じ普通高なら近くに行けるようにすべきだと強く思います。高校のネームバリューは必要ですか？各高の特徴はともいいが、子供たちはその学校にかかるお金の知識はないです。専門の学校はそれぞれの内容をもっと下の学年から教えていくべきです。
教員にも、授業内容の見直しや他県との研修をしてもらい、もっと活きる授業を考えてほしい。定期的に外部講師を招き、教員や生徒に勉強の仕方(教え方)の勉強を、するべき。

◆保護者◆ 進学・将来に関すること

希望する子どもには大学の授業料の無償化をお願いしたい。
子供の進学は、お金がかかり大変である。
進学させたいが経済的にキビしい現状の家庭は多数かと思う。大学、専門校、等の学費を無料にすれば将来子供達の可能性広くなると思います
大学等(20才)までの学費は無料にすべき！
大学の授業料が高すぎる。
4年制大学の学費がもう少し安くなってくれたらいいのに。そうしたら、皆が大学進学を考えるとします。
大学まで学費の無料制度があれば、すべての皆様が生活に助かります。外国のように大学まで無料制度があれば、進学する方も増えるのではないかと思います。
現在の子供達の状況は、就職しても、奨学金返済で長年、苦勞を強いられ、親としては、本当は奨学金を頼らずに大学等へ行かせたいですが、日々の生活に追われ、貯蓄もできず、心苦しいです。しかし、私達の生活するレベルでは、中途半端で、支援するまでには届きません。せめて、大学等の授業、入学の金額を支払える額になれば、と思いながら、子どもを育てています。今、不安なのは、「県外の大学に進みたい」と言っている息子に、「無理だから違う方向へ」と、いつ言えば良いか、という事です。情けないと思います。
本気に大学までの授業料無料化に取り組んで頂きたい。
大学無料
子供に借金をさせてまでも高学歴を願うのは酷なのではないかと思ひます。"夢"を明確に持つ為にも、県や市を通して、小・中・高の間に学校の職場体験以外にも企業を見学できるイベント(子供達の休みの時期に合わせて)等があれば、今なりたいと思う職業から、ただ興味がある、という職業でも、気軽に体験できて良いのではないかと、思ひます。(無償、有償を含む)
専修学校、大学の学費が高すぎる。より多くの人達が、学べる環境を作って欲しい。(学費の減額、等)
教育面で大学までは無料になると良い
大学進学時、本土への進学の場合、学費、生活費の負担が非常に大きい。学費の免除、給付等の拡充を望む(すべての子供対象)
専門学校や大学を無料化にしてほしい。子供達の夢をあきらめさせたくないから。
大学の学費を無料化を要望します。生活費の補助を要望します。車の免許の補助を要望します。

<p>高校を卒業する迄には、子供が進路の選択で迷わぬよう、4年間の大学資金はぜったいに貯めようと思ひ、小さい頃からコツコツ貯蓄した。しかし、県外の生活費迄となると、(×2人分) 厳しい。奨学金という借金は子供に負わせたくないし、せめて、家賃補助があれば、あとは親の努力で、やって行けるのでは、と思います。子供の社会人としての一歩は、借金からのスタートではなく、ゼロからのスタートにしたいと願うのは、ぜいたくな事でしょうか？</p>
<p>高校・大学の学費が無償化になってほしいです。子供が県外の大学に進学を希望しても、経済的には厳しいため、県内で行ける大学・専門学校を探してほしいと、話しています。奨学金も、借金となるため不安に感じます。</p>
<p>4年大学へ進学してほしいが、特に私立の大学の授業料が高い。県外の大学となると生活費も発生するので奨学金を利用してもきびしいため教育ローンの借入をしないとイケません。学びたい子供にはあたりまえに学べる大学制度ができるとうれしいです。</p>
<p>大学や進学に必要な経費について負担がとても大きく感じていて、将来が不安でいっぱいになります。子ども達の未来の為に、環境のせいで閉ざされるような事がないよう、日本はもっと教育に(特にサポート)力を入れてほしいと思います。</p>
<p>大学進学について、悩んでいます。本人の希望、親の希望としては県外への進学をする事で、自立を促す事もできるかと考えましたが、やはり、経済的な面を考えてしまいます。奨学金を借りて返済できるのか、と不安もありますが、本人の意思が強ければ、チャレンジしようと思ってます。実際、私自身も顕在的理由から進学を断念しましたが、今となれば、もっと情報を得るべきだったと後悔しています。我が子には、自分の進むべき道をしっかり決めて、共に考えていきたいと思います。国立大学の学費がもう少し下がってくればと思います。</p>
<p>専門学校、大学まで学費を無料にしてほしい。税金、消費税を上げる事があるので子供の為、行きたい子が行けるようになればいいと思う。</p>
<p>大学進学が増加している事が多いと思うので、学費等の無料などの制度があれば良いと思います。経済負担の軽減を願います。</p>
<p>中学卒業後の進学で親にかかる負担が大きすぎる。未来を背負う一人前でたくましい人に育てるためには大学までの教育が必要であるのに、親だけが負担するのはおかしい。世の中や社会に還元される能力を養うために高等教育を受けるのであって、それは社会全体が支援すべきだ。医療、教育、福祉など公共の利益につながる職業などは特に優秀な人は無償で大学、大学院進学を可能にすべきだと思う。</p>
<p>子ども3人いますが、高校までは、どうにか、やっていけます。3人が大学生となると、現在、2人おり、学費が高い。日本の大学費用は高すぎです。それが、3人重なります。子供は、大きくなってから、お金が必要。小さい時は、それなりにやっていけます。現在は、私達の子供達が小さい頃より医療費の免除も大きいと思う。子供に借金させずに大学までいけるような国になってほしい。税金の使い方、大学の学費がもっと安くなるような社会になり、心配なく、誰でも大学進学ができるような社会になってほしい。</p>
<p>高二の息子の大学進学を検討していますが、正直言って資金が心配です。わが家は、中三と六年生と<u>進学ブーム</u>になっています。“教育ローン”興味あります。</p>
<p>大学に入る時のお金が、100万近くで、お金を集めるのに、苦勞しています。高校みたいに、大学でも就学支援金などがあると、大変、たすかります。</p>
<p>高等学校、大学教育費用全額無料にしてほしいです。</p>
<p>子供の進学の支援は足りないと思います。もっと選択ができればいいのに。</p>
<p>大学まで国が負担してくれたらいいと思います。高校でもっと専門的な学習ができれば就職率が上がるかも。大学費がもっと安かったらいいのに。</p>
<p>進学を希望する学生で家計が厳しい家庭であれば、一人も漏れることなく補助金等の制度を利用させてもらいたいです。現在私たちも子供が県外の専門学校への進学を希望していますが、家庭は火の車で学費が出せない状況です。だからといって子供の芽をつむむことができません。何とか希望を叶えてやりたいと思っています。今そのことで、とても悩んでいます。どうか、子供たちが夢に向かって進めるような制度を増やしていただきたいです。よろしく願いいたします。</p>
<p>大学専門学校の進学にかかる学費等の支援、援助に力を入れて欲しい。</p>
<p>今の所、生活の負担は全くないが今後娘が高校卒業後の進路にあたっての金銭出費が心配です。</p>
<p>どうしても大学までは卒業させたい。でも経済的に厳しいので給付型の奨学金を受けたいです。今はまだ現状を知らないで子供が将来をあきらめる前にどうにかしたいと思っています。何も分からないのでとにかくいろいろな情報を手に入れたい！</p>
<p>専門学校や大学進学における入学金、授業料等も所得に応じた金額設定ができるとありがたい。もしくは、専門学校、大学独自の借り入れ制度があり、誰もが等しく必ず制度が受けられると親としても銀行を回らず安心して進学させられる！銀行借り入れができなければ、子どもの進学も断念せざるを得ない。これはとても大きな心配心労です。進学させたくても、お金が準備できなければ子供の夢、希望をつぶしてしまうのは忍びないです。親として最大限に努力はしますが結果がどう出るか…毛が抜ける思いです。(泣)</p>
<p>成績の良い子や頑張っている子は、専門学校等が無料になると助かります。</p>
<p>高校・大学(短大・専門学校)その他授業料“子供に学業を受けさせたいが、お金の負担が大きく困難である”。大学・短大・専門学校等の国から授業料の無料化や、減額を重視し、子供たちが多くの進学に通えるようにしてほしい。現在の子供たちは、学校へ進学したいが、お金の経済的理由で、個々の可能性も発揮できないまま、やむを得ず諦めている・学べずに居るのだと思います。将来の国の発展のためにも制度を良くし、高校・大学・短大・専門学校の授業料の無料化を要望、お願い致します。(授業料の減額)の軽減でもどちらかを取り入れてほしいです。子供達の未来を!! よろしく願いいたします。(母親より)</p>
<p>進学が少しでもできる環境が良くなるといいかと思ひます。(専門学校の学費も含む)</p>
<p>(学費) 大学授業料の無償化</p>
<p>子供たち一人一人の個性や能力が生かされた社会になってほしいため、経済的な理由でその芽が潰されることがないよう、0歳から大学までの学費を無料にしてほしい。学力で給料に差をつける社会のあり方もおかしいと思ひます。</p>
<p>子供を進学させるために教育ローンを利用すると審査が厳しかったり手間がかかったりする。利息もかかる。もっと借りやすく無利息なシステムの教育ローンが多ければ良い。国に多く税金を支払っているのだから老後のことより子供が進学するときに30万とか50万を国から貰えるシステムがあったら安心できる。</p>
<p>高校、大学、専門学校への進学には、公的な支援金が欲しいです。返済なしの就学支援金があれば、将来仕事に着いた途端、借金返済ということにならずに、生活を安定させていくことができると思ひます。</p>

◆自由記述 保護者◆

高校や大学の授業料、希望する子供が入れるよう現行よりも安くして欲しいです。才能があるのに、学べないと言う状況をうまいようにして欲しいです。国は公共の予算を確保して、教育方面にも使ってほしいです。子供は国の宝です。才能豊かな人材を育てていくことがとても大事だと思っています。
大学でも高等学校就学支援金制度のようなものが欲しいです。
大学や専門学校等に行きたくても、お金の問題などで行けない！！
親としては、本人が希望するのであれば大学進学までさせてあげたい。本人の学力にもよるが、金銭的な問題から選択肢を少なくしている。専門や就職するよう会話しているように思います。高校の授業料も免除になりありがたいのですが、高校卒業後の支援もあるといいなと思います。子供たちの学歴の差が親の収入と比例するのは悲しいです。
大学へ進学させるつもりでいますし、本人も行けるとは思っていますが、親が全額負担するのは絶対にできません。親の収入に関係なく本人の成績だけで行きたい学校へ行ける仕組みになってほしい。成績が良くても経済的に進学ができないのは国にとっても大きな損失ではないでしょうか。国がもっと教育にお金を使うべきだと思います。
教育費に多くの金額がかかる。大学進学など負担にならない要求方式等になることが、子供たちへの将来の投資となるため、教育にウェイトを置き、子育て世代への負担を軽くしてほしいと思います。
大学の授業料等もとても高いので、もっと安くなるか、支援（給付等）がどの子にもあてはまるようにしてほしい。現在は、祖父母、両親とも健康で、なんとかできているが、これに病気や介護等になると、大学進学への支援は、とても厳しくなるので、行きたい子が行きやすい学費等になってもらいたい。
大学進学について学費負担が進学の大きな課題です。沖縄の大学では無い歯学部、薬学部等の学科を沖縄に作って欲しいです。子供には、お金の負担をかけたくないので子供の進学の夢を叶えるためには、お金がかかりますので、沖縄県無利子の奨学金を作って人数も多く、そして将来は沖縄県のために働く条件にした奨学金制度を作ってください。今は自分の子供を教育するのにいっぱい입니다。人の事は考えられませんが、子供は社会の宝です。皆が安全に教育が受けられるようにと考えています。
大学の学費も、もっと安くしないと、優秀なのに進学できない子供たちが増えて、結局国の利益になりません。日本は、子供にお金がかかりすぎです。子供たちが夢を持ってない国に、未来はないです。先進国なのに、恥ずかしいです。
大学進学等の時、学費等で不安なので、それでも進学を希望する場合の方法などがわかれば、すぐたすかります。
大学（専門学校）など、経済的な理由で奨学金を利用せざる負えない。将来、それを返済していくのが負担になるのではないかと不安です。
最近、結婚を考えているが、二人の奨学金の返済がネックになっていると聞いた事もあります。夢をあきらめず、進学してほしい気持ちと、経済的負担の不安とで、子供には申し訳ない気持ちでいっぱいです。
子供の進学の支援は足りないと思います。もっと選択ができればいいのに。
今後の大学進学に向けて、経済的にやっつけられないのか不安がある。私大、国公立大、県内外に行った場合の金額や利用できる制度等があれば情報がほしい。

◆保護者◆ 支援制度等に関すること

主人の定年後再就職するものの、十分な給料を頂ける状況ではありません。社会全体の景気が良くないので、仕方ないです。しかし、老人の年金制度など色々な面で弱者が増々暮らしにくくなっているような気がします。別世帯とは言え、夫婦それぞれの親が年金だけで生計が立てられず、我々が援助しており、こちらの生活にしわ寄せがあります。子育てにしても、現在社会は、あまりにもお金がかかりすぎます。理想は、子どもを沢山授かりたいが、現実には厳しいです。私達の親世代は、貧しくても子沢山で何とかやれていたのに。昔は今ほどお金がかからなかったと聞きます。現状では少子化をくい止める事が難しいと思います。国の予算の有り方を本当に国民の為かを考慮して頂きたいです。年金制度や育児支援を充実させて不安なく心豊かな子育てをしたいです。我々の老後も十分な年金で自立出来て、子世代に負担をかけずに暮らせるしくみを確立して頂きたい。勿論、体が働ける間は、年令に関係なく働く意志があります。
別居の世帯にも何か医りょう費などの支援の制度があれば良いと思います。事情によって養育費をもらえない人もいるかと思うので、、、。私を含め、女性一人の給料では、生活がきびしい為
これからの日本を支えていくであろう若者や学生に、もう少し具体的支援をお願いしたいと思います。
子供を大きくするのに、お金がかかります。いっぱい子供ほしくても、生活が大変だから産めないし、たすけてください。高校は、とてもお金がかかって大変。下の子達まで、かわいそうになる。
就学援助制度は非課税世帯と村で決められているけども、収入はあっても子供が多いと給食費や諸経費を支払うことが困難です。3名以上は給食費の負担を軽くするなどしてほしい児童手当から引かれるので、生活は苦しいです。
児童手当が子供が学生の間あるといいと思う。
経済的なことで、子供にあきらめさせることがないように、給付型の奨学金などの制度を考えてほしい。
子供の人数に応じてもっと金銭的な支援が必要。民間企業では、何年たっても収入は上がらないのに、支出ばかり増える。子供は大きくなればなるほど、お金がかかるのに・・・
子供が1人でも、子供が5人でも、サラリーマンの世帯には、制度や支援に違いはあるのでしょうか？子供5人、それぞれ同じ様に教育を受けさせたいし、習い事等も通わせなかった。子供1人であれば、できたかもしれない。子供が5人いれば、働いても働いても、足りない。沖縄の大学は限られているし、県外へ行かせてあげたい気持ちもあるが、きびしい。
子どもが2人いるが、1人が大学へ進学し県外で暮らしている。奨学金制度を利用しているが、それでも日々の生活がきつい。もう少し、経済的な援助が必要であるが親の収入のみでは、限界を感じる。
児童の手当は、高校生までであると助かります。
低収入世帯に、もっと学校等から、申請の仕方（記さい要領等）わかりやすく説明して欲しい

<p>高卒では、子どもの将来が不安で、親としては専門学校に通わせながら将来に向けて時間をかけて心がまえができる時間がほしい。仕事をしながらでもいいかもしれないが、子供の性格や気質、不器用さなど、ずっと見てきて、世に出るタイミングではないと思うのです。人それぞれだと思うので。しっかり生きていく為にも教育の制度が生活の苦しい世帯にやさしい制度、教育を受ける為に経済的にゆとりのある（もたせる）本当に必要な家庭に援助してほしいと思います。</p>
<p>「働らかざる者、喰べからず」で、育った。私の時代と、あまりにもちがいが過ぎていて、勉強は大事なことだと思いますが、生きる基本、働かないと食べていけない現実、生きてこそ、勉強もできて、世の為、人の為とまでは言いませんが、それが、大きな社会の為につながっていくのではないのでしょうかと、いつも、制度や支援のあり方、バラまきを、種まきに変えて、もっと、働く喜びの種（お金）をまいて欲しいと思います。</p>
<p>現在、上の子が県外の大学に通っております。返金する奨学金を受けてます。本人はともまじめに、こちらのことを考えて質素な生活をしており、経済的な余裕がないので、寮生活を送っています。丸々4年間の奨学金ですし、返すことになったら長期に渡るのが想像できます。この子だけでなく、他にも同じ状況で生活している子が多いと思います。遊び半分で大学に進んだわけではなく、せっかく就職しても、初めの少ない初任給から返していくのも、かなり負担ではないですか。もう少し、勉強したいという思いの子たちが優遇されるといいな。税金等も子供達に必要な教材や給食に使ってくださるのいいのに、と思います。</p>
<p>高校、大学へと進学するにあたって、お金がかかるので、もっと援助などあっても良いと思う。</p>
<p>本当に、今苦しい方（甘えではなく、一時的に助けてほしい）に優先して欲しい</p>
<p>固定資産税を毎月払いにしてほしい。</p>
<p>給付型の奨学金がもっとふえてほしいと思います。親の貧困で子供の未来をうばいたくないです。</p>
<p>私達家族は、今日現在は、なんとか人並みの生活ができて、少し油断すると、無駄使いをしてしまい反省しています。でも、子供達が幼い頃は、私自身、子育てと家事、自営の手伝いに疲れはて、つい気軽に貸してくれるカードローンで、今考えると、本当に情けない状況におち入っていました。自分で外からの収入を得られない中で、支払いもどこもあり、よく夫婦でいらいだちをぶつけ合っていました。子供達にも本当にイヤな思いをさせていたと思います。自分達で産むことを決めた子供達なので、自分達で育てるのは、もちろんですが・・・、今の世の中、上と下があまりにも差がありすぎではないでしょうか!!金持ちだから、たいして考えもせず、悩みもせず、育ててしまった子供達と、貧乏だから志と学力はあっても夢を持って歩めない、もったいない子供達との差があまりにもありすぎです。親だけでは、間に合わないところをサポートしてくれるのが、先進国と自負している日本の国の、今一番必要な部分だと思います。高収入の方には、もっとしっかり税負担をお願いして、国・県・市町村は、必要ない事業はやめて、意味のあることにお金を使うべきです。役人だけで物事を決めることを、まづやめることです!!</p>
<p>大学、専門学校などでの奨学金のはばを大きくしてほしい。特に医学関連の専門学などです。</p>
<p>給付型の奨学金を増やしてほしい。</p>
<p>奨学給付金や奨学金の振込みが遅いので、その間の支払いが負担になっているので、4月の振込みにしてほしい。</p>
<p>このような調査をしても、どれほどキチンと精査されるのかはギモンです。奨学金も給付型でなければ意味はない。教育と治療が無料で受けられないのは先進国とは言えない。子供の話を聞いていても、他県と比べて教師の質が悪すぎる。あれでは学力が上がるはずがない。どんな問題も、今の県や国に解決できるとは思えない。</p>
<p>沖縄県の学力向上を目指して、幅広く経済的支援を行い、学業に専念できるようにしてほしい。中間所得世帯でも、制限なく支援制度の申請ができればいいと思う。</p>
<p>奨学支援金の給付型をお願いしたい。</p>
<p>収入の総支給額と手取りの差が大きいため、いつも就学援助や給付金が受けられず、本当に困っているのに、子どもに必要な教育費を、サラ金などから借りて、支払っていることが多い。これに加えて、大学の授業料の支払いで、更に借金が増えていき、子ども達が進学していけばいく程、親は借金が増え、絶望的な気持ちになります。子どもたちの希望通り進路を進ませてあげたいのは、どの親も同じだと思いますが、大学進学はお金がかかりすぎてつらいです。お金がない人は、どこに相談しても助けてくれませんでした。普通に見えてそうじゃないです。希望と絶望の間で生きています。</p>
<p>子供の将来の夢が叶う様、幼い頃から全力で育ててきました。子育てに集中できたのも、家族の健康と充分な収入のおかげだと思っています。しかし、何かのきっかけで夢を変えさせたり、諦める事が無い様、緊張していたのも事実です。子供達の教育環境は、まだ不平等感があると思います。全ての親達が緊張感なく安心して子育て出来る様に制度が整うなら、必要な負担も大切だと思います。</p>
<p>※教育費や生活費など、当面利用でき、無利子で貸し出すような制度はないのか？</p>
<p>本人は進学希望していますが、家計に気を遣って迷っています。学費が高い為に、奨学金を受けたとしても、本人が返済できるか不安です。児童扶養手当が18歳までに支給なので、高校卒業してからが沢山必要とするのに、満足のいく教育を受けさせてあげられないのがびびりに思っています。</p>
<p>児童手当を高校卒業まで出してほしいです。</p>
<p>奨学金制度は大いに活用出来たらいいと思います。私自身も水産庁漁業育英金で高校を卒業しました。遠洋漁船に1年間以上就業して返済が無しになりました。経済的に苦しかったので高校生時は三年間アルバイトで昼食代と交通費、制服代をまかさないました。高校を退学して就業を考えていた時に育英金に出会って非常に助かりました。</p>
<p>母子家庭や父子家庭以外にも、メンタル部分で働けない配偶者がいる、支援等がなにもなく苦しくなる。メンタルや少しの障害は、働く場を探すのが難しい。どうか、ふんばっているけど、母子家庭になって支援を受けた方が楽だと思う事は、これまでにいっぱいあった。沖縄には、家計が苦しいけど、働けない配偶者を持つ家庭も多いのでは？また、生活保護までは受けなくても、医療費の支援があれば助かります。</p>
<p>中学卒業後の進学する点では賛成であるが、支出の部分では、子どもにあきらめさせてしまったことがある。そのことを今でも本人の口から「やっぱり行きなかった」ということを聞くと、長子の進学が重なったことから希望に沿ってあげられなかった。現在、貧困の点がクローズアップされているが、政府がもっと進学幅や学費についても改革しないと、子どもの数は減少しているのに、将来、日本を任せられる人間がいなくなるのではと懸念される。今こそ変革すべきだと思う。</p>

<p>本土へ進学している大学生がおり、経済が苦しい。しかし、収入による調査によって、高校生奨学金給付金の制度の利用ができなかった。→現状の状況は苦しいです。さらに、現在、19才の子が大学進学するために奨学金の申し込みをしたが、同じく利用不可であった。→紙きれ1枚で心が折れる制度です。1人の子を大学へ行かせるのに、大変（この子は奨学金制度利用中）。あと2人の子はどうしたらよいか。周囲が利用できるのに、19才の子が利用できないと結果出たとき、本人はとてもおちこんでいた。なぜ、子供にそんな思いをさせるのか。全く納得いかない。収入あっても借金あるんです。雇用している人の給料です。学ばせたくても、自由になるお金ないのなら、可能性をあきらめさせないために親は1日も休まず働きつけて学校へお金を払ってます。（PTA会費、授業料）紙だけで決めないで。木造50年の家、がんばって生きているのに借りれませんでした。</p>
<p>家庭の事情で、大学進学を諦め、就職する学生が多くなってきています。より多くの給付型奨学金制度が充実し、より多くの子供達が、大学・専門学校へ進学できる様、国・県・企業等の支援が必要だと思います。塾にも行けず、地域で、無料塾を開校したり、必要な参考書など学校図書館で借りられる様、サポート支援が、もっと多くあればと痛感します。私自身、奨学金で高校を卒業し、親に負担をかけさせまいと、早く自立し、就職しました。我が子には、ぜひ、大学・専門学校へ進学してもらいたいと、強く思います。</p>
<p>給付型の奨学金制度を充実させてほしい。</p>
<p>我が家庭ではありませんが、一人親や保護者が病気などで、日々一生懸命仕事をやって子供の就学などにもがんばっています。計画的な学資資金の調達ができなかったり、奨学給付申請の期間や添付書類に時間や費用が工面できないなどの現状もあるように思います。柔軟な対応や配慮を求めます。奨学給付申請書類などわかりやすく簡潔にしてほしい。<学校へ>部活動の朝練、帰宅時に制服を義務付けているが、柔軟にしてほしい。また、部活動内でのユニフォーム等の譲り受けなどを推奨したりして、学業以外でも取り組んでほしい。</p>
<p>子どもに発達障害があり、知的には問題はないが、小さい頃から、習い事など、他人の手を借りて、少しでもいい方向に成長して欲しいと、経済的にはきびしくても、いろいろさせてきた。本人が、大学進学を望んでいるので、合格すれば進学させたいが、経済的に不安はある。大学生になったら、アルバイトをして、こずかいくらいは自分でまかなって欲しいけれど、（親の本心として）日常生活も自立しているとはいえ、本人ができる状態ではないので、かなり困難。対人関係が苦手なので、大学生の間に社会に出て、自立していく手だてをどうやって身につけていくか課題があるが、どうすれば良いのか、よくわからない。</p>
<p>大学の授業料が高く、進学したくてもむずかしい子も多いはず。奨学金を利用して、大学へ進学する子が多数だと思います。4年大学へ通った場合、総額はいくらになるのでしょうか!!卒業後、何百万という額を返済しなければいけません。度々、議論はされていますが、なかなか進まない、大学授業料の減額、奨学金の返済不要…少しでも経済的負担が軽減される事を望みます。</p>
<p>小学校、中学校の時より高校の方がお金がかかるのに援助があまりないのが不満です。</p>
<p>両親とも正社員で収入はあるが、住宅ローンなどもあり、2人の子供（1人は現在大学生）の学費が高く、（2人目も進学した場合）大学へ行かせたいと思っているが、負担が大きい。就学時には、返済不用の奨学金が受けられるようにしてほしい。</p>
<p><生活保護を受けている方で>マンションに住み電気自動車（高級車）に乗り、旅行に行き、ゆとりのある生活をおくっている!?個人経営の方々の収入・支出の計算のやり方は?審査は、誰がやっている? <母子家庭・父子家庭>でも、子どもの教育環境に差があってはいけないと思う。子ども達は、あと10年、20年後の国をつくる。教育費に予算を!!<母子家庭・父子家庭>本当に厳しい家庭には給付型の奨学金を!!</p>
<p>給付型の奨学金を増やして欲しい。 今年度は修学旅行があります。双子の為、出費が大きい。学校は別々ですが、少しでも減額制度等があれば助かります。 二人とも大学進学を予定しており、医学部志望もいます。奨学金は絶対に必要です。</p>
<p>貸与型奨学金の全容を知りたいと思います。TV、ニュース等では、若者が貸与型奨学金を利用した事による借金で苦しんでいるという現状を知りました。今後、自分自身の子供達にも、その制度を利用した際のリスクを知りたいと思います。</p>
<p>子供が進学すると、大学生が2人になる。県内の公立大学でも、2人の授業料を支払うのは、経済的に厳しい。奨学金の利用を考えているが、少しでも給付型での援助があれば助かります。</p>
<p>県外進学を考えると、選択しは大幅に広がるが、経済的に考えると大幅に狭まり、奨学金返済を考えても不安です。</p>
<p>高校生の就学支援金制度について、両親の所得額が上限となっているため、該当していない。授業料が発生しています。子の数でみて欲しい。1人この親とちがいが、我が家のように3人いる場合、1人の子にかかるお金もかなりある。所得額だけでなく、子の数で判断（該当）できるような制度にして欲しい。国の制度なので、きびしいことはわかるが・・・。</p>
<p>そもそも、行政の仕事が県民の生活に貢献しているか不明。特に、行政機関や政治家の活動は、公共性のあるものが多いが、そのベネフィットは伝わっていないと思う。とても、もったいないと思います。ぜひ、前向きな時代のために、頑張って頂きたい!</p>
<p>奨学金制度の事をくわしく知りたい。利用なしでは大学進学は難しい為。</p>
<p>子供の学費や生活のため夜も働くわけですが、すると援助のうけられない年取になったりし、であればあまりがんばって働かず援助をうけ、子供との時間ももてた方がよいのではという気持ちになったりもします。しかしながらもっと厳しい生活をしておられる方もありましよう。衣・食・住最低限のところは国や制度で守っていただきたいと思います。子供の未来のための取り組みに期待しております。</p>
<p>大学や専門学校へ進学するためには、学費がかなりかかるので、母子家庭で成績が良い子のために、もっと援助があればありがたいと思います。</p>
<p>高校まで児童手当があるようにしてほしい。制服代や、4、5月にしよ費用の支払いがあり、4、5月あわせて6～8万くらいになることもあります。なぜ、4、5月で支払いとしなければならないのでしょうか?前期・後期など支払う時期を考えてもよいのではないか?(7月と12月とか?)</p>
<p>奨学金制度について、現在の貸与型・貸付型から給付型奨学金に変えて欲しいです。そうすれば、もっと進路の選択肢(大学進学等)が増えると思います。</p>
<p>就学援助金を受給したい。収入の条件はなくてよい。</p>

<p>県立高校には、年取に対して、授業料免除もあり、大変助けられています。ありがたい。沖縄の生活水準は低く、物価は高い中、支出も多く、貯蓄までは、なかなか回せませんが、高校生になると、大学進学などの奨学金が大きな負担となります。もう少し、奨学金の見直しをお願いしたい。(例えば、無利息や給付型を増やすなど)</p>
<p>経済的な理由で進学できない子供たちがいる事は、日本にとっての損失だと思う。努力して成績が上がれば進学できると希望がもてる日本になるべき。人財はあちこちに埋もれていると思う。給付型の奨学金を子供たちに投資すべき。「夢は叶う」ことを子供たちに感じて欲しいと思う。制度を見直して欲しい。全ての子供は国の宝。</p>
<p>子育て世代において、就学支援などの制度はあるが、住居費などにも、支援制度等を考えてほしいと思います。多子世帯などは、学習においても勉強部屋が必要な為、経済的にも家庭での負担が大きいです。</p>
<p>将来、大学へ進学してほしいと思っはいるが、住宅ローンや兄弟に障害のあるものを抱えており、ずっと大学の学費を払い続けられるかが心配。奨学金の利用は、給付型なら利用したいが、貸与型は就職してからの返済になると、子供の負担が大きくなるので、利用したくない。このような状況なので、私は体調も芳しくなく精神的にも不安定で介護も大変なので仕事をする事ができず収入は夫の収入以外にはないので、そういう家庭の子でも給付型の奨学金が受給できればいいなと思う。</p>
<p>返済不要の奨学金制度があれば良いと思う。現在は、枠が狭いと思います。</p>
<p>学費の負担が大き過ぎ、年の近い兄弟を大学に進学させることが大変難しい。しかし、私立で県外の学校となると尚更である。返済不要の奨学金制度の充実を計って欲しい。教育こそ、国の発展を左右する大切なものだから。</p>
<p>※大学希望でもお金がありません。そのような場合は、どうしたらいいんですか。銀行に行き借入れすればいいよ、とかよくいいますが、そうではなくもっとほかに、いろいろな制度や支援のやりかたを考えてほしいです。みんな、平等に沖縄は仕事がなく、賃金が安くて貧困家庭がおおいと思います。</p>
<p>二人の娘は(精神障害)自立支援(障害3級)ですが、上の子がバスを一人で乗ることができず、いつも学校の前までの日々。生活保護も受けていて、車も持ってません。下の子も同じ。バス代も二人分。とても間に合いません。自分も病気で仕事もできず、気持ち的にゆとりがありません。何か、資格をと考えているのですが、その費用もできず、学校で何か資格をとることもできないでしょうか?本人もバイトを考えているようですが、バイトできる状態でもないの、何か資格をとるよう、すすめてます。</p>
<p>一般的な収入かと思うが、多子家庭のため、思ったような事がしてあげられていない。税金でも、市の援助 etc も子に対して、直接的な支援をふやしてほしい。</p>
<p>経済的に余裕があれば、本人の進学の為の学習塾や家庭教師などの習い事をさせたいが今の収入では無理です。進学の為に何らかの支援制度があれば、大変助かります。今の制度では、本人や家庭への将来の負担が大きく不安で利用できないのが現実です。子供の為、低所得世帯でも、学習できる世の中にして欲しいです。</p>
<p>上の子が大学進学で奨学金を利用していますが、返済型です。給付型が増え、多くの子が利用できるよなになったらありがたいです。今ある給付型は数が少なく成績優秀の子に限られています。もっともっとたくさんの子に進学の希望を叶えてあげられる奨学金があるといいです。</p>
<p>大学の奨学金制度に給付型が多くあってほしいです。3人の子で、今の高校生の上2人が、現在、大学生です。奨学金(返済あり)を活用しています。卒業して、はたして、返済できるのか心配です。女の子なので、どうなるのか、今から気には、しています。女の子は、大学まで行かすべきだったか、考えてしまいます。末っ子が男の子なので、本人が大学行きたいと言えば、行かせてあげたいですが・・・。働けるまで働らいていかないと、借金をかえせるかと、思い、生活しています。</p>
<p>就学支援金の有り方に?税のしんこくをごまかし世帯所得を低くしんこく市町村民税を払わず支援金受給にギモン?</p>
<p>この子の父親が難病になり、経済的に困難になっても、行政はこちらが何かを聞かない限り答えてはくれない・・・おかげで、学資保険の貸付けをしたり、市町村からの貸付けをしたり、と何かと辛い思いをしている。こちらからは初めての事で、何もわからないという支援を受けられるのか?そういう事も教えてくれない行政に怒りを覚える・・・「障害者手帳」の交付がおそくなり、働き口が決まりそうになっても「手帳がないと雇えない」と言われたり、サポートセンターからの紹介で、面接に行けば、「難病」と聞いただけで、さっさと席を立ち、切りあげていく企業だったり、と。皆が皆、そういう人達ではありませんが、もう少し情報提供をしてほしいし、対応も早くしてほしいです。</p>
<p>返済なしの奨学金があればいいなと思います。将来の子供の生活の為に。</p>
<p>給付型の奨学金があれば良いと思います。あと、現在の貸与型の奨学金は成績が悪くなると、打ち切りになってしまいます。</p>
<p>生活保護制度を利用したい人は周囲にいっぱいいますが※制度があまりよくわかりません。(利用していない理由として・・・)支援策をもっとわかりやすく学校で書類の提出だけでOKにしていくと、いいと思いました。※役場の窓口へは、行きづらい!</p>
<p>未来を背負う子供達が、進学、就職に希望を持てる制度・システムにしてほしい!</p>
<p>行政の方へ。なぜ児童手当は中学3年で終了するのか?子供は高校生から何かとお金が必要である。将来、良い学校(短大・専門・大学)へ行かせたいと思っはいても、経済的にきびしい世帯は多い。(奨学金も賛否有)子供が多ければさらにきびしい。共働きで何とか暮らせてる状況。高校生の娘にアルバイトさせてるが正直させたくない・・・が、やってもらわなければこちらが苦しい。矛盾しているが、これが現実である。どうか高校生以上から何らかの支援等を望みます。宜しくお願致します。母より</p>
<p>奨学金を申請した場合、<確実に>受けられる様にしてほしい。そして、<u>希望の額</u>もしっかり受けられる様にしてほしい。そうしないと、大学進学が不可能な為。給付型の奨学金であれば、なおさら有難いです。</p>
<p>本人が希望している大学が県外となると、生活費等の負担などを考えてしまっ、何か色々制度、支援等、本人達に分かりやすくしてほしい</p>
<p>主人の給料だけでは、子供達を塾に行かせてあげる事もできず(子供が行きたいと言っているが)私が働けばと思うが、送迎帰ってきからの子供達の洗濯家事(部活で多量の洗濯物1日5回)毎日寝る時間が平均3時。朝は弁当作り朝練がある為5時起き午前中ほとんど動けません。なのに生活保護や母子家庭手当を受けている子供達は塾へ通ったり、私達よりゆとりがある様に思います。子供達の人数や住宅ローン等家庭により支出は違うと思うのでもっと生活にゆとりがもてる制度があればと思います</p>
<p>勉強する意欲のある子が安心して大学へ進学できる制度が必要だと思っはいます。特に学年で10番以内に入る程の学力のある子が、経済的な理由によって大学へ進学できないとしたら、これほど残念な事はないと思っはいます。成績が優秀な子には、学費も生活費も全て公的に負担してでも大学へ進学できる制度を作っはほしい!</p>

<p>少子化時代ですが、子供への将来投資が望みのない時代です。高学歴、裕福な暮らしは望んでいません。親として、何とでも仕事をして用意できるだけの金額はがんばります。しかし・・・足りないのが現状です。他の子達よりは、身にまとう衣類、身の回りの品は、与えていますが、本人はうらやましいようです。自立して生きていける支援の援助は、何かしら検討が必要な世の中ですよね。依存せず、精一杯のがんばりの中で、足りない援助は考えて欲しい。</p>
<p>共働きでも収入が少ないです。高校は交通費校納金がかかります。給付金の範囲を広げてほしいです。学校はアルバイト禁止です。今はケイタイ電話を持つのがあたり前の時代です。アルバイトで電話代位は払ってもらいたいです。自分の物を買うお金もありません。親も買ってあげる事が出来る余裕がありません。</p>
<p>児童扶養手当は4ヶ月に1回を年3回ですが、月に一度の支払いだと大変助かると思います。新聞投稿も有りましたがせめて2ヶ月に一度でも保護者は相当家計に助かると思います。関係者の方々の検討をお願いします。</p>
<p>今は、児童手当も高くなり、予防接種も無料になっていて、小さい子にお金をあげすぎです。子供は、中学校からお金がかかるので、考えてほしいです。今の時代、大学・専門学校に行くのは、あたりまえの時代です。</p>
<p>児童手当の事ですまません。今は中学生まで児童手当がもらえる良い世の中になっていますが、そのお金を学校の支払い給食費、授業料、体育服、制服、修学旅行とか・・・子供達が平等に学校生活できる様！願い！！いじめなど本当はさみしいうらやましいがあるのでは。難しいです。悲しいです。有り難うございました。</p>
<p>高校学校等就学支援金制度は、学校へ書類を提出した(記憶)があるので、「制度を利用している」にあてはまるかもしれないと思いましたが、児童手当等のように口座に支援金が入金される等の具体的な記録が残らないのであまり実感しづらいと思いました。支援金が各個人等にどのように利用されたか動きがもう少しわかりやすいといいと思いました。</p>
<p>育児手当がもっと高くなってほしい。</p>
<p>母子家庭への支援は、色々あり手厚いが、障害児がいる世帯への支援(就労)はない。保育所入所や、公営住宅優先入所などできる事になっているが、実際は断られた。障害児がいるのに、上に住む住人に虐待のうたがいがあると、相談に行ったら、ガマンできない方がアパートに住む資格がない、とアパートからおいだされ、高校の修学旅行費を払えなくなった。書類上貧困と言っている人は、本当に貧困なのか調べていますか？私達は書類上貧困には該当しません。でも実際は、不当な扱いにより、貧困です。私達は誰も助けてくれません。弱い者いじめをする世の中で、きちんとした制度や支援が行われるのか疑問です。権力に左右されない制度、支援を願います。</p>
<p>子どもは大学進学希望(国立)しておりますが、学力が足りない為、早く、学習塾へ通わせてあげたいのですが、家計が厳しく、通わせてあげられないのが、とても辛いです。本人の成績も上位で希望もっています。成績上位の子には、やはり何かしら支援があっても良いのではないかと思います。本人のやる気があった支援があれば家計の事も気にせず、子供達も希望をもって学習に専念できるのではないのでしょうか。これからの子供たちのためのすばらしい制度に期待します。又、医療費削減してこういった制度にまわせるよう、日本は、予防医学も重視するべきだと思います。近年はコンビニや買弁ばかりで心も体も丈夫な子が育つとは思えません。</p>
<p>私自身が奨学金を利用し、返済に苦労した経験があり、子供には、同じ思いをさせたくありません。海外では、奨学金は、給付型で、日本もそのような制度が、早くできると良いと思っています。勉強したい、進学したいと、強く思う子たちが、実現できる、世の中になると良いと思います。</p>
<p>在学途中からでも利用できる奨学金制度や給付型の奨学金制度の情報があれば提供して頂きたいです</p>
<p>現在、長女が大学生ですが、お金がないと、通えないと実感しています。どの世帯、どの子にも、心配なく学べる環境があるといいと思います。子供は進学を望んでいるのですが、奨学金制度の無利息の制度を作ってほしいです。現在、長女が奨学金の利息付の支払いをしているのですが、仕事がなく、支払いが困難の時があったようなので、ぜひ検討してほしいです！</p>
<p>役所の方はいろいろな制度があることをもっと知らせるべき！うちは子供4人の年が近く、4人いっぺんに保育園や小学校に通っていたのでその時に就学援助制度を利用しなかったのですが、家が”持ち家”だからと言われ利用できませんでした。持ち家といわれても住宅ローンの支払いも毎月12万出ていて、子供たちを耳鼻科に連れて行くと診察で1人1000円薬代で1人1000円×4人分で1回行くごとに8000円かかっていたので、それを月4回行くと3万以上かかってしまい途中で行くことができなかつた。なのに就学援助制度を利用している人は修学旅行もタダ、耳鼻科・歯科・眼科もタダ、教科書代もタダと聞きました。もしそれが本当であれば同じ子供なのだから病院代はみんな同様にしてほしいです。いまは子供たちも大きくなったのでそれほど病院にかからなくなったのですが・・・</p>
<p>進学を考えた時、奨学金の手続きが、もう少し早めに、利用できるかを知りたい。手続きが、よく分からなくて、スムーズにできない本当に、子供が進学を考えていて、自己資金が足りないので奨学金を高校在学中に、借り入れできるシステムにして欲しい。姉妹の学費が重なるので、とても不安になるので。奨学金の借り入れが決定して、振り込まれる時期は進学後の事なので、高校の予約採用通知を、早めにしてもらいたいです。進路を早く決める事が、できるので助かります。</p>
<p>大学に進学する意欲も、成績もあるが、経済的にあきらめざるを得ず。給付型の奨学金を受けれる機会が欲しい。世帯収入では、受給資格をこえてしまうが、家族の通院、治療のため、医療費がかかり、学費にまかせない。</p>
<p>家庭の暮らしが、現在、「普通」の家庭でも、契約社員だと、いつ仕事を失うかわからない。そうなると、生活が困難になり、子どもの進学についても、希望通りの事をさせてあげられるか不安がある。奨学金やローンは、将来の子どもの負担になるので、あまり借りたくはないが、不足分は、借りざるを得ない。できるだけ、利息は、低くしてもらいたい。</p>
<p>児童手当について、高等へ行く事で益々お金が必要になりますが、現実には、中学で打ち切られます。学生である限り最大限に学ばせるべきだと考えますが、現実的には、支出が大きいです。(PTA費や遠征費等)授業料以外の負担は家計を圧迫します。制服も、びっくりする程の値段です！家計への圧迫は、消費税、学費、習い事、・・・将来をみすえて子供達が積極的に何でも気づかう(金銭面)事なく、学べる沖繩になってほしい。</p>
<p>給付型奨学金の受給わくを増やして学費の軽減が図れる様にして欲しい・高校の授業だけでなく教科書代についても補助して欲しい</p>
<p>奨学金制度の無料化をすすめてほしい。それなら、子供に進学などを安心してすすめられるし、家計が苦しくても心配ないから。</p>
<p>大学進学の際に給付型の奨学金が受けられると助かります。</p>
<p>子供たちに、学問の道を平等に学ばせてほしいことです。(奨学金の無利子)</p>

<p>高校生の給付金は、全学年対象となってもらいたい。</p>
<p>給付金(手当金)として受けとつても確定申告でちがう名目で税金として支払いが発生している違和感があります。</p>
<p>経済的にきびしく、奨学給付制度の条件をもっとゆるくしてほしい</p>
<p>各市町村で受ける事ができる児童手当は、申請が仕事の都合上、難しく(申請する時間がとれない)、中学生、高校生2人ともほとんど受給していません。手続きもめんどくさく、申請を簡単にできる制度を望みます。</p>
<p>高校生になると児童手当で支給がなくなりますが、高校生になると、学校給食もなく毎日弁当でもあり、けっこう支出が多く大変である</p>
<p>所得に関係なく支援金があれば、もう少し楽になる(学力アップの為に塾に行かせたい・・・部活のユニフォーム、練習着、シューズの購入したい・・・)</p>
<p>年度途中に、母親が失業(病氣療養の為)。家計急変による、授業料減免申請するも、通らなかった。学校の担当者によると前年所得が高いから?(実際には市町村民税所得割額が304,200円を超しているからだと思いますが・・・)という事だそうですが、家計の収入が母親の方が高く、その母親が失職したから、家計急変による申請をしているのに何故通らないのか疑問。結局のところ、所得割額・・・の事しかみないなら、その様に明記し、説明してもらった方がよい。失職し、今後の不安(すぐに仕事できない)が大きいのに、授業料減免申請についての説明書きでは、不十分だし、学校の担当者の理解も不十分で、説明も良くわからない。正直、不信感もっています。</p>
<p>給付型奨学金の拡充</p>
<p>大学進学に向けて頑張っている子のために、給付型の奨学金制度がもっと充実してほしい。又、将来的に家賃を支払い続ける自信がなく、希望の県営団地にも住めないのが不安である。</p>
<p>返済不用の奨学金の拡大をお願いしたいです。</p>
<p>子供は、大学進学を希望していますが、充分な、進学及び入学金/授業料の費用がなく、給付型の奨学金が受けられればと考えています(希望します)。又、その他の支援策があればいいと思います。</p>
<p>給付型奨学金をもっと増やしてほしい。その際に、親の所得を選考基準として、重視するのはやめて欲しい。収入が多くても、様々な理由で、子供の学費を負担することが困難な状況があると思います。子供のやる気、能力を重視する選考であって欲しい。</p>
<p>2人働いていて、税金もそれなりに支払っているが、子どもの授業料免除に該当しないのが、おかしい。平等にしてほしい。特別支援学校の生徒は、特別子ども手当や、就奨費、児童デイ等充実しているとききます。普通小・中・高の生徒にも充実させてほしい。</p>
<p>無償奨学金、無利子奨学金制度をつくってほしい。現在の奨学金は、高利のローンと同じだと感じています。貧富の差で教育機会の差が出ないようにしてほしい。年収の差を学費に反映させる制度はありますか(国の規模ですか?)。</p>
<p>児童手当を廃止にして、給食費・医療費・大学までの授業料の無償化を希望する。</p>
<p>給付型奨学金をもっと拡大してもらいたい。</p>
<p>高校学費無償化、給付型奨学金の充実、高校給食制度、公共交通機関の学割の充実、生徒・親が相談できる(家計が苦しくて食品が買えない、病院へ行けないなど)機関の充実、学校以外で夜間対応(T E L)、秘密厳守の徹底、貧困家庭にフードチケット、衣類チケット?、制服、学用品のリサイクル</p>
<p>生活上の困難を抱えはじめてすぐの段階で身近で気軽に相談できる専門家(特に法律家)がいたほうが良いと思います。各機関にいろいろな相談窓口があると思いますが、困難を抱えはじめた人は、そのような窓口を利用することに抵抗感を感じてしまうように思います。例えば、地域の顧問弁護士がいるとよいのではないのでしょうか。複数名の登録制にして、休日・夜間にも相談受付をしてもらえるようにすると助かると思います。地域の行事や広報でかかりつけ医のようなかかりつけ弁護士がいてくれると周知しておけば、いざ困難をかかえはじめた初期の段階で、相談しやすいのではないかと思います。法律無料相談(現在取り組まれている)に似ているようですが、「地域のかかりつけ」ということで、相談者の心の敷居が低くなるのでは、と思います。</p>
<p>1、給付型の奨学金が多くの子どもたちにあると、学びたい子供たちも夢や希望が持てると思います。2、沖縄の中小企業が人材育成するノウハウや力(ちから)をつけることを奨励してほしい。→理由、中・高を卒業後すぐに就職する子どもたちが、立派な社会人になり、幸せな家庭を持つには、社会人として、研修等により育てられる必要があると思います。貧困家庭等になり苦しくなる前に、社会(働く場所は大きいと思います)も人を育てるといふこと担っていることを覚えます。子どもたちの未来のためによりしく願います。</p>
<p>親が単身赴任だと、帰宅旅費や家賃などが給与収入となり、所得が高くなる為、授業料が免除にならない。二重の生活で、負担が増えて、色んな面で、家庭へ負担が、重くなる。</p>
<p>我が家は収入が定額より少し多いだけで高等学校就学支援制度が受けられません。2人が高校生なので年24万円です。他の税金等でも収入の2~3割強は出ているので教育が平等と言うのであれば授業料は平等に無料であってほしいと思います。</p>
<p>大学に進学させたいが、入学金のお金がない為、考えられない。入学金の段かいで、奨学金が受けられると良いのですが。塾に行かせられないが、本人は、努力して、成績はとても良いので、親としてなさけない。父のわがままで。母としては、家庭の苦しさを子供に考えさせてもうしわけない気持ちで収入を上げたいが、年も年なので、なかなか良い収入の仕事がない。</p>
<p>専門学校、大学への給付型奨学金をもっと増やして学びたい子供達が普通に専門学校、大学へ進学できる様にしてほしい専門学校、大学も義務教育になると良い</p>
<p>高校の支援金制度を利用しているので、とても助かっています。これからも、支援金制度を継続していただきたいです。世帯の収入や子どもの人数に応じての支援制度や大学進学金など、もっと増やしてほしいと思います。</p>
<p>給付の奨学金がもらえないと子供の未来はないです。もっと国や県、市で支援できる方法は作らないと私(35才)たち世代のような進学もできず、何もできないバイト暮らしの沖縄人になってしまう。もっと本土や海外に目を向けられる人間になってもらわないと沖縄だけ時代おくれになる。バス通学も支援するべきだと思う。その日の現金がないと歩きになる。保護費は少ないし学校納金は払えず電気・ガス・水道は止められて水風呂に入って生活しています。食費・ケイタイ代で生活はぎりぎりです。</p>
<p>もっと無利子の奨学金制度を増やして欲しい。進学させたくても、その後の支払いを考えると利用するべきかをとても考えてしまう。</p>
<p>奨学金(給付型・無利子)をもう少し増やして欲しい。大学進学させたいが、学力はあっても経済的にきびしい。授業料以外にも入学金や県外なら寮やアパートの費用など、入学までにまとまった資金が必要となる為、国公立だけでも分割払いができると進学率が上がると思う。</p>

<p>正規雇用ではないため、前年度の収入（所得）が高い職場で契約終了し、収入の低い職場に就職した場合、税金が上がるが、手元に入る月々の収入は《低い》。この一年は生活するのも厳しい現状です。前年度の所得証明などで就学援助のような手当が必要な時に受けられない（要件・条件が満たされない）。制度の見直し。・収入が少ないため、ダブルワークしたくても職場の雇用契約上それも難しいです。ワーキングプアにならないような給与の確約。・塾に行くお金がなくても成績が上位の生徒に対する援助などあるととても助かります。・県外・県内どちらにしても本人の希望の4年大学進学させてあげたいが、下にも子がいて経済的に不安。</p>
<p>税金が高いと感じる。子供の進路も経済的にギリギリである。もっと奨学金制度（低利子等）多くあると助かります。</p>
<p>教育に関する費用の補助・援助がもっと充実すると良いと思う。収入の額に限らず、全ての子どもは高校生まで平等にあるべきだと思う。特に大学等進学についての学費が高額すぎる。学力があっても高額な学費であきらめざるを得ない状況にあるのは不公平だと思う。学歴は大事だと思う。学校のブランドより学位は必要だと思う。</p>
<p>他県で別居中なので生計が同じではない別々に家賃や光熱費など負担がある。合算すると就学援助が受けられない。子が小・中・高・大と何も援助がなく生活がきびしい。他県との別居なので、住んでいる県で生活している片方の親で査定してほしいです。</p>
<p>児童手当は中学までで、打ち切りですが、20才まで、未成年なので、20才まで支給してほしい。</p>
<p>養育費をもらえる制度を強化してほしいです。給料は少ないのに、消費税が大きいので生活費で困る事があります。子供に習い事をさせてもあげたい。</p>
<p>沖縄県内の大学の進学についてもっと奨学のための給付金を受けられるようにしてほしいです。</p>
<p>所得に応じて学費を支払う人と支払いをしない人がいます。毎月、支払いがある子供に手紙を渡すのはやめてほしいです。誰が支払いをしているのか・・・それをみて、お金のゆとりがあると誤解されてしまいます。ご検討よろしくをお願いします。</p>
<p>親の収入に関係なく、どの子供も平等に無料で教育が受けられる世の中になって欲しいです。生活保護は受けていなくても、貧困家庭はたくさんいると思うので、細やかな支援が受けられれば、と思います。</p>
<p>大学進学で一番の支出はやはり、入学金や授業料、生活費。給付型の奨学金もだいぶ増えていますが、もっと多くの大学がつくってもらえると助かると思います。又、学生（高校生含）もケイタイ電話の使用はするものの経済的には苦しいと言って、授業料払わない、払えないというのはおかしい。（※中にはケイタイもっていない子もいますが、ほとんどは持っていると思うので・・・）親子で節約、お金についてもっと話し合うようにしたいです。アルバイトもさせていないので、お金の使い道は把握していますが、経済的にきつい時は、「キツイよ、今月・・・」と話しています。特にケイタイ電話は高い！！</p>
<p>こちらから申請しないといけない補助はもらいづらい。税取とか家族構成を行政は把握しているんだから、申請書の1枚くらい郵送してほしい。役所に行っても相談しにくい紙出して、って言われて持っていくのが気持ちが楽。苦しい事情、数字みてわかるでしょうに。そんな気持ちで援助くださいなんて、大っぴらに言えません。</p>
<p>大学進学に対して給付型の奨学金が増えるといいと思う。両親が年金生活だとかかなりきびしい。それか、大学の入学金や授業料等が安くなるようにしてほしい。</p>
<p>生活が年々苦しくなるが、物価はあがるだけで役所の対応もひどく、行くのが馬鹿らしい。相談するといい、差し押さえとおどす。借金して生活するしかありません。フルタイムで働いても生活が追いつかない。</p>
<p>高校卒業までは児童手当を出してほしい。食費が思った以上にかかる。食べるものは節約しなさいとは言い難いため。</p>
<p>進学を希望する学生で家計が厳しい家庭であれば、一人も漏れることなく補助金等の制度を利用させてもらいたいです。現在私たちも子供が県外の専門学校への進学を希望していますが、家庭は火の車で学費が出せない状況です。だからといって子供の芽をつむことができません。何とか希望を叶えてやりたいと思っています。今そのことで、とても悩んでいます。どうか、子供たちが夢に向かって進めるような制度を増やしていただきたいです。よろしく願いいたします。</p>
<p>がんばっても裕福ではない家庭にどんなことでもいいので手助けしていただければ、子供の負担が減らすことができるので力になってください。</p>
<p>授業料免除申請をしたかったが、所得額で制限され申請していません。収入があっても住宅ローン等ありいっぱいばいばいばい。支出の種類も検討していただきたいです。バス賃も月1万5,000円以上、学資保険もかなり支出になります。</p>
<p>役所に相談に行っても、本人の立場になって聞いてくれない。自分が病気で全く仕事ができなくて収入ゼロが続いた時、生活保護の話を相談したが、車を持っていると言うことで、受けられないと言われ、車がないと不便である。インターネットはオクケーなのにどうして車は？インターネットは高額であり、仕事をするにも車がないと仕事もしづらい。バスだって常に通っているわけでもないのに。</p>
<p>子供の自立のためには、貸付の奨学金も必要だと思います。なぜなら、大学卒業後に働いて返済するという意識の芽生えや、自立する上でも大切ではないかと思っています。しかし、経済的に厳しい場合は、子供とよく相談をして返済ができるのかも含め、家族で話し合いは必要だと思います。子供の貧困調査をされるとありますが、メディアや最近の風潮に乗っかり、本当は家族でご飯を作れるが、近くに無料の食事支援があるので親が他人任せになったり、子育てに向き合わない親（ネグレクト…その他も含め）が増えている。または、増やしているのではないかと正直危惧することもあります。もちろん、本当に必要な子どもの支援は、とつてもとつても大事だと思います。幼い頃から、祖父母や保育園任せにし、親が親らしく、子供と楽しい家庭生活を営むことが減った。と思うのは私だけでしょうか？子育てをする力がかなり落ちていて感じます。</p>
<p>奨学金？子育てをする力がかなり落ちてると感じます。奨学金等、手続きが面倒。</p>
<p>大学への進学を希望しているが、経済的理由により奨学金を利用した場合、返済できるかどうか強く不安を感じます。子供たちが将来に希望を持つことができるよう給付型の奨学金が受けられるようにしてほしいと思う。</p>
<p>世帯年収で進学援助にあたるものが申請すらできないです。しかし、子供が県外の難関私大や公立大学を希望した場合年収にかかわらず進学助成金のようなものがあると助かります。（例月5,000円とか準備金として50,000円とか）</p>
<p>給付型の奨学金をもっと増やしてほしいです。母子世帯には特にもっと公的な制度を充実させてほしいです。高校生等奨学給付金制度も昨年給付してもらいましたが、確か3万円位でした。年間教育費が10万円位です。全然賸えなくて厳しいです。本人は大学進学を希望していますので経済的な事が今から心配です。</p>

◆自由記述 保護者◆

<p>現在の収入により現在の生活を続ける事は、可能ですが、子供たちの将来の大学進学に際しては、カバーできなくなると感じています。事情があり貯蓄もあまりできていないので、奨学金を頼るしかないと考えていますが、借金になるので、あまりよく受ける事は望ましくありません。給付制の奨学金が設立されると言うのは素晴らしい取り組みと思いますが、非常に優秀な子供さんしか受けられないと思いますので、次のように進学は望むが、その要件を満たすか難しいと言う場合、あっても利用できない制度と感じざるをえません。すぐは難しいと思いますが、進学を望む子に負担なく機会が得られる社会を作り、子供たちが意欲的に社会に出て就労し、自分の生活を築き、結果的に好循環のある社会にして欲しいと希望しております。</p>
<p>高等学校等就学支援金制度が受けられなくて残念です。給付型奨学金は非課税対象の家庭ではなく、学習意欲のある生徒も対象にしてほしい。</p>
<p>給付型の奨学金を増やしてほしい。今年度は修学旅行があります。双子のため出費が大きい。学校は別々ですが、少しでも減額制度等があれば助かります。2人とも大学進学を予定しており医学部志望もいます。奨学金は絶対に必要です。</p>
<p>お金の事など気にせず安心して自分の進みたい道に進んでいけるよう援助してもらいたいです。</p>
<p>就学援助を毎年申し込んでも、よくわからない理由で毎年断られている。子供5人の基準が明確に表示されておらず、且つ納得のできる説明もない。周囲の保護者は生活するために偽造離婚のところはかなり多いのに、正直に生きている者が馬鹿をみる仕組みをいい加減に改善してほしい。修学旅行の費用捻出できず断念させている。正直に生きている世帯がいることを少しは理解してほしい。</p>
<p>いろいろな支援、援助等があるようですが、詳しく教えてもらった事は無い。生活保護等は車を持ってないとか、テレビがダメとか噂は聞くが内容はほとんど知らない。できれば大学進学など、入学費などが免除できる方法があれば嬉しいが、何でもかんでも成績次第となるとあきらめるしかないのでは…と思う。あと親は、だんだん働けなくなってくるので、その辺の心配は尽きない。また、病気、事故。子供だけでやっていけるのか？</p>
<p>暮らし…年取の多い方と一般的に低い方の消費税額が同じなのは納得できない部分もある。政府からの支援にも見直すべきと思っている。母子家庭で一生懸命がんばっている方もたくさんいる中、アルコール中毒で仕事ができなくて生活支援をあげている政府はどうなのでしょう？実際の公的保険料でも、収入によって金額を決められているが、病院に行くにしても年に1~2回だが、年間で計算しても12~15万円ほどの保険料を支払って病院で利用する（支払い）は年間でも1~5万に過ぎない。残りの金額は、どこで誰に利用されていますか？税金は全般的に見直してほしい！</p>
<p>私は、奨学金制度（貸与型）に疑問を持っています。私事ですみませんが、私は30数年前働きながら、短大で資格を取りました。その時は、親からの仕送りもなく、8時から、工場で働き、その中から100人生活費として10,000円のお小遣いもありました。ですから就職しても返済に遅れることなく仕事にも集中することができました。今の子供たちは、かわいそうです。学校卒業と同時に、借金まで背負わされるんですから…もっと県・国は、給付型の奨学金を拡充してほしいです。志ある未来ある子供達に、お金の心配なく、勉学にはげめるような環境を作っていくことが大事だと思います。</p>
<p>大学生、高校2名と教育費に負担がかかる子供達を抱えています。夫婦の所得を合算すると就学支援金の申請要件を満たすことができないため、申請を断念しています。子供の数や就学状況を考慮した制度への改革を強く望みます。</p>
<p>進学に向けて、奨学金制度を見直しすることが大切だと思う。</p>
<p>給付型の奨学金の人数を増やしてほしい。（枠を増やしてほしい）</p>
<p>奨学金の返済が心配なので、大学にかかる費用を負担してくれると助かる！！</p>
<p>もっと他の奨学金を増やしていただきたいです。進学費用、塾の費用がなくて、進学を諦めないといけない子供たちも多く、見受けられます。将来に夢を抱いている少年少女たちに日本はもっと手を差し伸べるべきだと思います。授業料は高いですし、給付型の奨学金がなく、貸与型の奨学金の返済で大学卒業後、苦しむ学生が非常に多い現実、生活も苦しく安定しない職で、少子高齢社会が増々ひどくなっていきます。どうか、もっと子供たちが夢を持って生きていける世の中に…</p>
<p>進学しやすいように、奨学金の制度を変えて欲しい。審査が済んで奨学金が決定したら、直接進学先へ支払いするようになる形にしてほしい。</p>
<p>高校卒業後の進学へ向けて学費面について不安です。いろいろ奨学金制度はあると思いますが、子供が卒業後に返済しないといけないので…先が見えない借金があると思うと不安になります。</p>
<p>医療及び学校（高校、大学も含む）は、どのような環境の人々でも平等に受けられるような沖繩になってほしいです。（大学まで学費は無料）沖繩の発展につながる教育は、とても大切であると思います。人材を育てなくては、良い方向への発展は望めない。優良企業が育てば沖繩の経済も発展し、基地やキャンブル（カジノ）などに頼らなくても済む。</p>
<p>子供が多いと収入があっても出費がかかります。高校生が第一子で、末っ子は乳幼児。上の子どもを優先してお金を使っているため、下の子供たちの学費がどうなるかこれからはとても不安です。奨学金等の条件は、単純に世帯収入になっているため、該当せざるうことができないのですが、子供が少ない家庭では習い事をいくつもさせたりしている（母子家庭でも）のを見ていると正直羨ましく思います。子供をたくさん産んだから…とか、マイナスに考えたり、子供も一人っ子でうらやましいといひます。単純に世帯収入での判断はやめてほしいです。最近では年1回の旅行もやめました。クリスマスなどのプレゼントも中古です。習い事をさせてあげたいけど、それができないことが1番申し訳ないです。姉妹に年齢差があるとういう家庭が多いかもしれません。改善を望みます。ありがとうございました。</p>
<p>同居の合算ではなく、その家族ごとの収入の計算をしてほしい。（収入の計算の仕方）給付型の奨学金を増やしてほしい。書類の簡略化。住民票などいろいろ申請にお金がかかる。</p>
<p>格差をなくすためにも、学費に係る援助は国から対策が必要だと思う。離島に生まれたために、いろいろなチャンス、挑戦に参加できない。（スポーツ、文化、その他）航空料金を考えると参加できないことも多くあります。少子化対策とともに、子供の教育にかかる予算の方が、これからの社会を変えていけると思います。</p>
<p>給付型の奨学金制度を幅広く利用できるようにしてください。</p>
<p>進学の際の奨学金の返済負担を軽くしてほしい。学費だけではなく、生活への援助のケースによっては行って欲しい。できるだけ学びたい子供たちが、不安なく学べる環境を作って欲しい。国が国の財産として子供を守っていくとする姿勢が感じられない。結局自分の利害が大切で、国を動かす人たちは動くからこの国がダメだなと思う。</p>
<p>返さなくても良い奨学金があればとてもうれしい。または半分返すとか…</p>

返済を必要としない奨学金の制度の充実
医療費の支援など市町村でまちまちなので、県が全て統一して、一定の支援をしてけると助かります。大学進学でも出費はかかりますが、それ以前の高校生活を充実したものにするためには、経済的な支援がより必要だと感じます。特に進学校と言われる学校に通う子は、経済的な不安を抱えては、集中して学習ができない場合があります。授業料は無料ですが、教科書代、学校納金、諸費用で、月平均2~3万円の負担です。公立ですが負担大きいです。とても塾には通わせられないです。教科書代の無償化、学校納金の免除制度等があれば、負担が減るのですが…
日本でも、大学の進学の際に、無料で奨学金を受け入れるようにいただきたい。そういうのは、先進国の日本は制度が遅れていると思う。
高等学校等奨学支援金制度が、今年度から対象外になったが、高校生が2人いるので負担が大きくなります。兄弟割引のようなものがあると助かります。
どのような制度や支援策があるかわからない。学校や市や県から制度や支援策の案内がもっと頻繁にあっても良いのではないかな。誰に、どこに、何を聞いて良いかわからない。合算した世帯収入が高くても受け入れる支援がもっとたくさんないか。学業を続けたいでも資金が足りないためあきらめなければならぬことがある。給付の支援策をもっとたくさん作るべき。子供が多くいる家庭に対して、支給をもっと広げるべき。学費にお金がかかるため旅行に行く余裕がない。学校の学費は小中高は無料にして大学はもっと安くなるべき。沖縄の子供の貧困の連鎖は止まらない。税金を子供の教育にもっとたくさん使うべき。そうすれば環境が変わる。学力も伸びる。経済も伸びる。親も助かる。働いても働いても、学業や塾など、子供にかなり出費が多い。子供や親に優しい政策を作ってください。
上の子の大学の進学(県外国立大学6年)の時、奨学金の申し込みをしたが、年収額だけで借り入れできずに、結局国庫の教育ローンで借りた。住宅ローンや、下の子供の教育費等にもお金がかかり、経済的にもギリギリだが、子供には希望する大学に進学させたいため、今は貯金を切り崩す生活をしています。給付型や返済型の奨学金をもっと増やしてほしいです。年収が多くても、子供の数や進学する大学や学部によっては厳しいところがあります。数字だけではなく、それぞれ環境は違うので、奨学金制度をもっと見直してほしいです。安心して進学させたいです。
児童扶養手当等支給対象となる所得の限度額が厳しすぎる。健康的で文化的な暮らしと言うものを国がどう捉えているのか疑問に感じる。様々な制度があるのだと思うが、使いにくい。本当に必要な時にタイムリーに支援してもらえない。収入が減って困っていても、前年度の所得を下に判断されて支給されるのがほぼ1年後からなど。母子家庭関係の相談など(経済的な)役所の窓口では少なからず嫌な思いをするので頼りたくないと感じる。
奨学金の連帯保証人のいない人は借りることができなくなるのですか?(一人っ子です)親戚付き合いがなく正社員じゃない安定した収入がない。どうしたらよいでしょうか?他人でもよいのでしょうか?
給付型奨学金の額や種類等が増えることを望みます。学力、能力があっても経済的理由で希望する進学ができず、将来を悲観することがないように、サポートしていただければと思います。
子供が大きくなればなるほど、お金が必要になるので奨学金の増額や、他の給付金等ももっと増やしてほしいです。
子供を育てる上で、夫婦2人働いていますが、余裕を感じた事はありません。支援と言うものは、子供たち全員を対象に平等にするべきではないですか?沖縄の子供たちがもっと賢くなる支援や制度があれば良いです。
子供の進学を進めているが、この先の教育費のことを考えると不安。パートしているが収入があると扶養に入れず、扶養から抜けると納める税金が増え手取りが少なくなる。子供が学費を気にせず勉強できるような制度、支援があれば良いと思う。
子供たちが平等に教育を受け、教育の格差がない世の中になることを願います。
給付型奨学金の拡充。
国の制度や支援等は必要だと思える人たちの元へ行っているのだろうか?親の年収を把握できる国の機関であればその家庭まで支援の手を伸ばしていけばいい。必要としている人は必ずしも自ら援助を受けようとするものはばかられるからである。(やせ我慢、恥ずかしいなどなど)
児童手当をなくし給食費や学校費にまわしてくれると、入金の手間がはぶけて良いのですが、いったん、頂いている物がなくなると、損をした気持ちになるのですが、子供にとっては平等かと思えます。ローンや生命保険に入っている人はまだ良い方です。生活保護は本当に必要な人達、子供達に行きます様に願います。一番は親の仕事、ですネ。子供達の将来が明るい未来であります様に。
現在は、妊娠時の健診費用、医療費、子供手当と小さな子供たちの手助けとなる支援金が充実しているように思えるが、今の高校生、大学生の年齢の子ども達にはそういう制度も今よりは小額で、本当にギリギリの生活だったことを思えば、より育てやすい環境になっているのではないのでしょうか。高校、大学と進学するにつれ、教育費用と育ち盛りの子供たちの食事、小さな子供よりお金が必要となるので、15歳までと言わず、学業に勤しんでいる子供たち・親にも、何らかの支援対策を考えて欲しい。切実に思う。
貸与型の奨学金は子供の負担が大きすぎると思う。返済の部分で民間企業の給与からでは足りない。特に沖縄の給与所得は他の県に比べて低いので、その分の制度や支援があれば良いと思う。(貸与型の奨学金に対して、就職先の企業が一部負担など。)
子供は、産まれた時から社会の子です。国、地方レベルで、子供が育つ為に必要な物全て(例:教育・医療・スポーツ等)の無料をはからないかぎり、収入の面や、経済的なアンケートは無意味だと思う。社会人1人ひとりの税金を上げてでも、子供に対する、かかる、費用は全て無償にすべきだと思うし、子供たちの夢も今以上に広げることが出来ると思います。のびのびと育てる事が(金銭的な心配はない状態)今後の未来をささえるすばらしい人間形成も絶対的に期待できると思います。
就学支援についてですが、もっと利用しやすいように配慮してほしいと思います。給食費等の支払い、払い戻し等の際も、直接学校の事務室に受け取りに行かなければならない(それも、子供たちが学校にいる時間)のでとても心苦しく申し訳ない気持ち、惨めな気持ちになります。利用したい方は本当に困って仕方なく就学支援と言う制度を利用するのです。子供たちを取り巻く、沖縄県の環境をより良いものにするために、このようなアンケートを実施して下さるのであれば、要望や意見をぜひ取り入れてさまざまな制度を改善していただければと思います。家庭の環境や経済状況に関係なく、学びたい意欲のある子供たち誰もが、同じように安心して学べる社会、暮らせる社会になることを心から願います
コツコツ蓄えて進学させてあげられるよう生まれた時から考えてはいるが、私たち親が転勤してきた沖縄に戻ってくる思いがあったが、そうすると就職後の収入もそれほど見込めず、この沖縄で後で奨学金返済を考えるとどうかなと考える。沖縄を支えようと戻ってくる子のために給付型の奨学金の制度拡大を期待したい。

◆保護者◆ 暮らし・世帯に関すること

<p>子供が希望する高校、大学へ進学させたくても、経済的負担をやはり気にしてしまう。離島、地域に大学等がなければ、一人暮らしするための生活費も増えてくるとなると希望していてもすごく悩む。負担を軽減できるよう寮や安く借りられるアパートの施設を多く増やしてほしい。国なので未来ある子供の為、安心して勉強できる環境を考えてほしい。</p>
<p>母子家庭で祖父母と同居しています。児童扶養手当をいただいておりますが、所得が増え毎年支給額が少なくなっています。所得が増えても実際手取りは税金で差し引きされるので手取り額はたいして増えていません。支援金も要件を満たせず申請すらできませんでした。年金暮らしの祖父母と同居で扶養手当いただく一方、親の生活費も負担しなければいけない状態です。収入と支出のバランスが全く取れず、借金をして生活しています。所得だけで支援制度の申請要件が規制されていますが、見えない支出が証明できず、借金が増えるばかりです。子供には母子家庭を理由に色んな事を不自由させない為にも今までも借金を重ね生活しています。母子家庭でも所得第一で申請要件を規制され、停止額が増えるばかりの扶養手当で祖父母と子供の生活は苦しくなるばかりです。</p>
<p>母子家庭で家計が苦しい。ぜいたくはできない。細々となら生きていける程度。将来を夢見るゆとりない。日々の生活に追われ、将来の事柄について考えるゆとりなし。「母子になったのは私のせいだから、どんな苦勞も受けなくては…」と思いながら過ごしてきたが、ときどき限界を超え絶望的になることがある。もっと、優しい社会であって欲しい。年金などの支出は痛い。</p>
<p>子供が多いと、入園、入学、卒業、修学旅行が重なる事が多く、そのたびに大きな出費も重なり、とても困ります。入学時に支払わなければならないし、制服、教科書、教材、カバン類、体育着、体育館シューズなどの一括購入もたくさんあるため、借金が増えてしまう理由の一つです。四か月に一度しかない児童手当では賅えません。学校全体で購入するものをもっと安くしてくれたいのに、と思います。・児童手当の受給も、18才までひきあげてほしい。(毎日の昼食代、通学費、研修旅行代、教材代などの出費が多い)・勉強したいから学校へ入ったのに、勉強するためにバイトへ行き、勉強する時間がけずられるという・・・子供には申しわけない気持ちでいっぱいです。中学の修学旅行と重なったため、今回の研修旅行代も貯めていたバイト代でだしてもらいました。独身時代にもどって、貯金し直せたらいいのに感じる不甲斐ない親です。</p>
<p>遠方から来ている子供達が住む寮などを作ってほしい。</p>
<p>対象となっているお子さんとはアンケートを持って来た子。我が家にはその子以外にも学生がいるので金がかかる事もある！</p>
<p>税金、健康保険等の支出が多く、貯金ができず、離島の為、進学する場合、負担が多く、二人目の進学は、非常に困難になる。奨学金も、返済を考えると、将来不安になるし、給付型(返済なし)があると、子供の希望の進路に受験することができると思います。</p>
<p>離島に住んでいる為、大学へ行くには島外へ出るしかないで、その際、費用の補助があってほしいです。</p>
<p>離島の離島なので、スポーツ遠征など予定外の出費が痛い。兄弟がいると、全員重なると、とても辛い。援助金、増やして欲しいし、遠征前に欲しい。</p>
<p>大学進学希望している息子と、大学卒業の娘がいますが、進学と卒業が重なり、出費が心配です。</p>
<p>平成30年度4月から双子が進学希望。離島(石垣)なので、仕送りもあり、負担大!! 早急に給付型の奨学金を望みます。勉強ができて、スポーツができて・・・という子のみではなく、普通の子達にもチャンス、希望を下さい。ぜひともです!! 私達の将来を託す子供達の未来に希望の光を!!</p>
<p>母親ひとりで育てています。離婚して養育費も1円も払われていません。苦しい生活です。</p>
<p>少子化問題、重要です。介護なども大事ですが、社会で生きていくための人格形成は、この世に誕生してから小学校、中学校での生活が大切だと思っています。一人ひとりが自分自身を大事にし、周りの方々に思いやる気持ちを持つ事で、社会全体が良い方向に向かうのではないかと、思います。子供を生んで育てるのは親です。子供がいるから働けない、雇ってくれない、っていうのも変だと思えます。何を言っているだろうと思われると思いますが、今のままでは・・・改善しないとイケない所はあると思います。未来ある子供達がすくすく社会に世の中になりますように願うばかりです。</p>
<p>兄弟がいると満足な事をしあげれない。もう少し援助があれば、助かります。</p>
<p>離島出身で、3年前から、アパート代助成制度がはじまり、月に2万円助成してもらえ様になり助かっている。しかし、島と本島での2重生活になり親は大変な思いをしている。・大学の給付型の支援を希望しても、中間層の家庭には、適応されないのは残念である。兄弟の人数が多い家庭のことも、配慮してもらいたい。(母子家庭などが優先されている)</p>
<p>認可の保育園の入園が4月、9月、さらに保育料の高さに驚いています。孫の面倒を見るため、仕事をやめ、生活費が少なくなった上に、公立(県立)高校に通う末娘の学校は、部活の監督に頭が上がり、部着、食費(部関係)、移動に何十万も使い、家計を圧迫しています。私立は選んで行ったのだから仕方ないのですが、県立の学校は(親が口出しすると、部でたいへんな目に合うので・・・)意外と目をそらしているの、ちゃんと現実を見て指導してほしい。</p>
<p>高校生も、自宅近くの自治会等に顔を出し、お手伝い等、参加し、学校にも、その地域の方を招待した方が良いかと思えます。</p>
<p>何を買うにも高い。高給取りか低所得以外の、中間層の負担がかなり大きいと感じることが多い。</p>
<p>子育て世代において、就学支援などの制度はあるが、住居費などにも、支援制度等を考えてほしいと思います。多子世帯などは、学習においても勉強部屋が必要な為、経済的にも家庭での負担が大きいです。</p>
<p>医療費の現物支給を早急にお願ひしたいです。母子世帯の家賃などの問題を考えてほしいです。給付型の奨学金も、手続きは簡素化してほしい。</p>
<p>今後の人生を生きていく上で、一番大切な事は、①この世に存在するルールを守る②協調性③自発性。成人までの期間に親として、上記の事は育てあげ、その中で、自分のやりたい事、興味がある事に取り組んでいてもらいたい。お金がない事や、学歴がない事だけが、社会で生きていく術ではない。”考えて、行動する力を身につけると自然と人がついてくる”</p>
<p>母子家庭です。お金のある人、無い人(必死に働いても…)の格差が大きすぎます。沖縄は全国でも”最低賃金”だというのに、物価が高すぎます!! 夢が持てません! 車社会なのに特別措置もなく、ムダで何の役にも立たない”車検制度”に腹が立ちます。色んなところで観光客が高待遇である事が悔しいです。教師は「塾に通わせる必要はありません。学校、放課後をどんどん利用活用して」と必ず言いますが、子供が補修を願うと「会議だから…」等々、これまで一人の教師も行ってくれた事はあります。本末転倒!! ムダな行事が多すぎるからです!! お願いします。是非「沖縄ならではの!! 独自の県づくりを!!」</p>

<p>母子家庭で経済的にきびしく子自身より大学進学を強く希望しているため給付型奨学金を必要としています。いつかそうできるでは無く一日でも早く受入れが出来る様にして頂ければと思います。</p>
<p>母子家庭の為、いろんな制度や支援を受けさせて頂いています。とてもありがたいと思っておりますが、日々の生活は送れてますが、子供（2人）の将来の事を考えると、不安になるのも事実です。今回のアンケートの内容には、親の就労、家計に関する事が多いですが、それらは数字で表わす事は出来ませんが、その数字から<親>や<子>の<心労>は読み取りにくいものです。アンケートの結果がどのように生かされるかは、研究所の方々にかかっていると思います。大変だとは思いますが、ぜひ、子供達が安心して勉学出来る社会に近づけて頂ければと思います。</p>
<p>母子家庭の為、今後子どもが専門学校へ進む事を決めてるのですが、母親の収入のみでは行かせる事が出来ないのが悩みである。</p>
<p>支援を受けている方の調査をしっかりとやってほしい。支援が本当に必要な方には支援が行き届いておらず、支援のおかげで豊かなくらし（ぜいたく）をしている方がよく見受けられます。子ども達には、家庭での豊かなくらしを口止めしたりして、「こんな支援の仕方でもいいのだろうか」と思います。親の意識改革をしていかなければ、沖縄の未来は危ないと思います。「自分さえ良ければいい」そんな風潮をなくしていくには、どうすればいいのか。県の教育施策に期待します。いつもお疲れ様です。</p>
<p>私達は二人で一生懸命働き子供達を育てています。時間的にもかなり子供達に負担をかけたり、スマホを我慢させ、生活費、貯金等将来の事も考えずいたくはしないようにしています。現在の日本は低所得層の負担軽減に重きをおき、税金は働く人達から集め、このままいくと就労意欲が低下するのではないでしょうか。もちろん低所得者層への支援が必要ないとは言いませんが、お金の支給以外免除以外の方法を検討する必要があると思います。補助を受けなければ損、という考えが広がると働く人はつぶれてしまいます。</p>
<p>子供の数に関係なく収入のみで税金など公共の負担が統一されているのは、生活苦につながっています。1人（母子家庭）でも保育園の入学金月謝料など収入で負担が重くなる。子供の数は何も関係ない感じがしてなりません。</p>
<p>生活はギリギリですが、子供を進学させるとなると2人目、3人目は親の負担が大きくなり難しい。子供もアルバイトはしていますが、奨学金を借りないと進学はきびしい。専門学校の学費が高い。国公立を受ける（合格する）為には、（もちろん1番は本人の学習努力によりますが…）高校の時に予備校に通うのが合格に近くなると思いますが、予備校に行かせる余裕がない。子供がアルバイト（バス代、昼食代、携帯代のため）をしていると、（国公立めざしての）学業に専念できず、専門学校、私立に選択肢が多くなり、進学費用がかさむ。</p>
<p>父子家庭は数字では見えにくい辛さがあります。父子家庭にも救済をお願いします収入がある程度あっても住宅ローンや公的支払いを1人でしないといけないし家事のやりくりも上手く出来ないから、支出が多く大変です。宜しくをお願いします。</p>
<p>高校の授業料免除は、ほんとうにありがたいです。沖縄は、所得が低いのに、食料（野菜、くだもの、他）は、本土と変わらないか、それ以上の値段。なので、沖縄の子どもたち、かわいそう。栄養不足から、心のやせた子どもになってしまいそう…。食育を考えてほしい。本土へ進学するのに、沖縄の子は高いお金を使うから大変だと思う。</p>
<p>県営住宅など優先的に入居出来る様にしてもらいたい。部活などの会費の援助などの取り組み、学生服、体育着などの援助などの取り組みをして欲しいです。</p>
<p>世帯の収入だけ見ると、十分ゆとりのある生活をしているように思われますが、主人、長女が別々の県での生活、つまり、3つの家を賃貸しているので、住居費だけで、収入が大半なくなります。そこまでして大学に通わなくても・・・と言われますが、子どもたちの将来の為、できるだけ、希望の所へ進学させようと努めています。高校も、修学旅行なんて、私の頃はほとんどの学校でやっていなかったのに、今では普通にあって・・・金銭的に苦しくても周りと同じにさせたいと、また無理をして・・・その旅行も意味のあるものを感じなかったのが、希望者だけとかにしてくれるといいです。</p>
<p>今現在全く困っていないので別に・・・ですが、バス代が他県に比べ異常に高いのはいかなものかといつも思っております。高すぎるので車の送迎をしている方々がいるのであれば、非常に社会としてなってないと思います。改善の余地ありと思います。</p>
<p>団地を申し込んでも、毎回はずれて、高い家賃を払っている母子世帯は、必ず入れるようにしてほしいです。両親そろって、収入のある人が、団地に入っている。それは、おかしいと思います。それと、扶養手当が、18歳までなのはなぜ？大学進学して、お金が必要な時に、手当がなくなるのは、大学に行くなどと言う事なのでしょう？ちゃんと、働いて、税金も、取っています。本当に、この日本どうにかしてほしい。</p>
<p>収入額だけみると生活に余裕があるように思われるかもしれませんが、老人2人を抱えて、私の収入だけでは、けっこう厳しいです。シングルマザーに対する何らかの制度（シングルファザーも同様）が充実すると助かります。</p>
<p>貧困家庭が多く見受けられる沖縄。地域と連携して相互扶助出来るように持っていけたら良いですね。例えば、公民館の活用、児童館の活用等。学習スペースや、調理補助等も出来たら、勉強する習慣や、自立する意識付けにもつながると思います。</p>
<p>病気の為無職で生活保護制度を考えたいと思います。</p>
<p>5年前前に夫と離婚、母子家庭となりました。2年程は手当もいただいていましたが、別れた夫の精神的不安定により、子供達の意見を重視し3年程前より同居生活しています。その際、事実婚となり、手当は無しになりましたが、前夫の不安定な就労状態が続く結果、母親である私が負を行うことになり、生活がいつまでも安定しません。夫側の親族からの支援もなく、只、毎日パートのかけもちで生活している状態です。事実婚で手当が0円、医療費の支援も無しなのは、かなり厳しく思います。色々な人達も居るかと思いますが、どっちにもつかずで生活している母子家庭もあるのを知って下さい。前夫は受診はしてはいませんが、心の病気だと思われます。子供達にDVこそ無いですが、ひきこもり→自殺等を子供らが心配し、今の状態（暮らし）になってます。どうしようもない状況がある事を知ってほしく、乱筆ですが…</p>
<p>寮生活なので、面会の際、遠方から来ているので、その都度、ホテル等の宿泊先が必要なので、何かしら補助があれば助かります。寮では、長期の休みの際は、閉寮になるので、部活や塾へ通う事が難しく困っています。それは、日曜、祝日に食事が出来ないのも困っています。改善して頂ければと思います。</p>
<p>親子ともに母子世帯で同一生計であっても家賃、水道光熱費以外の子どもの学費に関わる事は別々になり、娘の生計内容はあまりわからない。</p>
<p>3人の息子がいて、9年前に主人が死別しています。上の2人は奨学金を借りて大学へ進学しました。卒業後、借金を抱えて社会に出る状況は親としてとても心苦しく感じます。自分の力で返済していくのを頼もしくも感じますが、長い返済期間を考えると結婚や恋愛に対しても消極的になっているような様子も見受けられます。給付型の奨学金がもっと広く多くの子供たちを受け入れるようになればと望みます。</p>
<p>離婚した時は不安でいっぱいでしたが、PTA や親戚に助けられ高校まで入学できました。いろんな制度を受けようと申請しましたが、課税世帯と言うことで受けることができませんでした。非課税世帯は非課税になるように申告している方もいます。制度のあり方を見直してほしいです。</p>

<p>今も元夫の借金を支払いながら生活しています。早く楽になりたいなあ。たくさんさんの調査が幸せにつながるとういすね。ありがとうございます。</p>
<p>支援制度があっても、手続きが分かりづらく利用しづらいです。母子家庭の上、仕事が正社員ではなくパートのため1ヶ月の収入は低いです。生活面の現状を見ているので、本人は進学ではなく就職を希望しているのかもしれませんが。親としては申し訳なく思っています。支援制度等、もう少しわかりやすく負担のない、返済義務のないものになるようにお願いしたいです。</p>
<p>一人親世帯に対して子供がアルバイトをせずにのびのび生活ができる位の支援があれば、進学もあきらめることなく勉強させることができるのに…。</p>
<p>高校受験の時、子供を学習塾に通わせたかったのですが、母子家庭で余裕がなかったので通わすことができなかつた。親の収入で子供の勉強の面でも格差が生じるので、教育費の面で苦労している。負の連鎖を味わって欲しくないで何とか大学まではいかせたい。大学の学費がかかりすぎるので大学費用の負担を軽くしてほしい。</p>
<p>家族の携帯代金について。子供はお友達と同じように加入しているプラン等にしており、格安スマホは考えておらず毎月の出費が大変です。私は以前大病での支出があり預金も少なく困っております。子供たちの進学を1番に考えていかなければならないのはわかっておりますが、毎月の支出を考えると、日々の生活でいっぱいいっぱいです。すべての子供が悩まず進学できればと思います。そのためにも、毎月の携帯代金（通信料）などが安くなることも望んでおります。</p>
<p>母子家庭世帯に対し、返済なしの奨学金を増やしていただき、子供たちの進学に力を貸していただきたいです。こういう状況だからこそ、学ぶ意欲が大きいです。よろしく願いいたします。</p>
<p>沖縄の大学では無い歯学部、薬学部等の学科を沖縄に作って欲しいです。子供には、お金の負担をかけたくないのですが子供の進学の夢を叶えるためには、お金がかかりますので、沖縄県で無利子の奨学金を作って、人数も多くそして将来は沖縄県のために働く条件にした奨学金制度を作ってください。今は自分の子供を教育するのにいっぱいいっぱいです。人の事は考えられませんが、子供は社会の宝です。皆が安全に教育が受けられるようにと考えています。</p>
<p>夫の収入は十分のはずですが、子供が大学院、大学、高校も寮に入っており4世帯となっています。住宅ローン、教育ローンを借りてしのいでいます。子供たちの奨学金返済、定年を間近にし、返済の不安が大きくなっています。</p>
<p>子供の母親とは死別、父親はアルコール依存症で無職のため、経済的及び精神的にも子供の養育不可なので、現在は伯母の元で生活しています。（今年3月から）児童手当・特別児童扶養手当は7月/8月分からは伯母が受け取っています。</p>
<p>高校2年生と1年生がありますが、2人とも大学進学を考えております。上の子は貸与型奨学金と貯蓄で学費（四年制大）を支払ってきましたが、下の2人に関しては貯蓄が足りないで今後、学費の負担をどのようにしていくか、頭が痛いところです。1人親世帯で大学へ3名通えるという事は大変恵まれているとは思いますが、外国のように医療と教育に関して無償化していける方向で国の方針が変わっていけば、貧しさから抜け出せる機会を持つ子供が格段に増えるのではと思います。重要な医療や教育に税金を使わせていただけたら、発展していけるのではと考えています。このアンケートの意見がぜひ国会で取り上げていただけたらと望みます。</p>
<p>教育費は削れません</p>
<p>子供手当や臨時給付金など、とても助かっていますが、実家にお世話になって家賃が出なくても、国保が払えなくて遅れている。親からの支援がなければ、子供も小さく働けないので、父だけの収入じゃ足りない。今後は、実家からも出ないといけない。身体もあまり状態が良くないので、小さい子もまだ3人いるので今後の心配はある。本当に必要なところにお金が行くよう、（子供手当なら、学校給食費や、交通費とかに、その次に遊ぶものとか）給付し国保などにも支払いがいくようにしてほしい。高校の奨学金は、少ないので、部活に必要なものが不十分になってしまう。特に、遠征などがあると、周りからの支援がないと行かしてあげられない。</p>
<p>高校入試、中学校入学、本や制服、教科書、いろいろ購入するのが大変な時もありました。母1人で子育てをしている人や、父親1人で子育てをしている人はすごく大変だと思います。そういった支援もあったらいいかなと。両親が子育てしていても、制服代はすごく大変でした。中学校の制服、高校の制服、卒業したらサイクルできるといいですね。</p>
<p>勉強できる環境</p>
<p>夫婦公務員で、世間一般ではゆとりがあるというイメージもあると思います。しかし家を求め、子供たちを県外（うちは私立でした）に大学等、進学させてみる事は、生活費の高さ、家計簿を圧迫する現象がありました。子供はたくさんいたほうが良いと思う反面、ある一定の収入のない家庭に生まれた子供たちは、収入が少ない場合は、教育ローンの借り入れも難しいと思われます。子供の年齢が上がるに従い、進学にはお金がまとまって必要になることは、どこかで意識させ、自助努力することに加え、学費等の軽減など社会の仕組みで何とかならないかものかと思います。ただ貯蓄もしたのですが、我が家は足りませんでした。ただやはり子供たちが県外で進学し、かなり学びは大きかったと親子で感じています。</p>
<p>母子家庭なので、もっと、母子手当を増やしてほしいです。</p>
<p>母子家庭です。（3人）教育を人並にさせてあげたいために、土日休まず働いていますが、それでも十分な教育をさせられなくて、持っている力を伸ばせずに申し訳なく思うが、これ次第も人生で強みになって、これからの人生でプラスに転じるように話しています。このようなアンケートに正直に答えています。是非、いい教育にこのアンケートが使われることを切に思っています。半分、期待していない私もあります。なぜなら、行政の給付なりあったのですが、私の所得が少ないために貸してくれず、また話すら分かってもらえないことが幾度とあって、絶望的でした。親が所得がないから、そのための制度なのに、担当者の上から話し、人をバカにしたような態度に悲しく、あきらめるしかなかったです。（なので、貸してくれなかった借金は、よその高いところからの借金になっています。）</p>
<p>離島の離島というところで、進学に厳しい点を多数考えさせられます。兄弟姉妹の中での負担は下に来るにつれて大きなものになりますが、子供のしたい事、夢を応援する気持ちは、親として持っているもので、何とか無事に進学し、就職までたどりつけてもらえればと常に思っています。少しでも負担を軽減出来るような、制度でもあれば良いなど考えるこの頃です。</p>
<p>母子家庭になってしまったのは私個人の都合ですが、子供が将来のために必要な大学に進学できるような支援があれば助かります。現在、生活自体自転車操業状態です。先につながる貯金が全くできない現状です。なかなか収入も上がらないので、子供が高校、大学と進学する上で、様々な支援等があるととてもありがたいです。</p>

◆自由記述 保護者◆

離島に住んでいる子供たちは、本土や本島で大会や試験等、何かとお金がかかることが多いので、航空チケット代や宿泊費の支援、または免除等の策があると子育てにかかるお金の負担が減って親としてはとても助かります。子供も、外へ出る機会が多くなり、様々な刺激や経験ができ、成長の可能性も広がるかと思えます。
民間企業で働いている父子家庭には、時間を空けるのは難しい。時間を開けると給料に響き、子供にしてやれないこともあるので、行政はもう少し考えて欲しい。
母子家庭（父子）家庭の子供たちに国からの補助をもう少し充実させて欲しい。進学へ進めるように母子・父子家庭でも、進学できる（安い）環境をよりよくしてほしいです。
世帯が一緒だとしても同居の祖父母が受給しているものが、生活に反映しているとは限らない。好意で支援してもらえとしても定期的でない限りはあてにできない部分も多いのでその点の質問事項も必要に思います。
世帯が一緒だとしても同居の祖父母が受給しているものが、生活に反映しているとは限らない。好意で支援してもらえとしても定期的でない限りはあてにできない部分も多いのでその点の質問事項も必要に思います。
今、現在は、自営業的な事をしているので、今年、来年とか継続的な金額、年取ではない。勉学に意欲的な子は、お金の心配をすることのない社会が望ましい。

◆保護者◆ その他

見えない負担は実家への仕送りや実家の借金返済（24万借入有）等々、あると思います。今の時代、情が薄いと思われるがちですが、見放せなくて無理している家庭もある程度いると思います。今回のアンケートには無かった物です。
私どもは、共働きであり、県内ではめぐまれている方であると思いますが、それでも4人の子育てにはお金がかかり、大学などを卒業させるまではぎりぎりの生活となります。すべての学びたい子供たちが、自分の将来に夢をもち、いつでもその場所を与えられるよう県の方にはがんばっていただきたい。子供をりっぱに育てれば、沖縄の将来にとっても明るい未来となると思います。いつも、子供の貧困に心をいためております。優秀な子供たちは、いずれすばらしい納税者になるのです。子どもを大切にする県となって下さい。
私も子供の頃は、貧困であったのですが、自分の生活の範囲内の進路を考えました。結果的にそれが将来に対する意欲となって、現在は比較的、ゆとりのある生活ができています。高校時代、本土の大学に行ける友人や浪人生活がゆるされる友人を見ていて、うらやましいと思う事はありませんが、現状を考えると、しかたないと受け入れて先に進みました。生活の様子は様々です。何もかもが人と同じではできない現実を受け入れて、自分でその先を考える力をつけるべきで、経済的理由があっても、その中での進学の選択をアドバイスする事が、将来の生活に役立つと思います。安易な支援が貧困の解決とは思えません。
このアンケートは昨今の沖縄の貧困を考えるものにつながるものかと思われるが、アンケートの項目が細かく多すぎて、果たして本来ほしい情報が得られるのだろうか疑問である。解答率や解答者によって、結果が左右されるので、貧困にあえぐ家庭の生の声をきけるようなアンケート用紙（もう少し簡易なもの）が望まれるのではないだろうか？（一意見です）
国は防衛費等に予算をつぎ込むのではなく、将来の国を担う子どもたちに投資をしてほしい（フィンランドのように）。シンガポールでは子どもに熱心に教育を受けさせる保護者が多いとか。シンガポールのようにとまではいかないが、全ての子どもたちが世帯の収入に関係なく等しく教育を受けることができるような制度（学校・塾も含む）を早急で作って欲しい。
家族の幸せのために夢をもってがんばります。国民全員でより良い社会をつくっていきましょう。大変おつかれ様です。お互いがんばりましょう！！
より良い明日が来ますように。
何も期待していない。どうせ何もしてくれないならアンケート書いても意味は無い。
最近よく耳にする子供の貧困とは…社会の貧困ではないかと思えます。私たち家庭は、現在の世帯収入では悪い方ではありませんが、あまりにも子供の教育費がかかりすぎて、日々ギリギリの生活です。国を良くする事は子供をしっかりと教育すること！と言う割には、国は教育に対してあまり重視していないような気がします。1番お金がかかる高校、大学時により生活が苦しくなる上、健康や未来の不安も出てきます。子供たちがお金を気にしないで進みたい道に行けるように、教育に関するより良い制度を考えていただきたいです。
何のための質問なのでしょう？一応答えはしましたが何か変わるのでしょうか？今の高校生たちが支援受けられるようになったらいいですね。
国の予算を教育費にまわしてほしい。
何を書いても、どんな意見を言っても、何も変わらない。行政も政治も所詮何も変わらない。だから書く意味もない。
そもそもこの調査のフィードバックは？どういう結果になって、どのように役立つのか？それを確認するのはどうするのか？いつまでに集計しいつまでに公表するなども提示が必要？どこかに書いてますか？少なくともいつまでに集計終わるのか明確にするべきではないか？

自由記述
生徒

◆生徒◆ 学校生活に関すること

自分は、スポーツは好きです。けど、部活と決められたものが嫌いです。ぼくは、キャプテンをやりたくないのにむりやり決められました。しにかんイライラしました。部活やめたいです。先生と一人の同級生が嫌いです。やめたいです、、、、
学生のいじめが、多いニュースがあります。学校の方は「そんなのなかった」の発言をした。先生を攻めるわけではないが、なぜ、隠すのだろうか？学校方針のためか？それとも、学校の評判のためなのか？ニュースがあるたびに考えます。いじめた側は、「じゃれていた。」「あそんでた」のいってんばり。そうすると、いじめは、人が死なないかぎりいじめではない、と断定される。いじめてなんですか？
私の学校は部活動ばかり優先で、文武両道をかかげるわりには、進学の実績は全くないし、いろいろ不満に思うこともあったけど、このアンケートで学校側に見られることがなく、本当の事が書けてよかった。
もっと進路について学校で考えたり、話したり聞いたりする機会があればいいと思います。
いじめはあまりない、と書いたけど、どこまでがいじめの範囲か、よく分からないです。友だちは私のことをとても、イジります。それで、私はその時はノリで笑って平気なふりをしてるけど、家では泣いたときもありました。これはいじめの範囲に入るのですか。自身がイヤだと感じたらいじめなのですか。
学校に行きたくない。担任の先生と性格があわないから声きいたり顔みたらよけい学校に行きたくなくなる。
どうしたら、誰とでもふざけ合って相手を楽しませることが出来るのだろう。みんな私と話しているときこちない。何で？私のことが嫌い？ああ、楽しそうに話している人がうらやましい。あんなに笑って、部活でも結果を出して、、嫌なら、嫌って言ってよ。はやく拒絶してよ。はやく！はやく！私は都合のいい女じゃない。話しかけるならいつでも話しかけて・・・！中途半端はいらない。
0校時の必要性を感じないまま高校二年生になりました。何か意味があるのですか。寝ている生徒も沢山居ます。書いても仕方のないことでしょうか。
部活動の仲間という事が好きです。みんなと笑っている時が一番好きです。クラスの仲のいい友達2人（中学校からの）という事が好きです。3人だと、自然と笑えます。私には、支えてくれる人がいっぱいいます。でも、チームメイトはどうだろうか。みんなと一緒にいたい。みんなで笑いたい。みんなですべての目標を目指したい。みんなの事が大好きであふれています。
授業のスピードが速くてやる気をなくす。やらないといけないとはわかっているが勉強したくない。周りの人がつかえない。高校に入って元気をなくした。授業をもう少しゆっくりしてほしい。できれば高校を四年間にしてほしい。もっとゆっくり勉強したい。
学校の登下校で制服がいやだ！部着の方がいい！
生徒それぞれ考え方が違うのに、同じように平等に接するのが正しいと思っている先生がたくさんいる。これから先いじめられても学校の先生には話さない。話したくない。理想とかキレイ事を語るんじゃなくて、現実と心構えを教えてください。道徳の授業も小学年低学年ぐらいでとどめておいて、その分マナー教えてください。先生に受け入れられそうな答えを考えて紙に書く道徳の授業なんて本当無駄。
英語が将来必要なもの分かるけど、他の教科だってやらなきゃならないし、テストとか模試でも5教科勉強しなきゃいけないんだから、英語の課題とかテストとか過剰に出さないで欲しい。テストをやれば頭が良くなるわけじゃない。
担任の注意の仕方が理不尽で威圧的
クラスが上辺すぎてキツイです。1年に戻りたい。
友だち同士の仲立ちむずかしい。仲悪くなった2人のどっちが正しいとかじゃなくて折れ合ったらいいのに・・・とか思う。人間関係むずかしい。
閉塞をなくしてほしい。今はおじさんの家に行くけど帰る時は島なのでバス代や船代がかかる。
私は、中学校の頃、家も学校も嫌で、変わりたいとすら思わないような人間でした。でも、高校に入ってから、自分にできる事、やりたい事が見つかって信頼できる人達とも会えたので、変わることができました。だから、どんな人でも変わるチャンスはあると思うし、自分の将来をつぶすような事はしないでほしいです。悩んでいる学生とかが、もっと気軽に、相談できるようなサービスとかあったら、もっと変わるの早かったのかなとも思います。学校のアンケートとか、電話でSOSとか、そういうサービスもすばらしいと思うんですけど、もっと身近で支えられる方法もあるんじゃないかな？と思います。
校則でアルバイトを認めてほしい。担任との相性が合わない。隠れてアルバイトをしているけど、堂々と働きたい。おどおどしてバイトしたくない。
学校の授業の質が悪いことをよく感じる。学校のいってることと、やることが矛盾している。だから、学校に行きたくないと思うことが時々あるに回答した。
沖縄の夏は暑いんです。クーラーのストップの日が、10月の中ごろってはやいと思います。みんな、暑くてうまく勉強もできません。11月まではとか、25℃以上とか、もっと融通をきかせてほしいです。
部活が楽しくない。チームメイトは最高だけど監督との意見が合わず楽しくない。勉強、学校は安定して楽しい。チームメイト大好き。
私はサッカー部に入学して、とても楽しい毎日を過ごしていますが、クラスに1人だけしかサッカー部がいないので少し寂しいです。
勉強がムズカシイ、、
高校は楽しいことも沢山あるけど、そのぶん辛いことも沢山あります。私はびびりだから周りの人はまずみんな怖いんです。でも私の通う高校は優しい人が多くて本当に良かったです。だけど、進学のこととか、ハードすぎる日も多くて大変です。学校の功績よりも、生徒が本当に楽しんで楽しみできるほうが優先すべきだと思います。
・高2から高3にかけての教科選択の時期をもう少し遅らせることはできませんか。（今年、私の学校ではたしか6月頃でした。）高2の6月はまだほとんど勉強していないという教科もあるので何を選擇していいのかわかりません。教科選択したあとに選擇してない教科の勉強が楽しくなってきたり、来年がとても不安です。・日付でクーラーをつける時期を決めるのではなく、体感温度で決めてくれませんか？期間中でも涼しい日はありますし、期間外での暑い日は授業に集中することなんてできたものではありません。休みにして自習にした方がマシです。・大学進学にかかる費用が高額で親に経済的にきびしいと言われてます。返済不要の奨学金制度をもっと手厚くしてくれませんか。

正直、学校の授業だけで内容全部理解できない。塾の先生と比べるのもなんだけど、塾はとても分かりやすく、授業をいつも楽しみにさせてくれる。学校の教師みんながみんな、分かりづらいわけではないけど、教師の大半が自分の教える範囲をただこなせばいい感がでてる。それと、大学の情報とかも教えてほしい。塾に入っていなかったら、情報も入ってこなかった。もう高校では道徳的なことはいいから、授業だけに気を遣ってほしい。
文武両道を掲げる高校であるのに、最近は「文」よりも「武」に集中しているような気がする。テスト1週間前の時には大会が近くても部活動は控え学問に集中すべきだと思う。
予備校に通っていても、成績が上がらない。勉強時間を増やしても点数はのびない。両親からたくさんのお金を使って、本当にこのままで良いのか不安になります。どのようにしたら上手く文武両道できるでしょうか。
部活休みの日をしっかり確保してほしい。
学校がたのしくない。毎日帰りたと思っています。
私は部活の事は、いつも心配で悩んでいます。
私は動物関係の仕事がしたいです。中学生の時、塾長にどうせ目指すなら上を目指せと言われ、獣医目指そうと思いました。獣医になるなら県外の大学に行くしかない(沖縄に獣医大学がないから)と言われ、上のほうの高校を勧められました。でも、私は動物と触れ合いながら勉強がしたくて農業高校に行こうとしたけれども、友達、親、先生たちから猛反対を受け、自分が間違っているような気がしてきて、結局上のほうの高校に行きました。それは、勉強、勉強って感じて全然楽しくなくて(今は楽しい。勉強は辛いけど)しまいには担任の先生に動物関係つきたくて、勉強はあまりしたくないなら農業行っほうがよかったんじゃないか、とまで言われ、あんなに反対されてここに来たのに次は全く逆のことを言われとても泣きそうでした。でも、今更どうしようもないので、私は精一杯頑張ろうと思ったのですがどうしても頑張れなくて…。今では動物関係の仕事をしたいかどうかまでわかんなくなりました。やっぱり人生は自分のやりたいことをやったほうがいいなと思います。もし農業高校に行っていたら…。と考えてしまいます。周りに反対されても自分のやりたいことをやって失敗したならそれでいいと思うし、やり直せるし…。失敗することで笑けることもあると思うから。人生無駄な事はないと思うから、今の高校でもがんばってみます。長々とよくわからないこと書いてすいません。
学力さえあがれば最高なんですけどね。
早期講座、夏季講座(長期休み中の講座)をなくして欲しいです。学校にいる時間が長すぎて…。
周りの人は、とても仲良しの友達がみんないて、学校以外でもよく遊んでいたりLINEをしているのに自分は、いつも浅く広くの付き合いで親友って呼べる位仲の良い人いないし友達って思っているのは自分だけなことでこわくなることもある。毎日LINEしていてすごく仲良くしてくれる人がいるけど、男子だし学校違うし、友達って言うていいのかわからない。今自分がいるクラスは3年間メンバー変わらないけど、高校生活も半分過ぎたのに、まだ友達ができなくて、すごく不安。
だからいけない。そんな言葉をよく言われた。高校生だから必要以上にしっかりすることは無いのに、周りの大人は教室でのいじめ、不登校をそのままにしようとしている気がする。自分の周りに今はいないが、前不登校の子がいた時、その子について説明もされず、「とりあえず一緒にいて!」と言われた。そんな言葉に相手は、落胆し、私は大人に失望した。人がこわかったその子は、学校の前に来ると涙を流しながら教室に入ることを拒んだ。不登校の子供を学校に戻ってこれるようにする事は大切だと思う。しかし、何の知識もない高校生が下手に動いたら、その子の命はなかったかもしれない。もっとそのことについて、詳しく正しいことを学校で教えてほしい。とっても大切なことだから命を救えるのは友人しかいないときに、その事は必ず役に立つから、不登校について学校で教えてほしい。
学校で友達が1人しかなくて、友達の休む回数が多いので学校で1人だから、どうすればいいんだろう??1日がとっても、つまらない。話す友達を増やすには?
自販機を増やして欲しい
クラスが楽しくなりますように。辛い。
学校側が進路についてもっと活動するべきだと思う。
担任のことなんですけど、生徒の事を罵ったり嫌味言ってきたり、一時は本当に学校にさえ行きたくなかった時期もあったくらい精神的にしんどいです。なんでこんな人が先生と言う立場に立てれるんだろうとも思いました。どうにかしてほしいと言うわけでは無いですが、今私たちが感じている現状を知ってほしいです。何のアンケートかわかりませんが、何かの役に立てばと願っています。
担任が生徒に対する態度が不愉快です。
教師の授業のやり方がおかしい。授業放棄をする人もいる!!
教師って理不尽だなあと度々思う。正直言うと早くやめてほしい人ばかり。授業中に自分の人生観とか語り出して、しまいには熱くなって大声発したり怒り出したり。そのせいで授業が進むのも遅いし、もうストレスでたまらない。一方では、教室に入室しようとしていた生徒を後ろから来た教師が後ろへ引きずり追い越して入室。そして、こう言った「はい。遅刻ね。」そして、鐘は鳴り終わった。ギリギリではあったが間に合ったはずの生徒がかわいそうである。ましてや0校時だった。0校時と言っても質の良い授業は無いし、来る意味もわからない。他にもひたすら板書させる先生や、話を聞いてくれない教師。私達は何も言えない。言うとも余計悪化する。
女子の学生の場合、学校が嫌と思うには恋も関係しています。私は、恋愛相談もできる先生が欲しいです。
高校に通い始めてから思うようになっていたのですが、部活動でもその他も諸々、遠征費等もう少し出しても良いかと思いました。県や市町村からの補助があったら嬉しいです(もう少し)。沖縄の高校はとっても楽しいです。内地に行ったとき、改めてウチナンチュっていいなと思います。
学校のいじめなどは第三者の介入(警察)入った方が良いと思う。最近の先生は、先生は仕事としか考えておらず、いじめがあっても事なかれ主義で、本当は学校で解決することが1番なことだと思うが、それができていないから親が教育委員会に話をしに行ったりする気持ちもわかってほしい。先生という職業は好きでやってる人がとても多いと思うが、とても良い先生とは。まあどうせこんな書いたって横流しされるだろうけど。
勉強は嫌いだけど、部活が楽しみだし友達に会えるから学校に通ってるけど、チームメイトと同じ将来の夢を持ってから、勉強頑張ろうと思えた。

<p>私たちに教えてくださっている先生たちについてです。先生はわかりやすい人がほとんどですが、本当に授業をちゃんと聞いてもわかりづらい人が数人います。しかもわかりづらいと言っているのは、私だけではなくクラスのほぼ全員です。その先生の言うことに矛盾も多く、答えを言ってくれないので正直授業の意味がないようにさえ思います。学力の向上のためにも、先生方の授業方式を今一度確認し直して欲しいです。</p>
<p>極端な自分の意見を生徒に押し付けたり、保育園生でもできるなどとけなしたり先生がいてとても不愉快です。</p>
<p>私の家族は両親ともに揃っていますが中学、高校に進学しても圧倒的に友達の片親率が高いです。友達自身はどう思っているのかわかりませんが、気を遣って家族の話などを軽くできません。</p>
<p>進学校に通っていますが、中学と違い親が公務員や社長、医者など裕福な家族の人がとても多くて経済的な格差は、子供の学力にもつながるような気がします。大学進学のために、塾に入る人はいると思いますが、60万とかするののを聞くとなんだか嫌な気分になります。</p>
<p>特にいじめや嫌なことがあったわけではなく、むしろ特に楽しみがないことで、学校に行く意味があるのかと思ったことがあるので、学校での悩み=不登校とはならないと思う。</p>
<p>授業でわかるように（みんなが）ゆっくり丁寧に進めて欲しい。</p>
<p>他の学校を見ていたら、楽しそうだなあとと思うことがある。せっかく楽しい行事なのに、厳し過ぎると思う。高校は義務教育ではないのに、中学校と全く変わらない。</p>
<p>前の校長先生戻ってきてほしいです。</p>
<p>日光過敏症で体がついていかず、年内に退部するつもりだけど、部員に何を言われるか不安で退部できるか心配。</p>
<p>勉強が難しく、分からない。でも、個人的に相談すれば、教えてくれる先生もいるので有り難い。友人関係で悩む時あるけど、信らいてくれる友だちがいるので今のところ大丈夫。部活動がとても充実していて、ほとんど部活するために学校に来ていることもある。将来のために今をがんばる。</p>
<p>学校のトレーニング施設が充実してほしいです。</p>
<p>学校生活は楽しいし、家族も好きだし、友達もたくさん遊んで、部活も楽しいけど勉強だけがうまくいかない。将来が不安で仕方ない。</p>
<p>部活で疲れて、学校休みたいと思う日はあります。でも部活動も学校も行く前は行きたくないけれど行った後は「楽しかったなあー」とか「今日は、ちょっと運悪かったなあー、明日はもっといい日にしよう！」と思うことが何度もあります。学習面は、ついていくのに必死です。</p>
<p>部活も学校も人間関係も疲れた。</p>
<p>普通に楽しい人生です。学校大好き！</p>
<p>アルバイトを自由に使いたいです。自分の高校は、親が公務員という理由でアルバイトができません。親が公務員だからといって家の家計にゆとりがあるわけではないです。むしろ苦しいです。自分の将来の進学にも影響が出ています。なんとか沖縄の高校生は基本アルバイト禁止というのを変えていただけないでしょうか。（この事は学校側に自分が特定されないようにしてください。）</p>
<p>別にいじめられたりしている訳ではない。ただ学校へ行くのがしんどい。将来への不安が多い。もう少し、大人の方々が対応してくれればいい。おどし、忠告、そんな事だけではなく、もっと生徒と向き合い、はげまし、指てきする。そんな大人がいれば、不安は少しでもかきしょうされるだろう。忠告などだけする先生方は好きではない。</p>
<p>高三に上げられるか心配です。</p>

◆生徒◆ 家庭の暮らし・現在に関すること

<p>自分の家庭は、母だけなので、将来今の学校を卒業して、自分が行きたいと思っている大学や専門学校に行けるか心配です。もし、行けなくて、すぐ就職ってなったら、どうしようって、たまに思います。少しだけ、将来がこわいです。</p>
<p>両親は離婚していますが、定期的に会ったり電話もしているので、会話は交わっています。誰かが持っているものを欲しいとはあまり思わない。被りたくない。母はあまり考えずにアンケートに回答していますが、私は喘息持ちで、つい最近発作を起こしたので、あまり体調は良くないです。当の母も血圧が高いので、そこまで良くないです。素晴らしいほどに楽観的なだけです。また、父も体調を崩し入院しているので、この1週間は、楽しいということはあまりありませんでした。</p>
<p>自分が良く分からない時がある。人間関係も人に合わせなきゃいけないことの方が多からつかれることもあるけど、生きていることは楽しい。このアンケート、いいと思いました。</p>
<p>僕はいつも元気で。</p>
<p>親は離婚していて、母とおばあちゃんと3名で暮らしていますが、母は身体障害者でおばあちゃんは認知症で、母がおばあちゃんをいつもみています。それで、あまり家庭も裕福ではないので、大学に行くのにお金もないし、生活保護を受けたいと思っても、そしたら、大学には行けなくなるし、そこをどうにかしてほしいなと思います。自分は大学にも行きたいし、お母さんも助けてあげたいのに、どうすることもできない。アルバイトをしてお金をためようと思っても、バイトしてる分、塾に行く時間も限られるし。どうにか、返さなくてもいい、奨学金を作ってほしいと思います。貧乏人は大学に行くってことにしかうけとめられません。</p>
<p>とりあえず稼ごたい</p>
<p>私の母は女で一つで子供3人を育ててくれています。けんかをする事もあるけど、母はいつも笑顔でふるまっています。私はそんな母を少しでも楽にさせたいと思います。今回のアンケートに回答できて良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>頑張っても報われない時もあれば、人のためと思って一生懸命しても、認められないことがよくあります。そのせいで、よく無視されたり疎外感を感じる。でも、自分の性格のせいだからなんとも言えない。しかし、自分は皆から「ありがとう」の一言をもらえるようにこの孤独と怖さと戦いながら頑張っていきたい。</p>
<p>おはようございますが得意です。</p>
<p>たのしくないです。</p>

親の再婚相手が嫌いで、一緒にいたくないが、どうすることもできない。
今とても悲しい気持ちです。うまくいかないことがあります。辛いです。
人生たのしくない
毎日が楽しくてがんばれる。
自分はちいさい頃から一人でいる事がありました。それは、今でも一人でいたい事があります。一人の時に暗闇の中で、雨の日に曲を聴くと心が落ちていて楽な気分になってきます。あと、陽歌と一緒にいる時も、楽な気分になります。(現実じゃありません。二次元の妻です。)仲間と一緒にいる時も楽しい気分になるので、自分は今、大丈夫なんだって事がわかります。でも一番幸せなのは陽歌という事が自分の一番の幸せなんです。自分は、、、いや、俺は陽歌の事が、大好きです。
何をやってもやる気が起こらないし、孤独な気がする。何も楽しくない。何がしたいかわからない。何をしたいのかかわからない。ただ自分がやることが時々すごく馬鹿らしく思え、周りから消えて欲しいと思われているような気がする。
生きていて辛い。
いろんな苦難や試練を経験して人は成長していきます。だから、ときには悩み葛藤し自問自答を繰り返すというのも必要です。私は何でも相談できる親がいて、またいつも私の心の支えとなって慰め励ましてくれる方がいます。私は本当に恵まれています。私を支えて下さる一人一人に感謝しています。今度は私がそんな心の支えとなるような人になりたいです。隣人にいつも寄り添い、何でも話を聞いて、励ましたり、ときには共に涙したり、少しでもその人の心の傷を癒せる人になりたいです。ありがとうございました。
いじめにあったり、ちょっと親と喧嘩したりしたけど、今は毎日楽しいし、充実していると思う。でも進路や、将来について、改めて考えさせられました。この調査を機に積極的に何事もやっていきたいです。
アルバイトのお金をもっと増やしてほしい。
自分が自分では無い気がして、何をしたいかわからない。
モンスターペアレントに困っています。(私の親ではなく)
どんなに家族が貧しくなっても、ずっとこの家族でいたいし、絶対に皆で協力して生きていきたい。毎日楽しいです。
金がない…
離島はなにかと不便だと思う。

◆生徒◆ 進路・将来に関すること

県内の大学の学科に音楽教育(音楽教諭)コース?みたいなのを、作って欲しい。少なすぎるから、県外に行くしかなくなる。
進学に対して経済的な面でとても不安があり、奨学金を借りても返せるか、とても不安になる。また、現在も奨学金を借りているが、それも返せるか、とても不安になる。
将来、大学に推薦で進学したいと思っているが、遅刻や欠日などが他の生徒よりも多く、少しあきらめかけていて、今から頑張ったとしても、それは意味があるのか?これから、いい結果になるのか?と考え、進路について最近とても不安に感じている。今、将来本当にやりたい仕事は何か、自分にあった仕事は何か、とても悩んでいる。
将来の夢に、就職したい企業があるのですが、県外の専門学校じゃないと難しいと言われて、親に相談すると、「うちは家計にお金が大変だから進学は難しいし県外就職は二十歳過ぎてからにして」と言われました。でも、進学も就職したい県外企業もあきらめることができません。どうしたら良いでしょうか。金銭面にも家庭環境的にも大変しているから、奨学金制度も親がダメといいます。どうしたら確実に将来の夢へたどりつけるのでしょうか。
将来の夢はあるけど、進路が決まらないことが不安。
進路に不安はつきないけど、私は今の夢を実現させたいです。夢がやっと決まったからです。ただお金がかかるとなると、この夢もあきらめなくてはなりません。だから、そこに悩んでいます。支援があれば、私だけでなく、多くの人が夢を叶えて、国のために良い働きをしてくれると思います。
親に、言われている大学とはちがう大学に行きたいけど、中々言えない。
進学でなやむけど、決め方がわからない。何があるかわからない。
進路悩む。
何の調査がよくわかりませんが、沖縄県にお願いがあるとすれば沢山ありますが、給付型奨学金をもっと充実させて下さい。民間ですか。
将来が不安です。
大学の学費が高いので安くするか、奨学金を増やしてほしい。
自分は公務員を目指していたが、高校に入り、ゲームプログラマーになりたいと思ったため、その事を親に相談したところ、自分が思っていた以上に反対され、恐らくこのままだと、とてもつまらない人生を送っていそうで、人生そのものに絶望し始めている。
今は、本当に進学について真剣に悩んでいる。友達関係はとても良好です。
貧しい国の子供達に英語や日本語を教えるすばらしい教師になる!!
自分が将来やりたい事が全く思いつかず、悩んでいます。親は医学部がいいんじゃない?というのが、自分が医者という偉大な仕事をしっかりこなせる気がしません。また、自分が将来仕事をやって自分で食べていけるのかも不安です。自分にはやりたい事があると思える人はうらやましいなあと思います。でも、そんなことを言っても仕方ないので、色んなことに挑戦して興味をもてるようになります。

自分の可能性が信じきれず、将来が少し不安。(仕事にはつけるか。どんな大人になるか。)寝る前、一日のことを振り返って、必要以上に心配をしてしまう時、少しさみしく、怖くなる。→(友達にあまりよく思われなことをしていないだろうか、そのせいで友だちが離れていかないか・・・)
本当は県外に進学したい。お金がかかるからって親に反対されました。沖縄では学べないこともあるのに最近勉強しても楽しくない。
目標がなく生活してる子がたくさんいる気がする
世帯年収が低くなくても、給付型の奨学金が受けれる制度がほしい。
無償の奨学金をもっと増やしてくれたら嬉しいです。貧困層の負のサイクル止めて欲しいです。お金がないと進学できないので。勉強も。お願いします。
自分の将来がなんとなく不安な時があります。いろいろな人に相談はしていますが将来がとても楽しみでわくわくする毎日があるのでしょうか。
このアンケートって大学の無償化の為のアンケートだったりするんですか?だとしたら、無償化になるように頑張ってくださいね。
本当は大学は県外の私立の美大に行きたいのですが、学費に加えて教材費なども高く、奨学金制度もあるそうですが、まかなえるか心配です。また、県外の大学が気に入り、オープンキャンパスに行きたいと思っても立地的な問題で、簡単に行けません。
将来が不安です。この性格で世の中生きていけるのか・・・。
私は海外の大学に進学したいと思っています。
将来の夢は決まっているのに、大学が決まらない。友人も皆違う大学で一人で不安。まず学力も足りないと思うし、色々不安。
参考書や試験を自由に受ける為に、給付型の種類・数の増加と、条件の削減を望みます。また、学生のバス無料化を希望します。
県内で一生を終えようか、県外に出て広い世界を見てから戻ってこようかと迷っている。県外の大学に進学して、県外、できれば東京で働きたいが、自分にはそんな実力や成績もなく、どうしたらいいのかと考えている。
返還不用の給付型奨学金についての情報をもっとほしいです。
もともとマヒで片手がうまく使えないから、友達と違うこともあるし、やりたいこともあまりできない。将来本当にこんな体でやりたい仕事につけるかは正直不安。
進路の事について、親とかなり合わない。謎。もはや話もしたくないし。しないといけないといけないけど。以上です。どうも。
進学のための費用が高額のため、家計の状況によって進学をあきらめる人もいるから、誰でも進学できるような制度を作るべき。
進路のことなどをもっとサポートしてほしい。
私は将来、沖縄県に貢献できるような人材になりたいです。そして今借りている奨学金をすべて返すことができたら青年海外協力隊として世界をこの目で見たいと思っています。また世界の教育関係に携われるような仕事につき、どの国のどんな子供でも学ぶことができるそんな世界にしていきたいです。夢が大きすぎて、もしかしたらかなわないかもしれないけれど、自分がどこまでできるのか挑戦してみたいです。
自分のやりたいことを見つるのが大変。勉強やらないといけないのはわかってるのにやりたくない、やらない。勉強ができないと世の中で使えないみたいな世の中に腹が立つ。自分が好きなこと(ゲーム)をうまく活かせる職業が見つけれられない。
大学進学は奨学金を使いたい、将来に対する不安がある。給付型をぜひ拡大して欲しい。
私は将来芸術家(音楽家)になるため、日々たくさんのお金を学んでいます。そのため大学に進学したいのですが、現実には自分に合った先生に就くため、どんな家庭でも私立等の高い大学に通わされたりもします。私の父は公務員で給料も良いのですが、私立に通わせる金がないと言われてしまいました。しかし、私立ではなくても医学部のようにかなりの大金が出るのです。私は留学も考えているので、さらにお金が必要になります。また、下に弟が1人いて、弟も留学を考えているので、軽く2千万を超えてしまいます。早く、日本での教育制度が改善されることを願っています。
僕の将来なりたい仕事は、僕が大人になったときにあるかわからない仕事です。それについてはかなり不安があります。将来に不安を持たずに生きている人はおそらくいないでしょうし、将来なりたい仕事以外の仕事に就いている人も多いでしょう。このアンケートは、進路や将来についての不安や問題点などをはっきり認識するのに役立ちました。ありがとうございます。
私は県外の国立大学に行きたいと考えています。母は仕事を2つ掛け持ちして土日働いて、私の大学費用と兄の予備校費用を稼いでくれています。私もバイトをして自分の大学費用のためにこつこつ貯金しています。給付型の奨学金制度をもっと充実していれば・・・、いつも思います。何とかならないでしょうか。
自分の進路で、将来何になりたいのかがはっきりとわからない。
私の周りの高校生に進学してやりたいことがあるけど、経済的に苦しく進学をあきらめる・自分のやりたいこととは違うものをする子が多いです。また片親を持つ高校生でそのような子が多いです。私も、家計が苦しいため、最悪夢は諦めて就職しないといけないかもしれません。これから沖縄を変えられる人材もいるかもしれないのに、経済的な理由で潰されるのはもったいないと思います。高校生の進学を支えてくれるプログラムを増やしてほしいです。給付型奨学金は25名で難関大志望者、さらに成績優秀者の為、ハードルが高く、本当に行きたくて実力のある子を落としかねないと思います。
嫌いな人に対しても、上手く接していける器のでかい男に、人が見ていなくてもコツコツと小さくとも良いことや努力を続けていけるような人になりたいです。そして世の大人たちもそうであって欲しいです。一人一人が前を向いて歩いていける、そんな社会を将来を願っています。
将来は不安や悩みもあるけれど、それ以上に、今が楽しいしこれからが楽しみでもあります。
時々、よくわからない不安が押し寄せて理由がわからぬまま、ひとりで沈む時がある。10代特有なのかも私はわからないが、私の周りの友達も共感している。将来の心配もたくさんある。大学(希望する)に受からないといけないというプレッシャーを感じて少しストレス。勉強との向き合い方がわからなくなる時がある。
将来についての不安があるとすれば、日本にいます。沖縄に生まれた点も大きな不安です。

航空管制官になりたいのですが、どうしたらよいか分からない。調べてみても情報が入らず、とても困っています。そのせいで航空管制官になりたいと言う気持ちが少なくなってきました。どうしたら航空管制官になれるのでしょうか？諦めた方が良いでしょうか？
進学できるようにお金を援助してほしいです。
自分の将来が心配です。
沖縄県全体ではなく、日本全体的な話ですが学生生活を送る上で、奨学金を借りる人はいると思います。その奨学金制度において、アメリカなどの世界上位の大学がある国と、日本を比べてみると規模がかなり違う事は誰もが知ってることでしょう。また日本では生活水準が低くても成績が関係しているので平等ではありません。また日本はほとんど返済義務を要し、高金利。アメリカは普通返済義務は奨学金はないといえます。上記より貸付型と給付型を同じ奨学金ではなく別々の名前にしてほしい。できるなら外国のように全てを給付型かつ規模を大きくしてほしい。日本はもっと大学の世界ランキング上位に入るには奨学金が1番問題だ。という日本人(世界第3位のスタンフォード大学に通っている)がテレビで言ったのを見てずっと考えていました。その考えたことを一応ここに書いてきます。私の願いが叶うとは思いませんが…。
もっと奨学金制度の拡充を！
私は県外の、より高いレベルの大学に行きたいのですが、経済的な理由から、県内進学を考えています。それでも、学費は全て自分で負担しなければなりません。高校卒業したと同時に約300万もする学費を払うと言う義務ができ、本当に払えるのか心配です。私の学校では比較的裕福な家庭の人が多いため、皆大学まで学費は親が払うのが当たり前だと言われ、ほとんどの人が県外進学を希望しています。私1人だけ状況が皆と違っていると思うと不安でいっぱいになります。私はレベルの高い大学行き、もっと勉強してから大人になりたいです。このアンケートが新しい制度に繋がったら嬉しいです。

◆生徒◆ アンケートの感想・その他

もう少し学校や将来ある子供のためにお金を使ってほしいと思う。お年寄りばかりではなく、勉強がしたい！！と思える環境をつくってほしい。大学や専門に行きたくてもお金がなくアルバイトでも家計を支えるため自分だけでまかなえない。だからといって県や市から借りてまで学校に行く必要はないと思いました。返すのも大変だし大学を卒業しても就職できなかつたりしてアルバイトで返すために働いている人を見てると悲しくなる。
将来のためにも、頑張ります！
このアンケートを通しての感想は、内容濃く質問していてとても答えやすかったことです。アンケートに答えれば、今の自分が本当にわかることでした。
質問の仕方がちょっとおかしいんじゃないかなーと思いました。高校の第一志望の質問も、選択欄に「自分の意志で」というのがないのも、おかしいと思います。誰かに言われて来た訳じゃないので、○つけることができませんでした。次にこういうアンケートをするときは、もっと言葉を選んでやった方がいいと思います。よろしくお願いします。
初めてアンケートに参加できて、楽しかった。今、私は進学でも専門学校に行こうか、大学に進もうかなやんでいます。専門学校でもどこがいいのか。わからない。
親、兄弟、友達や身近な人は大好きです。自分なりに悩みもあるけど、平等に生きていない世の中をなんとか助けたいという思いは、常に抱えています。
なんでこのアンケートを作ったのですか！！
長い
質問に対する回答の選択肢の中に、自分の状況に合ったものが無い場合がいくつかあった。
[問4-1]の質問に「就職のため」や「習いたい事が学べる」の選択肢も入れた方が良いでしょう。あと、問8、問9の質問に対して、テスト前や検定前は、平日も週末も1日平均3時間は勉強するので安心して下さい。沖縄県の未来は明るい。
生まれた月まで記入する必要がありますか？理由がしっかりしているなら、いいんです。
なんでこういうアンケートをやらなければならないのですか？
学校の寮にて生活しているので、保護者のアンケートは白紙です。お父さんお母さんととても仲が良いですが、どうしても電話になるから、話はあまりしないが、実家に帰ると、とっても多くの話をします。
これまで生きてきて社会というものや学校というものは、弱者や成績の低い者や金銭的難のある者を100%掬い上げて救うことはほぼ不可能であると思う。しかし、思考することによって少しでも多くの人を救うことができるのなら努力をしてほしいと思う。
開き直って頑張りたい。
抽出された人間だけがアンケートを行うのは、納得いきません。
初めてこのようなアンケートをやりました。お役に立てるのならうれしいです。
このアンケートをやって何か意味があるんですか？日本は全く良い方向に向いているとは思いません。最近の政治家はとてつもなくバカだと思います。
明るい未来って何なんでしょうね？
自分は宗教やりたくないのに親にやらされて、楽しくない。友だちともたくさん遊びたいのに、経済的に苦しいからそんなこともできません。でも、そんなわがままは言えません。
思ったより難しいことを聞かれていたわけではないので、ある意味良かったです。
このアンケートが社会の役に立つのであれば幸いです。
人生はむずかしいのかもしれませんが。

悲しいことも辛いこともないのに、目の前のこと全てが嫌になる。でも、ちょっとした嬉しいことで一瞬で世界が美しいと思える。その気持ちが長続きすることはないが、自分と関わりを持った全ての人に申し訳なく思う。特に家族には、自分を産み育てて傍にいてくれた人達なのに、こんな自分で申し訳ない。最近よく思っていることを書いてみただけで、これは悩みでもなんでもない。こんな内容でごめんなさい。気にしないでください。
楽しい1日をおくるように前向きに頑張りたいです。
アンケート、めんどくさいです！どうして世の中は不平等なんですか・・・。
今、現在、社会がとても便利になっている分、問題になっていることもあります。例えば、LINEでのいじめなど、どうしても起こってしまう問題もあります。沖縄は日本で一番精神的に悩んでいる人が多いと聞いたことがあります。これからの沖縄で人間関係のことで何か起こらないようにするためには人を良くしていくことが一番だと思います。
沢山書き込んだので参考にしてください。ありがとうございます
はやく進路決めとなあって思ったから色々調べようと思った。そして→[目標]・進路決める！！・勉強がんばる！！・後悔しないように今からコツコツ・ストレスためない・これからも楽しむ。
大きくなりたい。
質問の意味がよく分からないことや、ふだんの意識してない無意識でできているものに対する質問とかがあったので、どう答えていいのか分からないものがありました。
今の現状を知ることができた。
このアンケートにいくら金をかけましたか？
自分は、まだなににも決まっていなくて、これから決めていかなとあらためて思いました。
とてもいいアンケートだと思う。でも、もし親に秘密にしたいとか、子どもに秘密にしたいとかあるのに、見られてしまう可能性があるんじゃないかと思った。
色々な事をポジティブに考えようと思う。
いつか、今が楽しいと、胸を張って言える様になりたいと思います。
あまりこんなアンケートはできないと思うので、せっかくの機会に、いじめや家庭内暴力などの質問を増やして、苦しんでいる人がどれだけののか調べるべきだと思います。
・親が自分の将来やりたいことをやらせてくれません。・最近、学校が楽しくありません。・友達が増えません。・異性と仲良くなれません。・他人との話し方がよくわかりません。
アンケートをして、普段記入されない項目もあつたりして、学校より安心して答えを書けた。
これからは高校生人生楽しんで、文武両道で頑張っていけたらいいと思います。以上です。
こういうアンケートやるのは気持ちが悪くなるだけな気がします。まあ、改めて勉強に気を引きしめようと思ったので、良かったかもしれないです。
このアンケートの回答者を選ぶのではなく、県内のすべての高校生を対象にアンケートを取った方がいいと思います。
僕は世界を変えます。そうでなければ、僕の人生に意味はありません。僕が死ぬ時は、世界を変えた時です。つまり、言いたい事は、家庭環境の問題で成り上がり得ないなんて事はないと思います。あの時、「やってあげばよかった」と言わないような人生を皆にも送ってほしい。だから、皆にチャンスを同等に与える教育をしてほしい。学力だけでは、測りえない人材は必ずいます。
質問がたまにきつい。全員にアンケートを取ったらどうですか。
県や国のみなさんには、子どもの未来に投資してほしいです。
努力をしてなりたい将来のためにがんばる。
あんまり必要性を感じないアンケートだった。
なぜか不安になることがたまにあります。家計が苦しくて大学に行くべきか悩みます。親に無理させてまで夢を叶えたいのかどうかも分かりません。
このアンケートで少しでも多くの人の悩みが解決してほしいです。
このようなアンケートをよく問いているのが何が変わるのか全くわからない。意味があるのかもわからない。私たちの学校生活の改善に役立っていると書いてあるが、実際、いじめの件数は増えている。どう思っているんですか。
少しでも協力できれば
自分が普段考えていないようなことを考えさせられた。そして、自分が恵まれている家庭で育って何も考えずにいることが恥ずかしいと思った。これからは将来を見据えて毎日を大切に、ただ時間が過ぎていく日々ではなくなるように生活していこうと思う。
この1週間はとくにあまりよくない1週間だったので、少し悪い方に○をつけがちだったかもしれない。
質問に答えていたら心が病みそうになります。
なにも心配なく生活したい。全部にお金がかかって、やりたいこと、買いたいものが、制限されるから、少しは免除して欲しい。安心して暮らしたい。
進路について相談するのは年上の方や先生方よりも、同年代の人とする事が多いので、そういう選択使があっても良かったと思いました。
テスト前とかぶらない時にアンケートをしてほしい
頭のカタイ、日本人、税金はどこにいってるの、日本は遅れている。もっと、良い環境！！学費のない、おもいきり勉強できる、進学もできる、勉強、学ぶ事にお金の不安は、敵だ！！制服、体育着も高すぎる、お下がり探すの大変だよ。決まり事も多い。人の個性がなくなりますよ。同じカタチの人だらけ。

自分について自分でも少し分かった気がします。
自分が思っていた事(言いたかった事)が質問にされてたからなんかすっきりしました。
このアンケートは、今までのアンケートより複雑でした。
今回、このアンケートをたまたま回答させてもらったのですが、このアンケートは選択だけで回答しやすかったし、改めて今の自分の気持ちに気付けたと思います。アンケートに回答して、何か変わる事があるとは思いませんが、今まで誰にも言えなかった想いが違う形で他の人に伝えられると考えると少し心がスッキリしました。そして、自分以外にもこの様に誰にも相談したくても他人の意見やその先の関係がぐずれそうで怖いというような不安をこのアンケートが解消してくれると思うので、この活動ずっと続けて欲しいなと思います。
やりたいと思う将来の職業が見つからないですな～
ちゃんと自分の言いたいことを言えるようにしたいです。最近、人に伝える勇気がなくなっているからです。
初めてのアンケートで、私たちの現状を知ってもらえるみたいでおもしろかったです。沖縄は貧困問題が深刻だと聞きました。私も、小さいころから自分の家は全然裕福じゃないと分かっていたので、あれが欲しい、これが欲しいと言いませんでした。でも、それは特別がまんしていたわけではなくて、母がだめだめ言わず、自由にしてくれたおかげで大事な価値観が生まれたんだと思います。
良いアンケートだと思う。
いい質問ばかりで答えやすかったです。気持ちが楽になった。
個人の情報が色々と聞かれるのが、あまり好きじゃないので、あまり質問に答えたくなかった。でも、アンケートを答えながら、少しスッキリすることもできたのでよかったです。
統計データのアンケートを初めてやってみて、自分の意見がデータの1票になると考えるとすごいし、なんだか少し嬉しいです。
全体でやってください一部の人だけでやるのは気持ち的にめんどくさいです
こういうアンケートをしても実際に悩んでいる人に対して動いてくれることはないと思う。
もっと解放的にあそんだり、生活したり、出かけたりしたい。「遊んだ」とかいうSNSがいつも、うらやましい。親にしめつけられてる感があっていやだ。ゆううつだ。あきれてくる。正直しんどい。他と違うかんじしかない。
提出期限が短いかな。普通校に関しては、修学旅行やテストと忙しい時期でもあるし。
このアンケートのおかげで自分を見つめ直すことができました。
テスト期間中にこのアンケートは困る。時期をずらすか質問を減らしてほしい。
特にこれといった目標をみつめることができなくてとても怖い。毎日充実してはいるが、ふとしたときにもすごく不安になることがある。このままではダメだとわかっているのに、変わろうとしない自分が怖い。
見ているつもりでも見えていないものは沢山あります。父さんに最後のインハイは観に来てほしい。よし、頑張ろう！
今回のアンケートは学校で行うアンケートや問題などにある「せよ」や「～せ」などの命令口調ではなく丁寧語だったので久しぶりに優しさを感じました。それと、私は昔からよく緊張しやすく私に対してではない暴言でも腹痛になったり不安に駆られてしまいます。それに加え、まわりの友達のほとんどが来年は受験をしたり、自分の進路を見つけて歩いていく姿を見ると焦りさえ感じてきます。私は夢を捨て、一から探しているところなのですが、自分がどこにいるのか、どこに行きたいのか全くわかりません。でも、やりたいことは山ほどあります。
アンケートに答えてみて、進路のこととか、人間関係のこととか、とても考えさせられました。私はふと泣きたくなるくらい独りだなと思う時があります。別にいじめられてる時は無いけど、どこか一人な気がして、、人生思いどおりに行かないことばかりです。自分だけがそう思っていないと思うけど、自分に自信がもてないです。どうしても友だちと比べてしまいます。毎日が不安でいっぱいの日々です。変われるなら変わりたいです。アンケート書くことができ良かったです。ありがとうございました。
交通費のアンケートもとった方が良くと思う。沖縄県は電車が無い為、バスを利用していると思うが、利用料が高いため、県外と比べても交通費が高くつくと思う。私は、バス代を浮かせる為に自動車ですべて送ってもらっているが、他にも周りに同じような人がたくさんいる。
国の学業に対する支援をもっと利用しやすく、もっと増やしてほしい(奨学金等)。
これを書いている時、少しだけ涙が出る時もありました。
結果がすべてではないけれど人生はすべて結果で決まるということを最近痛感したので努力しようと思いました。
今の自分をアンケートを通して考えることができた。
自分はなんのために生きるべきなのか。幸せのために生きるのか。自分の意志や意見を尊重して生きるべきなのか。前者は後者に比べて楽だろう。しかし、自分の意志や意見を殺さなければならない。後者は幸せにはなりづらいだろう。そのかわり自分の意志や意見を尊重して生きることが出来る。自分の中に2人の自分がいてどっちを選べばいいか分からない。ただこのまま中途半端に決めることができないのは一番最悪だと思う。生き方も決められないまま大学に向けて本気で勉強できるだろうか。恐らくできない。かといって今すぐには決められそうにない。中途半端な気持ちで勉強することになるだろう。
・家族や経済状況、高校に通えていることに、自分が恵まれた環境にあることを再認識した。・働く自分が想像できない。会社などで働くにしても、組織の一部となることは苦手だが、かといって、自営業や起業も何か違う。だが、家庭を築き子どもをもってもゆとりが持てるほどの収入は欲しい。
自分のことをたちどまって見直す機会になってよかったです。
バスで高校に通っているのですが、バス代が高いのが少し辛いです。通学をバスに頼っているとどうしても毎日乗るので、定期券は使っているのですが、それでもかなり高いです。バス代が高いからという理由で親が毎日送り迎えをしている友だちもけっこういます。バス代が安くなるととても助かります。もしできるのであれば、よろしくお願いします。
このアンケートをすることによってどのような対策がとられるかの具体的な明記、またはこのアンケートを過去に実施したことにより改善された事例の明記があればと思いました。
自分がどう思っているのかよくわからない。未だに自分を理解できない。

けっこう内面までみた質問だった。
このアンケートで貧困生活で暮らしている子どもが救われると嬉しいです。子どもの貧困って子ども自身は悪くない。親がしっかりするべき。
このアンケートを通して、とても、今の自分が見えた。両立を頑張りたい。
何の為のアンケートなのでしょう？
問 27 の回答が難しかったです。少し！でも、マークシートじゃなく丸をつけるだけで良かったので簡単でした！
今の自分が再確認できた気がする。でも、あまり、嬉しいものは無かったです。
このアンケートを渡されていない本当に悩んでいる人はどうなるのでしょうか。
選択肢が平均4つあったけど、どれにも当てはまらないことが多かった。
有難うございました。
最近、夜寝る時、目をつぶると何だかよく分からない不安な気持ちに襲われます。これといった理由は分からないのです。いろんな考えが頭の中を駆けめぐって、怖いのです。どうすれば良いのでしょうか。
今の自分には自信があるが、これからの自分には、少し不安がある。
もっと考えて、生活してみようと思った。
たまに病むときもあるけど、思春期だからだと思います。だからそんなに重要なことだとは思ってないです。
今の学校生活は、楽しみもあるけど、どっちかって言ったら、不安が大きいです。友達のこと、進路のこと、行事のこと。でも、今頑張れば良いことがあると信じて、前に進みます。何でか分からないけど、アンケートをして、頑張ろうと思いました。ありがとうございます。
学校の提出物ということもあり全て回答してみました自分のプライベートにずかずか入り込まれた気がして、とても心外でした。
アンケートの回答項目に必要な項目がないのにいらぬ項目があったりして、回答しづらかったので改善してほしい。
今、自分が思っている事が、このアンケートを通して、改めて分かった気がします。ゆっくりと考えることができました。ありがとうございます。
アンケートに答えていると、自分の今思っていること、考えていることに改めて気付けた。
恋人の質問が無かった。
アンケートがながくて目が疲れた。
質問が多い
とっても分かりやすいアンケートでした。自分も将来の夢がパティシエなので専門学校へ行きたいって思っているがなかなか家の近くにないのでこまっています。
人生最高！死んでたまるか！
正直に答えた。
アンケートに答えるのが少し楽しかったです。性別のところでは答えたくないってどういうことなのか少し疑問にも思いました。答えなくていいところもあって少し間違えそうだった。
人間関係はかなり難しい。
この調査は何のためにあるのですか？集計を取ったからといって私たちを取り巻く環境が変わるんですか？条例を整備するんですか？もしそうなら良いのですが私たちからすれば体裁をつくらしているようにも見えます。なのでこのアンケートが何かに生かされることを願います。
自分に素直になれた。
問 25 で全部あったに当てはまったので私はとても裕福だと思いました。こんなことは考えたことはあまりなかったので、親や周りには感謝しようと思いました。
身なり指導も終え今は、今後そのようなことがないように身なりは十分気をつけ3年生まできちんと規則は守りたいです。あと勉強や友達とも充実した高校生活を送りたいです。
<input type="radio"/> だけでよく、楽で答えやすい。
こういうアンケートを取るのはいいことだと思う。自分は、家族に恵まれていてお金がないとしても十分愛があるので大丈夫ですが、周りに片親がいない子が多くて、家族がいるのは当たり前じゃないと感じる。沖縄県は離婚率も高いから改善されるといいなと思います。頑張ってください
このアンケートは今後もやっていったほうが良いと思います。自分の意見なども活かせてもらうのは、ありがたいです。
いろいろ考えさせられた。自分の将来もちゃんと考え、現実を見て行動し、これからも、頑張ろうと思いました。
自分のことを自分で確認するのは変な感じがした。
沖縄の貧困がいつかなくなってほしい。
私は大学進学を希望しているのですが、やはり大学4年間の授業料はとても高く、私たちの家庭でも、まかなうのがやっただというのが現状です。私は県内大学に進学を希望していますが、私の友達にも私立大学に進みたいが、金銭的に厳しく国立大学しか目指すことができないと言う子が多くいます。これからの沖縄を担う人材を育成するために教育は欠かせないものなのに、大学の授業料が高くなり続けている現代の社会はおかしいと思います。まず、国や県を活性化させるためには若くて優秀な人材を育成することから始めていくべきだと思うので、県や国には学費負担を少なくしてほしいです。そうすれば、観光産業もさらに盛り上がり私は思います。以上のことから私は、県や国が学費負担の軽減を進めてほしいと強く願っています。
欲しくもないのにもらった分をまた違う形で返さなくてはならないのがあまりに辛い。それは、与えた側が、それに価値があると思っているからだ。私にとって価値があると思っているからだ。あー、あーあぁあぁ、君の描いたものを無価値と言うのはかわいそうだ。でも私はどうしてもどうしても好きになれないからその無価値が価値ある人のもとへ送られればよかったのに。

私は両親にとっても愛されていると自覚しているし、経済的にもあまり不安はありません。自分の環境がととても恵まれている事は十分理解しています。周囲の知り合いには、そうではない人がたくさんいます。助けてあげてください。
もっと効率よく生活すること（時間をうまく使うこと）を心がけていきたいです。
人間はどんな偉業を成し遂げたとしてもどうせ土になるのに、そんなに頑張る意味がわからない。
集計は大変かもしれないけど、全員に取った方が良いと思う。このアンケートをしながら、自分の現在の状況について客観的にとらえることができた。
自分自身を見つめ直す良い機会になりました。
親が離島に住んでいるので、郵便局も遠いし、書類を送るのも大変。切手代だけでももったいないので、離島に住んでいて、今は寮生活を送っている人には極力当てないでください。
性別の「答えたくない」というところは誰が選ぶのだろうととても興味がわきました。私の考えとしては、きっと女の子の心を持った男の子やその逆なんだろうと思いました。私はその選択肢を見てすばらしいと思いました。こういうのは大切ですね。
質問に「自分は価値のある人ですか」ということに疑問を持ちました。私はそういう質問を聞いて何の意味があるのかわかりません。誰もが価値のある人だから生きていると思うんです。価値がないと思っている人がいたら何かあってそう思ってしまう、それを助けてあげられるんでしょうか？残酷だと思います。
もっと詳しく、社会の事についてどれだけ知っているのか、生徒に調査が必要だと思います。
長くて少し大変だった。
問25のJの質問で、ほしくなかったにしたのは、人とかぶるのがいやだったから。
自分のことを振り返るとも良い機会になりました。
私は、なぜ自分の意思で進学したのに文句を言ったり自分の好きでやっていることなのに“嫌だ”とか言うことがわかりません。その言う人のほとんどが両親もいて私が憧れるような環境です。なんで両親がいるというこれ以上ない幸せの中で自分の意思で好きなことをさせてもらっているのに最後まで頑張れないのかが、わかりません。また私事なのかもしれませんが、やりたくてもできない人もいる中で自分の思い通りにしているのにマイナス発言しかできない人についてどうしたらいいかわからない。
これを書いて話すことが増えれば良い。
アンケート楽しかったです。なので勉強がんばってきます。
アンケートをしてみて、意外にも自分は贅沢をしていたり親への感謝がより膨らみました。
自分が書いたアンケートが役に立ったら幸いです。
「この高校を選んだ理由」のところ、「家から近いから」が無いのが、すごい嫌。経済的な理由でもないし。あと、老眼の母でも見れるような字にしてくれ。いちいち聞いてきてめんどくさい。友だちについてのところの「自分は友だちと比べてちがうとを感じる」のそこ、違う人間だから、あたり前だろう。つか、友達とか家庭のこと聞くけど、先生については、あんまり聞かないんですね。もっと聞くべきだと思います。性別のところも、色んな人がいるのもっと増やしましょう。
自分についての事は、その時の感情や気持ちによって異なってくると感じました。
ルートビアって美味しいですよね？皆嫌うんですが…。
こういうアンケートはととても良いと思う。学校の先生や保護者に見られないので本音を書ける。これで沖縄の子供の実態を把握して改善へとつなげてほしい。
今、とても人間関係について悩んでいます。
あまり聞かれない質問もあったので、自分の事について改めて考えることができました。
人生生きててなんぼ！！
沖縄県のためにやってるの？
日本は小学校も給食費が足りてなかったり、学費の関係で行きたい場所に行けない人が多いので将来が不安です。
反映させてください。
あと少し長いし、匿名とは言え、こんなプライベートなことな情報がなぜ必要なのか事前に説明すべき（何の統計データだよ）
ありがとうございました。お仕事頑張ってください。このようなことをしてくれて、ありがとうございました。
簡単に解答しやすかった。
このアンケートがこれからの子供たちの将来に少しでも役立ってますよう…。
学校のアンケートには正直に答えていなかったところを、このアンケートでは少しだけ素直になって答えました。どうかこのアンケートの結果が大切に使われますように…。
正直必要のない質問があった。虫歯など健康に関するものは、除外しても良いかなと感じた。
将来なりたい仕事について、もっと色々調べてみようと思った。
たのしかったです。
楽しかったです。ありがとうございました。明日もがんばります。
マーク式にしてはどうですか
めんどくさいと思ったけど一応正直にアンケートに答えました。
見づらかった。
日本で苦しい苦労ばかりだな（汗）

離島からだ、沖縄本島の大学にいかうと思っても、親や周りの大人から、ものすごく止められたりする傾向がある。また、本島に行く(部活の大会や練習)にもお金がかかるのでいけない人がある。
動物を使った薬剤等の実験。生きたまま皮を取るなどのことをやめさせる。人間は王様では無い。
自分の事を、振り返ってアンケートを解く前より自分のことが少しわかった気がします。ありがとうございます。沖縄県の子供を始め、日本や世界の子供たちが、笑顔になれる平和な日が来ることを願います。
何故、貧富の差はなくなるのでしょうか。
このアンケートで正直に思うほうに○ができたのでよかったです！
このアンケートを通して自分の将来を明確に決めるべきだと思いました。学力的な問題で進学したい大学に通学できないのならば、進学できる余裕を持つ位の学力を身につけ、就職にも役立つ資格を持ち、自分の将来にゆとりを持ち、悔いのない人生を送りたいと思いました。
この質問を回答して1つ気になることがあるとすれば、これを聞いて何の役に立つのかわかりません。なぜなら、一人一人の考えや行動などは男女問わず一緒でもないし、共通するものは少ないので、もう少し工夫された質問をなさってください。
もう少し勉強の時間を増やしたり、父親との会話も増やしていかないといけないと思った。自分は自分が思っている以上に恵まれているなと思った。
沖縄の子供の貧困率の改善お願いいたします。
問25で全部1だったので、自分は小さい頃から裕福な子供だったのだなぁと実感できてうれしくなりました。
このアンケートをして、改めて今の自分を見ることができた。
私の家族は両親ともに揃っていますが中学、高校に進学しても圧倒的に友達の片親率が高いです。友達自身はどう思っているのかわかりませんが、気を遣って家族の話などを軽くできません。
回答者の思いに寄り添うという心遣いを感じる。文章に作成した方々の優しい気持ちを感じることができ、うれしく思いました。私の悲しい日にあなたがたが同情し、あなた方の悲しい日に私も同じように感じる事ができればと思います。有り難うございました。
少し自分を見直すことができた。
このように現在の自分と細かい点で向き合える機会はなかなかないので、自分を見つめ直し、過去、現在だけではなく将来のことも考えることができて本当によかった。
たまに分かりづらかった。色を使ったらもっと分かりやすいと思う。何のためにやってるか教えて欲しい。
普段、考えない質問もあり改めて自分や家庭、学校面について考えることができました。
お疲れ様です。このアンケートが役立ってもらえたら嬉しいです。
経済的に生活が苦しいとか苦しくないかの質問は家族がどう判断するかは分かりませんが、私は「やや苦しい」と「ふつう」の中間にしておきたいです。とても悲しい気がするとか泣きたいような気がするとかの質問はいじめとかとは全く関係ありません。とても心をひらくことができた友達との別れがあったからです。
自分について見直せた。
いい質問でした！！
面倒なアンケートを一部の人だけにやらせるのをやめてほしい！[まだ全員対象の方が気分的に楽]
こういうアンケートに答えるたび、自分の将来と少しずつしっかり向きあっていくことができているように感じます！いい機会をありがとうございます。ありがとうございました。
答えやすかった
自分の生活について見直したり、これからの自分について考えるいい機会だった。
何故学校の授業の時にではなく、こういう形でアンケートをとったのか気になりました。又、このアンケートの結果から分かったことがあれば何らかの機会に教えてほしいと思いました。
自分のことがふり返ることができるのでいいと思った。

2017 年度沖縄子ども調査事業

沖縄県高校生調査 詳細分析報告書

発行：2018年3月30日

委託事業者：沖縄県子ども調査事業共同体